防災推進国民大会2020

実施報告書

内閣府

ぼうさいこくたい2020（防災推進国民大会2020）開催の報告

平素、皆様におかれましては、防災行政の推進につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「防災推進国民大会（通称「ぼうさいこくたい」）」は、産学官、そしてNPO・市民団体や国民の皆様が日頃から行っている防災活動を、全国的な規模で発表し、交流する日本最大級の防災イベントとして、平成28年度から毎年開催してまいりました。第5回「防災推進国民大会2020」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場に直接来場せずとも防災・減災行動について「学び」、「考え」、「つながり」を感じられるよう、初のオンライン開催としました。10月3日（土）に、防災推進国民大会2020実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）主催により開催され、全国から、のべ約1万6千人の方々にご参加いただきました。

2020年は、今も戦後最大の災害である枕崎台風（昭和20年（1945年）から75年です。また、土砂災害防止法制定の契機となりました平成11年6月豪雨からも早や21年となります。土砂災害を起こした平成26年8月豪雨、避難の遅れが課題となった平成30年7月豪雨についても、記憶に新しいところです。戦後の我が国の災害を振り返り、その教訓を共有し、我が国の公助と連携した自助・共助による防災について、全国民にメッセージを発信するためには、非常に重要な節目となることから、広島市を情報発信の拠点とすることとなりました。

大会においては、「頻発化する大規模災害に備える　～『みんなで減災』助け合いをひろげんさい～」のテーマの下、広島開催の意義を発信するべく、特設ページ上での広島発メッセージや、広島県・広島市協力による各セッションの実施など、全国の防災に取り組む方々が集い、産学官民の防災に関する知見の共有がなされる場となりました。

近年は、豪雨や台風の災害が頻発化、激甚化しております。こうした特徴を踏まえ、自然災害から国民の生命、財産を守るため、政府では、過去の災害から得られた教訓を活かして不断に防災政策を見直し、ハード・ソフトにわたる防災・減災対策、国土強靭化の取組を推進しています。そして、行政による「公助」はもとより、私たち国民一人一人が、「自らの命は自らが守る」意識を持って災害に備える「自助」や、地域コミュニティ、学校、企業、ボランティアなどが助け合う「共助」を強くすることが、災害に強い国づくりのため益々重要になっています。政府としても、国民の皆様に、災害リスクや災害時にとるべき行動を知っていただくよう、ハザードマップや避難行動、避難情報の理解を促進する取組や、地域で助け合う「地区防災計画」の策定を支援する取組を進めています。さらにコロナ禍の現在、避難所での3密対策、分散避難の推進、「コロナ禍の中でも災害時に危険な場所にいる人は避難する」ことの周知徹底など、災害と感染症の複合リスクへの対応も進めています。

結びに、本大会の開催に当たり各別の御尽力、御協力をいただいた広島県、広島市をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和2年10月

ぼうさいこくたい 2020 HIROSHIMA

防災推進国民大会2020実行委員会
（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）

目次

●開催概要

開催概要	5
大会データ	6
大会運営スケジュール	7

●出展団体リスト

1.セッション	9
2.ワークショップ	10
3.プレゼン	10
本番当日のスケジュール	14
特設ページ構成内容	15

●セッション詳細

小此木八郎防災担当大臣挨拶	19
セッション詳細	20

●ワークショップ詳細

ワークショップ詳細	37

●プレゼン詳細

プレゼン詳細	41

●その他展開

主催者あいさつ	59
広島発メッセージ	59

●制作物

チラシ・ポスター	63
パンフレット	64
特設ページ	66
セッション配信会場	73
運営備品	74

●広報施策

広報施策一覧	77
大会公式ホームページ	78
大会特設ページ	79
大会特設ページ　アクセスデータ	80
Facebook	87
Twitter	88
チラシ・ポスター配布先	89
報道結果 ： テレビ	90
報道結果 ： ラジオ	91
報道結果 ： WEB	91
報道結果 ： 新聞掲載	93
報道結果 ： その他	97

●運営体制

事務局運営体制図	101
当日運営体制図	102

●アンケート

参加者アンケート	105
出展者アンケート	113

●記録写真 123

開催概要

開催概要

■ 名　　称　：　**防災推進国民大会2020（ぼうさいこくたい2020）**
正式な企画名称は「防災推進国民大会」になりますが、より国民になじみやすく覚えやすくするために、平仮名で「ぼうさいこくたい2020」と呼称します。

■ テ　ー　マ　：　**頻発化する大規模災害に備える**
～『みんなで減災』助け合いをひろげんさい～

■ 開　催　趣　旨　：　「自助・共助」、「多様な主体の連携」及び「地域における防災力の向上」を促進するため、国民の防災意識の向上、災害に関する知識や経験等の共有を図ること。

■ 開　催　日　時　：　**令和2年10月3日（土）10:00～18:00**

■ 開　催　会　場　：　新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた広島国際会議場およびその周辺での実施から、特設ページ上での開催に変更しました。
オンラインぼうさいこくたいスペシャルサイト↓（2021年3月中旬まで）
https://bosai-kokutai.com/

※特設ページに関しては、2021年3月中旬以降は、公式ホームページ内へ移行のうえ引き続き閲覧可能。

■ 主　　催　：　**防災推進国民大会2020実行委員会**（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）

■ 協　　力　：　**広島県、広島市**

■ 企　画　・　運　営　：　**ぼうさいこくたい2020大会事務局**　内閣府政策統括官（防災担当）付
ぼうさいこくたい2020運営事務局　株式会社中国新聞社

■ 対　象　者　：　防災に関心のある方、学びたい方　：　閲覧・参加無料

■ 大　会　ロ　ゴ　：

ぼうさいこくたい 2020 HIROSHIMA

ぼうさいこくたい
イメージキャラクター「Bちゃん」

■ぼうさいこくたい　イメージキャラクター「B（ビー）ちゃん」について
ぼうさいこくたい2019にて使用されたロゴデザインについては、「B（ビー）ちゃん」の愛称にて継続的に利用し、大会ロゴと併用し制作物等でも活用していくことで「ぼうさいこくたい」の認知拡大を目指しました。

大会データ

■特設ページ訪問者数(10月3日)

ユーザー数 ： 9,936
セッション数 ： 14,805
ページビュー数 ： 94,782
視聴数 ： 15,545 ※ 14,805(セッション数) ＋ 740(ワークショップ参加者数)

■出展団体数

タイプ		内容	団体数
❶	セッション	講演やトークセッションをライブ配信し、視聴者は自由に閲覧	22
❷	ワークショップ	特設ページ上で事前募集を行い、ZOOM等を利用したワークショップ	11
❸	プレゼン	特設ページ上に出展団体紹介ページを作成し、自由に閲覧	84
		合計	117

■出展企画数

タイプ	企画数
セッション	25
特別企画	2
ワークショップ	11
プレゼン	84
合計	122

※セッション出展の1団体((一社)災害防止研究所(SS-17))は、出展者の事情による配信取り下げのため出展団体・企画数に含まない。
※出展団体数のうち、重複出展は5団体(団体名は、P9～10参照)

■団体内訳

	参加対象						団体種別											
	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子供向け	省庁	都道府県	市区町村	独立行政法人	公益法人	一般社団法人	大学・研究機関	高等学校	小中学校	企業	NPO NGO	その他
❶	16	5	15	3	3	0	0	0	1	1	4	4	3	0	0	1	2	6
❷	8	0	4	2	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	3	3
❸	58	27	53	8	3	10	2	3	4	2	5	12	6	0	0	31	6	13
合計	82	32	72	13	7	11	2	3	5	3	11	17	9	0	0	34	11	22
総計	217						117											

※参加対象は出展団体にて最大2つまで選択

■キーワード

	キーワード																					
	地震・火山	風水害	科学・技術	災害情報	都市・建築・住宅	通信	ゲーム	備蓄・グッズ	災害教訓・伝承	教育	医療・福祉	ボランティア	防災行政	国際	避難・避難所	南海トラフ	地域防災	災害廃棄物	自助・共助	企業防災	ペット	その他
❶	0	2	3	4	0	0	0	0	3	5	3	1	3	0	2	0	7	0	4	0	0	5
❷	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	3	0	4	0	1	5
❸	10	10	4	6	5	7	1	11	12	7	5	3	10	3	18	2	21	0	13	7	2	8
合計	12	13	7	10	5	7	1	12	16	13	8	4	13	3	22	1	31	0	21	7	3	18
総計	227																					

※キーワードは出展団体にて最大2つまで選択

■セッション登壇者数

10月3日(土) 計151人
※リモート出演者含む

■アンケート回収数

来場者アンケート	出展団体アンケート
260	101

大会運営スケジュール

	出展団体対応	大会周知・広報
4月7日	出展公募開始／出展公募説明会の中止	公式HPリニューアル
5月20日	出展公募締切	
7月10日	大会開催概要の変更	
7月15日	審査委員会	
7月16日		出展団体への出展決定連絡
7月22日	出展者説明会（オンライン）	
7月29日	最終出展継続意思確認　締切	
8月7日	出展内容確認書・申請フォーム　締切	
8月19日		オンライン開催概要・チラシ
8月20日	出展団体　サイト掲載素材提出　締切	
8月25日		内閣府・出展団体へポスター・チラシ発送
8月28日		報道発表①
9月1日		WEB広告開始、公式SNS更新
9月4日		デジタルサイネージ掲載開始
9月6日		ちゅーピーこども新聞　掲載
9月10日		特設ページオープン、中国新聞朝刊15段掲載
9月11日	セッション・ワークショップ申請　締切	ミニストップサイネージ、イオン広告欄掲載
9月16日	セッション・プレゼン　動画提出　締切	RCCラジオ生電話出演にてPR
9月18日	出展団体　オンライン面談アカウント発行	報道発表②
9月19日		中国新聞朝刊15段掲載
9月20日		ちゅーピーこども新聞　掲載
9月26日		中国新聞朝刊15段掲載
10月1日	前々日設営	
10月2日	前日設営	報道発表③
10月3日	防災推進国民大会2020（ぼうさいこくたい2020）	
10月16日	全セッション動画 アーカイブ完了	
10月27日		中国新聞採録記事　掲載
11月6日	出展者アンケート締切	

出展団体リスト

1.セッション

★の団体はプレゼンへも参加

出展ID	中継会場	中継時間	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
SS-01	ﾒｲﾝ 広東	10:00-11:00	内閣府	オープニングセッション		【一般向け】
SS-02	ｻﾌﾞ 東京	11:00-12:30	防災教育チャレンジプラン 実行委員会	防災教育交流会	【教育】 【自助・共助】	【一般向け】 【学生向け】
SS-03	ﾒｲﾝ 広東	11:30-13:00	内閣府	ハイレベルセッション 災害の経験と地域防災力の強化～土砂災害の経験から～		【一般向け】
SS-04	ﾘﾓｰﾄ	11:30-13:00	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター ★	災害伝承ミュージアム・セッション vol.2 2020 with コロナ時代における課題と展望	【災害教訓・伝承】 【教育】	【専門向け】 【一般向け】
SS-05	ﾘﾓｰﾄ	11:30-13:00	SIP国家レジリエンス (防災・減災)の強化	SIP「国家レジリエンス」の革新技術で変わる これからの災害対応	【災害情報】 【防災行政】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-06	ﾘﾓｰﾄ	11:30-13:00	NPO法人 日本ラクテーション・ コンサルタント協会	国際スタンダードにそった災害時における乳幼児の 栄養支援とは	【医療・福祉】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-07	ﾘﾓｰﾄ	11:30-13:00	(一社)日本リモートセンシング 学会	防災分野におけるリモートセンシングの最前線	【科学・技術】 【災害情報】	【自治体向け】 【学生向け】
SS-08	事前 収録	11:30-13:00	YY防災ネット	地域防災・学校防災とは	【避難・避難所】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-09	事前 収録	11:30-13:00	(一社)DroneAI技術研究機構	災害と先端技術 ―そこにAI(愛)はありますか―	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-10	ｻﾌﾞ 広島	13:00-14:15	広島市 共催:RCCラジオ/第1部	広島市防災セミナー 語り継ぐ防災 ～教訓を活かす～ 第一部	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】
SS-11	ﾒｲﾝ 東京	13:30-15:00	防災学術連携体・日本学術会議	複合災害への備えー withコロナ時代を生きる	【科学・技術】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-12	ﾒｲﾝ 広島	13:30-15:00	広島県災害復興支援 士業連絡会	「ひとり」を「独り」にしない復興支援のカタチ	【地域防災】 【自助・共助】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-13	ﾘﾓｰﾄ	13:30-15:00	みんな元気になるトイレ 協議会	みんな元気になるトイレ協議会発足記念シンポジウム	【防災行政】 【その他】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-14	ﾘﾓｰﾄ	13:30-15:00	(公財) 味の素ファンデーション	「いざという時どうなる?あなたの食と栄養」vol.3 ～フェーズフリーな食を考えよう～	【自助・共助】 【その他】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-15	ﾘﾓｰﾄ	13:30-15:00	(株)不知火プロ	防災マンガを活用した子どもたちへの防災啓発の取り組み	【教育】 【防災行政】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-16	事前 収録	13:30-15:00	(一社)日本損害保険協会	今後の豪雨災害の“ソナエ”のために私たちが踏み出す 新たな第一歩	【風水害】 【地域防災】	【一般向け】
SS-17	事前 収録	13:30-15:00	(一社)災害防止研究所 ★	災害に強いココロを養う／レジリエンス ※出展団体の事情により、配信取り下げ	【災害教訓・伝承】 【その他】	【企業向け】 【一般向け】
SS-18	ｻﾌﾞ 東京	14:30-15:30	広島市 共催:RCCラジオ/第2部	広島市防災セミナー 語り継ぐ防災 ～教訓を活かす～ 第二部	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】
SS-19	ﾒｲﾝ 広東	15:30-17:00	(公財)日本消防協会	数々の災害体験をのりこえて	【災害情報】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-20	事前 収録	15:30-17:00	防災教育学会 ★	持続可能な防災教育の創造に向けて	【教育】	【一般向け】 【学生向け】
SS-21	ﾘﾓｰﾄ	15:30-17:00	広島大学防災・減災研究センター ★	相乗型豪雨災害から命を守るために	【土砂災害】 【地域防災】	【専門向け】 【自治体向け】
SS-22	事前 収録	15:30-17:00	(独)都市再生機構 ★	魂を込めた地区防災計画づくりの実例 ～最も大切なプロセスを辿る～	【地域防災】 【自助・共助】	【自治体向け】 【一般向け】
SS-23	ﾘﾓｰﾄ	15:30-17:00	(一社)日本ドローンコンソーシアム	防災分野におけるドローン利活用の最前線	【科学・技術】 【災害情報】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-24	事前 収録	15:30-17:00	(公社)日本医師会	豪雨災害と医療連携	【風水害】 【医療・福祉】	【専門向け】 【一般向け】
SS-25	ｻﾌﾞ 東京	16:00-17:30	NPO法人全国災害ボランティア 支援団体ネットワーク	コロナ禍での多様な被災者支援主体による連携 (三者連携)～支援を届ける×感染リスクを高めない～	【ボランティア】 【その他】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-26	ﾒｲﾝ 広東	17:30-18:00	内閣府	クロージングセッション		【一般向け】
特別企画	事前 収録	特設ページにて 公開	内閣府	広島県知事 × 三重県知事トップ対談		【一般向け】
特別企画	事前 収録	特設ページにて 公開	内閣府	内閣府×環境省「気候変動と防災」		【一般向け】

2.ワークショップ

★の団体はプレゼンへも参加

出展ID	開催時間	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
WS-01	13:30-15:00/ 15:30-17:00	内閣府主催 TEAM防災ジャパン	オンラインでリアルタイムにつながろう	【地域防災】 【自助・共助】	【一般向け】
WS-02	11:00-12:30/ 13:30-15:00	日本赤十字社	赤十字防災セミナー「災害への備え」特別版 -感染症から身を守るために避難生活で気を付けること-	【避難・避難所】 【自助・共助】	【一般向け】
WS-03	11:00-12:30/ 15:30-17:00	ペット防災サポート協会	あなたの命を守るペット防災・減災を一緒に 考えてみませんか?	【自助・共助】 【ペット】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-04	13:30-15:00/ 15:30-17:00	三菱地所レジデンス(株)	みんなdeそなえる ～「そなえるドリル」で考えてみよう!	【備蓄・グッズ】 【自助・共助】	【一般向け】
WS-05	11:00-12:30/ 13:30-15:00	日本ジオパークネットワーク	大地の成り立ちから知る防災のヒント	【災害教訓・伝承】 【地域防災】	【一般向け】
WS-06	13:30-15:00	(株)白獅子	「VRの技術で、災害から人類を守ろう(仮称)」	【地震・火山】 【土砂災害】	【自治体向け】
WS-07	11:00-12:30	(公社)日本地震学会	何でも聞いてみよう、中国地方の地震活動の これまでとこれから=地震学会住民セミナー	【地震・火山】	【一般向け】
WS-08	11:00-12:30/ 13:30-15:00/ 15:30-17:00	(一社)ひろしま防災減災支援協会	体験×企画×対策 「鯉こいキャラバン!」から 防災・減災を取り組みませんか?	【土砂災害】 【地域防災】	【一般向け】 【子供向け】
WS-09	11:00-12:30/ 13:30-15:00/ 15:30-17:00	防災WEST	大雨防災ワークショップ (経験したことのない大雨 その時どうする?)	【風水害】 【その他】	【一般向け】 【学生向け】
WS-10	13:30-15:00/	母と子の育児支援ネットワーク ★	災害時における授乳アセスメント(聞き取り)を体験しよう	【避難・避難所】 【その他】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-11	11:00-12:30	広島市江波山気象館 [(公財)広島市文化財団]	気象・減災・防災の普及活動について 情報共有を図るワークショップ	【教育】 【その他】	【自治体向け】 【専門向け】

3.プレゼン

出展番号	出展団体名	タイトル	キーワード	対象	オンライン面談
PR-01	岩手県	東日本大震災津波の教訓を踏まえた防災活動と復興の歩み	【災害教訓・伝承】 【地域防災】	【自治体向け】	なし
PR-02	海田町	ぼうさいかいた	【災害教訓・伝承】 【自助・共助】	【一般向け】	なし
PR-03	大学共同利用法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	歴史文化の災害対策 ―「歴史文化資料保全の大学・ 共同利用機関ネットワーク事業」の紹介―	【科学・技術】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】	なし
PR-04	(一社)全国建設業協会	「つくる!なおす!まもる!地域建設業の取り組み」	【地域防災】	【一般向け】 【子供向け】	なし
PR-05	(株)ゼンリン	まちを知って身を守ろう～地図×防災～	【地域防災】 【自助・共助】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-06	竹内工業(株)	救助用品を使った300キロの持ち上げ方	【地震・火山】 【地域防災】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-07	(独)都市再生機構	UR都市機構における復旧・復興・防災支援について	【地域防災】 【自助・共助】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-08	(一社)72時間サバイバル教育協会	子どもが主体的に減災を担う72時間サバイバル教育	【教育】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-09	日東工業(株)	防災製品の日常使いって???	【都市・建築・住宅】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-10	(一社)日本建設業連合会	建設会社の防災活動	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【子供向け】	なし

3.プレゼン

出展番号	出展団体名	タイトル	キーワード	対象	オンライン面談
PR-11	(一社)日本照明工業会	エリア防災照明(屋内・屋外非常用照明器具)のご提案	【都市・建築・住宅】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-12	NPO法人 日本防災士会	地域防災力の向上(地区防災計画作成)地域防災力と ボランティア活動	【地域防災】 【自助・共助】	【自治体向け】 【一般向け】	なし
PR-13	パナソニック ライティングデバイス(株)	防災対策用 タングステン耐切創手袋	【備蓄・グッズ】 【地域防災】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-14	広島市防災士ネットワーク	防災まちづくりは「わがまち防災マップ」から ～防災・減災は絆づくり～	【地域防災】 【自助・共助】	【一般向け】	あり
PR-15	広島大学防災・減災研究センター	相乗型豪雨災害から命を守るために必要なこと	【土砂災害】 【地域防災】	【一般向け】	なし
PR-16	広島防災リーダーネットワーク会議	地域で呼びかけ、早めの避難~自主防災組織による 避難の呼びかけ体制づくり~	【地域防災】 【自助・共助】	【一般向け】	あり
PR-17	防災ママかきつばた	知って備えて子どもを守る!おやこ防災活動紹介	【地域防災】 【その他】	【一般向け】 【子供向け】	あり
PR-18	ミライノベーションプロジェクト	暮らしを楽しく、便利に安全にするミライの街づくり	【風水害】 【地域防災】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-19	(株)ヤザワコーポレーション	IoT技術を駆使した次世代型防災ボックスのご紹介	【地域防災】 【企業防災】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-20	よんなな防災会	防災ファンを増やして全国に防災の輪を!	【防災行政】 【地域防災】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-21	イオン(株)	地域を守り、くらしを守る	【地域防災】 【企業防災】	【専門向け】 【一般向け】	なし
PR-22	Welltool(株)	災害時の多言語情報・グローバルコミュニケーション ツール”Welltool”	【災害情報】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-23	エヴォーブテクノロジー(株)	避難所でのウイルス感染症対策に!	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-24	(株)NTTドコモ中国支社	ドコモの災害対策への取り組み紹介	【通信】 【避難・避難所】	【一般向け】	なし
PR-25	エピスタ コーポレーション /(株)プリート	全身拭ける多機能ウエットティッシュ(敏感肌用化粧品)& 便器のいらない自立型携帯トイレ	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-26	機能ガラス普及推進協議会	窓を防災安全ガラスにして災害への備えを。	【都市・建築・住宅】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-27	(一財)自治体国際化協会 (クレア CLAIR)	災害時の外国人支援 ~避難所等で使える 多言語ツールの紹介~	【避難・避難所】 【国際】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-28	大丸鐵興(株)	飲み水だけでは不十分。生活用水も確保しませんか?	【都市・建築・住宅】 【自助・共助】	【企業向け】 【一般向け】	あり
PR-29	WPPグループ Japan Pet Press	災害とペット ー命から読み解く災害への備えー	【避難・避難所】 【ペット】	【一般向け】 【子供向け】	なし
PR-30	帝人フロンティア(株)	総合防災のプラットフォーム「まるごと防災」の提案です。	【避難・避難所】 【自助・共助】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-31	NPO法人 都市環境標識協会	全国統一型避難誘導標識	【地震・火山】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【一般向け】	なし
PR-32	西日本電信電話(株)広島支店	災害時におけるNTT西日本の提供する通信手段の紹介	【通信】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-33	(公社)日本薬剤師会	薬剤師会 モバイルファーマシー	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【専門向け】 【一般向け】	あり
PR-34	梅花堂紙業(株)	避難所でのアメニティーを改善します	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-35	母と子の育児支援ネットワーク	災害時の乳児栄養・授乳支援	【避難・避難所】 【その他】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-36	(一社)福祉防災コミュニティ協会	みんな元気になる福祉避難所	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-37	福島大学うつくしまふくしま 未来支援センター	「福島から発信する防災教育」	【教育】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-38	(株)フジタ	テント付き災害用簡易ベッド	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-39	ヤンマーエネルギーシステム(株)	避難所に安心のライフラインを!減災ソリューション	【防災行政】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-40	江崎グリコ(株)	液体ミルクのご紹介	【備蓄・グッズ】 【医療・福祉】	【自治体向け】 【子供向け】	あり

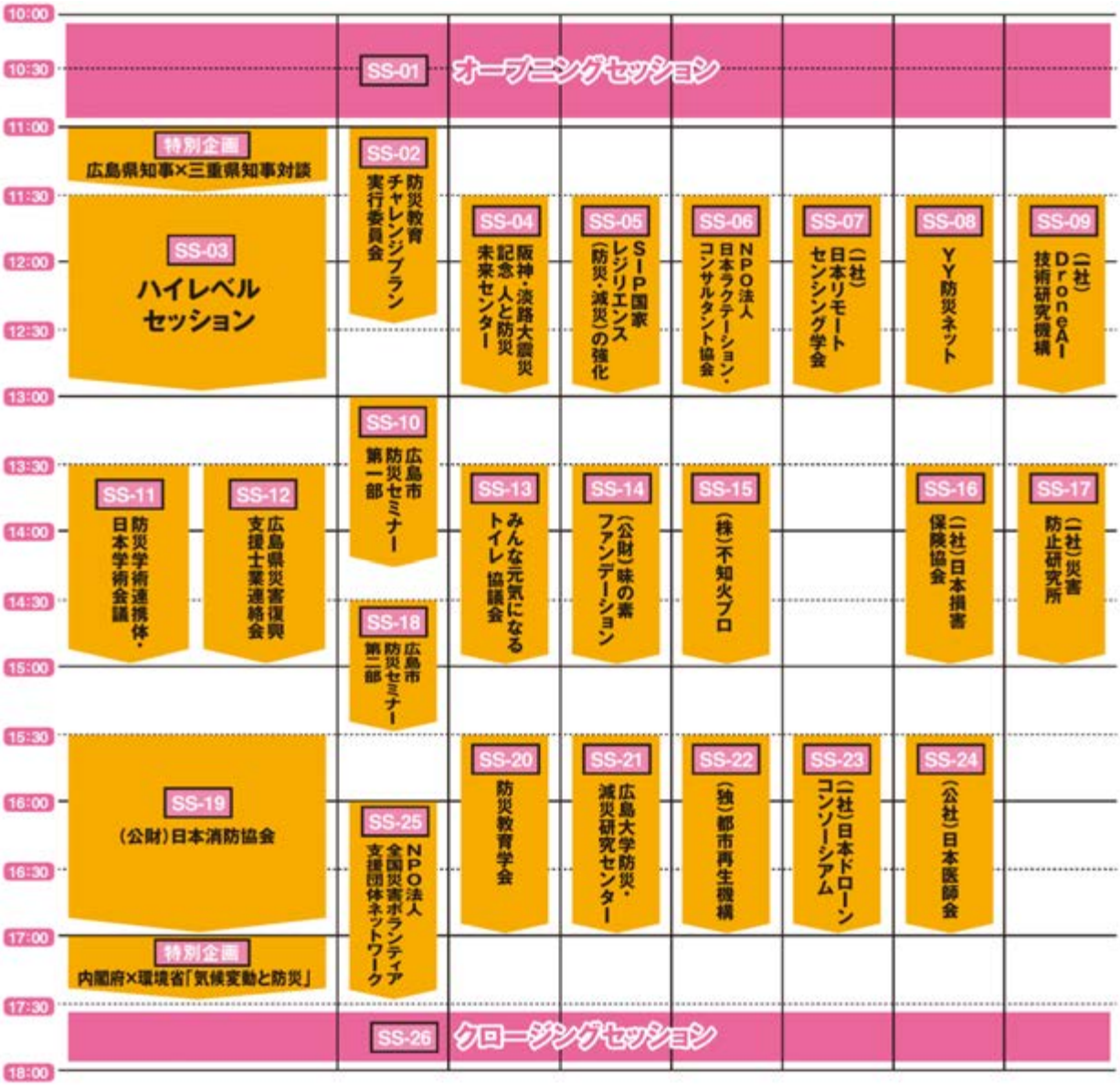
3.プレゼン

出展番号	出展団体名	タイトル	キーワード	対象	オンライン面談
PR-41	(一社)おいしい防災塾	怖くない防災を子供達に。お菓子を使った防災講座。 なぜお菓子が防災なのか?	【備蓄・グッズ】 【ボランティア】	【学生向け】 【子供向け】	あり
PR-42	クラーク(株)	ペットも家族、一緒に避難 まもるんテント (ペットも一緒に避難テント・ちびねこテント・仮設診療テント)	【自助・共助】 【ペット】	【企業向け】 【一般向け】	なし
PR-43	こくみん共済 coop (全国労働者共済生活協同組合連合会)	こくみん共済 coop が実施する防災・減災イベント	【地域防災】 【自助・共助】	【一般向け】 【子供向け】	あり
PR-44	日本労働組合総連合会(連合)	連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～	【ボランティア】 【自助・共助】	【一般向け】	あり
PR-45	日本セイフティー(株)	避難所の衛生管理に役立つ自動ラップ式トイレ!!	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】	なし
PR-46	NPO法人 日本防災用品技術研究協会	緊急避難用“介助運搬車”(手押し車)試乗展示会	【地震・火山】 【地域防災】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-47	(株)ハタヤリミテッド	「公助」・「自助」・「共助」に対しての『備え』	【自助・共助】 【企業防災】	【企業向け】 【一般向け】	あり
PR-48	三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	みえ防災・減災センター及びみえ防災・減災アーカイブの紹介	【災害教訓・伝承】 【自助・共助】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-49	(株)i・ライフソリューションズ	災害時でも安心して飲める天然水と非常食	【備蓄・グッズ】 【企業防災】	【企業向け】 【一般向け】	あり
PR-50	(株) カワハラ技研	災害×感染症対策に最適 “備蓄型・組立式・個室トイレ『ほぼ紙トイレ』”	【備蓄・グッズ】 【その他】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-51	(一社)災害防止研究所	「備え」は防災グッズから	【備蓄・グッズ】 【災害教訓・伝承】	【自治体向け】 【一般向け】	なし
PR-52	(株)スギタ	被災時　早期発見＆体温確保　避難着　全身反射ポンチョ	【風水害】 【備蓄・グッズ】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-53	(株)タカミヤ	浸水対策製品「タイガーダム」の紹介	【風水害】 【備蓄・グッズ】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-54	トーヨーエナジー(株)	油吸着分解材による漏油対策の改善	【風水害】 【防災行政】	【企業向け】 【自治体向け】	なし
PR-55	鹿児島市	火山防災トップシティ かごしま市	【地震・火山】 【防災行政】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-56	(一社)危機管理・労働災害防止機構	安全だけど安心できないを考える	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【学生向け】	あり
PR-57	熊本県	地震や豪雨に負けない熊本	【地震・火山】 【その他】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-58	国立国会図書館	国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】	あり
PR-59	東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門	地震津波リスク評価に関する研究成果および防災減災に 関する教育・啓発-産学連携を通じて-	【地震・火山】 【風水害】	【自治体向け】 【一般向け】	なし
PR-60	日東工業×生方製作所	楽しく学ぼう♪おうちの地震対策	【地震・火山】 【企業防災】	【一般向け】 【子供向け】	あり
PR-61	国土交通省 中国地方整備局	TEC-FORCEの取組について	【風水害】 【防災行政】	【自治体向け】 【一般向け】	なし
PR-62	(株)コミュニティネット	”屋内で浮いて助かる”要支援者向け救命用具 「担架ボートPUKA」	【風水害】 【災害教訓・伝承】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-63	名古屋市	東海豪雨から20年 ～ナゴヤの治水対策の今～	【風水害】 【災害教訓・伝承】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-64	梅林学区自主防災会連合会 / 梅林学区復興まちづくり協議会	2014年8月20日 広島豪雨災害からの復興まちづくり	【災害教訓・伝承】 【その他】	【専門向け】 【一般向け】	あり
PR-65	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝える災害ミュージアム	【災害教訓・伝承】 【教育】	【専門向け】 【一般向け】	あり
PR-66	(公財)福島イノベーション・コースト構想 推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災・原子力災害伝承館	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【学生向け】	あり
PR-67	リコージャパン(株)	ICTを活用した発災後初動期における情報伝達	【災害教訓・伝承】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-68	名古屋学芸大学	名古屋学芸大学 学生の学び	【教育】 【ボランティア】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-69	名古屋みずほ災害ボランティア ネットワーク	防災ソングで学校教育＆3.11忘れない神社ワイン	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【子供向け】	あり
PR-70	(公社)日本技術士会防災支援委員会	科学技術で大規模災害の被害を軽減	【防災行政】 【企業防災】	【企業向け】 【自治体向け】	あり

3.プレゼン

出展番号	出展団体名	タイトル	キーワード	対象	オンライン面談
PR-71	防災教育学会	防災教育学会がめざす持続可能な防災教育の創造	【教育】	【専門向け】 【一般向け】	あり
PR-72	国際復興支援プラットフォーム(IRP)	「Build Back Better(より良い復興)」に関する 経験と教訓を発信	【防災行政】 【国際】	【専門向け】 【一般向け】	なし
PR-73	坂町	坂町における災害対応と今後の復興に向けて	【土砂災害】 【防災行政】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-74	南海トラフ地震による超広域災害への 備えを強力に進める10県知事会議	南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進めよう	【防災行政】 【南海トラフ】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-75	(一社)日本非常食推進機構	SDGsに寄与する防災備蓄品の有効活用	【防災行政】 【企業防災】	【企業向け】 【自治体向け】	なし
PR-76	アールシーソリューション(株)	未来にそなえる新しい防災アプリ「PREP」	【災害情報】 【通信】	【企業向け】 【一般向け】	あり
PR-77	(一財)移動無線センター	知ってほしい! 災害時の通信手段にベストな無線 『MCAアドバンス』	【通信】	【企業向け】 【自治体向け】	あり
PR-78	(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)	通信途絶時でも使える可搬型ローカル通信システム(LACS)	【科学・技術】 【通信】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-79	国立研究開発法人情報通信研究機構	災害に強い情報通信技術の構築に向けて	【災害情報】 【通信】	【自治体向け】 【一般向け】	あり
PR-80	総務省中国総合通信局	災害時における情報通信の確保と支援	【災害情報】 【通信】	【自治体向け】	あり
PR-81	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	防災科研の取り組み	【科学・技術】 【災害情報】	【自治体向け】 【一般向け】	なし
PR-82	防災専門図書館 [(公社)全国市有物件災害共済会]	防災・災害のことで「困った!」なら、防災専門図書館へ 行ってみよう!	【災害情報】 【ゲーム】	【一般向け】 【子供向け】	あり
PR-83	(一社)日本防災プラットフォーム(JBP)	産官学の連携で防災ビジネスのイノベーションを推進!	【科学・技術】 【国際】	【専門向け】 【企業向け】	あり
PR-84	(一社)浄化槽システム協会	災害に強い浄化槽システム	【都市・建築・住宅】 【その他】	【自治体向け】 【一般向け】	なし

〈セッション配信プログラム〉



〈ワークショップ実施プログラム〉

※開催時間は、あらかじめ出展団体にて実施可能な時間帯を登録した。

ワークショップ出展団体名		11:00～12:30	13:30～15:00	15:30～12:30
WS-01	内閣府 TEAM防災ジャパン		●	●
WS-02	日本赤十字社	●	●	
WS-03	ペット防災サポート協会	●		●
WS-04	三菱地所レジデンス（株）		●	●
WS-05	日本ジオパークネットワーク	●	●	
WS-06	（株）白獅子		●	
WS-07	（公社）日本地震学会	●		
WS-08	（一社）ひろしま防災減災支援協会	●	●	●
WS-09	防災WEST	●	●	●
WS-10	母と子の育児支援ネットワーク		●	
WS-11	広島市江波山気象館[（公社）広島市文化財団]		●	●

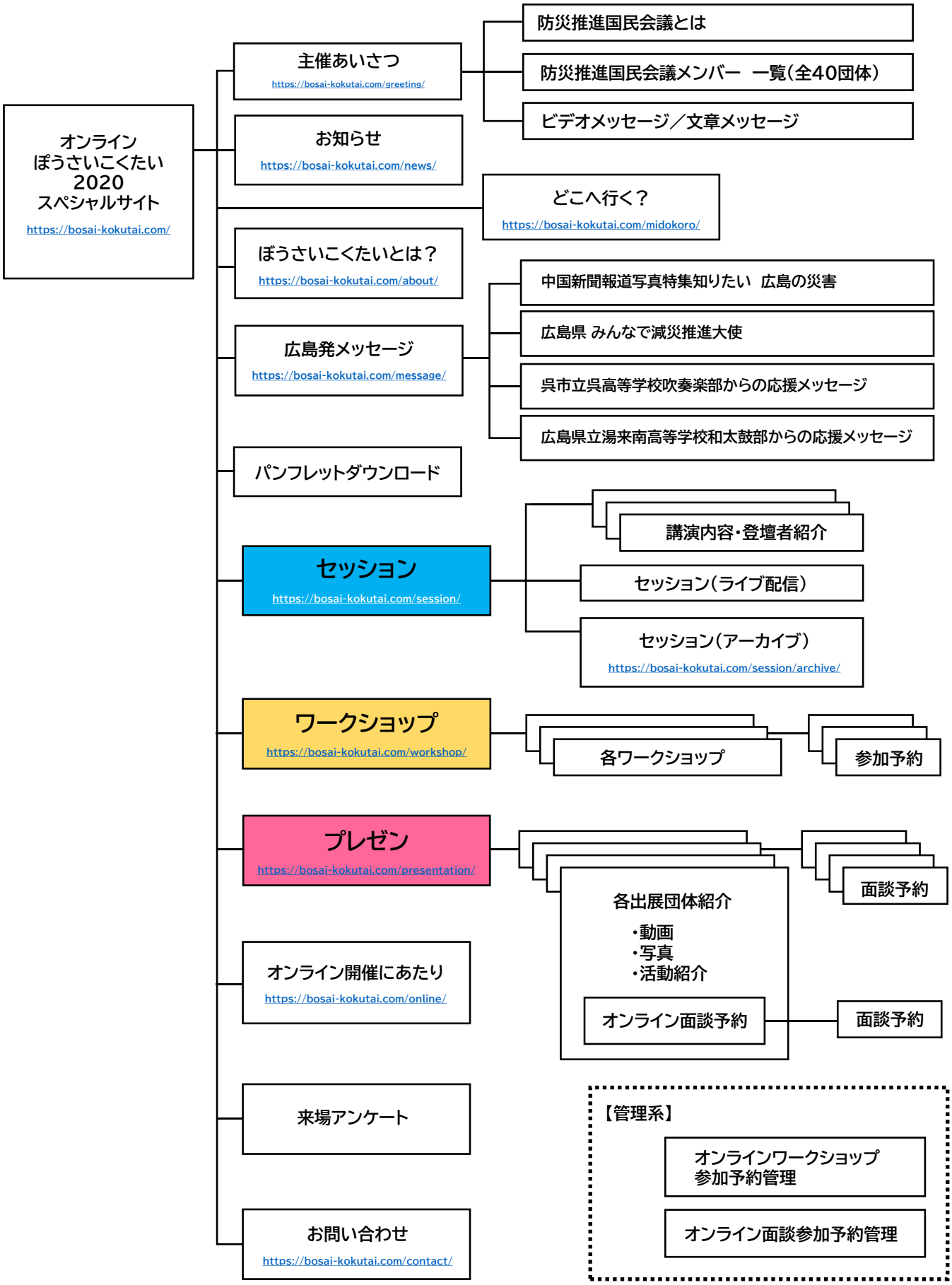
特設ページ構成内容

オンラインぼうさいこくたいのプラットフォームとして、特設ページを開設しました。（9/10サイトオープン）
各出展タイプごとにページを設け、それぞれの出展内容を紹介するとともに、事前参加申込が必要なワークショップ、プレゼンのオンライン面談に関しては参加募集を行いました。

ぼうさいこくたい公式HP
http://bosai-kokutai.jp/

オンラインぼうさいこくたい特設ページ
https://bosai-kokutai.com/

■特設ページ　遷移図


オンライン
ぼうさいこくたい
2020
スペシャルサイト
https://bosai-kokutai.com/
主催あいさつ
https://bosai-kokutai.com/greeting/
防災推進国民会議とは
防災推進国民会議メンバー　一覧（全40団体）
ビデオメッセージ／文章メッセージ
お知らせ
https://bosai-kokutai.com/news/
どこへ行く？
https://bosai-kokutai.com/midokoro/
ぼうさいこくたいとは？
https://bosai-kokutai.com/about/
広島発メッセージ
https://bosai-kokutai.com/message/
中国新聞報道写真特集知りたい　広島の災害
広島県 みんなで減災推進大使
呉市立呉高等学校吹奏楽部からの応援メッセージ
広島県立湯来南高等学校和太鼓部からの応援メッセージ
パンフレットダウンロード
セッション
https://bosai-kokutai.com/session/
講演内容・登壇者紹介
セッション（ライブ配信）
セッション（アーカイブ）
https://bosai-kokutai.com/session/archive/
ワークショップ
https://bosai-kokutai.com/workshop/
各ワークショップ
参加予約
プレゼン
https://bosai-kokutai.com/presentation/
各出展団体紹介
・動画
・写真
・活動紹介
オンライン面談予約
面談予約
面談予約
オンライン開催にあたり
https://bosai-kokutai.com/online/
来場アンケート
お問い合わせ
https://bosai-kokutai.com/contact/
【管理系】
オンラインワークショップ
参加予約管理
オンライン面談参加予約管理

セッション詳細

セッション詳細〈小此木八郎防災担当大臣 挨拶〉

皆さんおはようございます。内閣府防災担当大臣の小此木八郎です。本日はご多忙の中、「防災推進国民大会2020」にご参加、ご視聴いただき、厚く御礼申し上げます。主催者を代表いたしまして、一言御挨拶申し上げます。

今年も7月豪雨や台風第10号など、一連の災害で甚大な被害が発生しました。これらの災害により亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

今年で5回目となる防災推進国民大会は、当初、広島市での開催を予定しておりましたが、現在のコロナ禍の状況を踏まえ、広島からの発信に重きを置きつつ、初めてオンラインでの開催といたしました。開催に向けてご尽力を頂きました皆様方に深く感謝申し上げます。

さかのぼれば昭和20年、終戦直後に、死者・行方不明者合わせて約3,700人以上、広島県内だけでも2,000人以上の犠牲者を出した枕崎台風から今年は75年。その後も、土砂災害防止法制定のきっかけとなった平成11年の豪雨災害や、平成26年、30年と立て続けに大きな土砂災害をもたらした豪雨災害など、広島には原爆の惨禍とともに忘れてはならない災害の歴史があります。

近年は、豪雨や台風の災害が頻発化、激甚化しております。私も、前回防災大臣を務めていた時、平成30年西日本豪雨災害に対応し、大きな被害を受けた広島にも参りました。その後も昨年の房総半島台風や東日本台風、今年の7月豪雨災害など、大きな災害が連続しています。また、豪雨や台風だけでなく、わが国は、地震、津波、火山、豪雪など様々な自然災害を受けやすい国です。阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、そして東日本大震災、熊本地震など、挙げればきりがないほどです。

こうした特徴を踏まえ、自然災害から国民の生命、財産を守るため、政府では、過去の災害から得られた教訓を活かして不断に防災政策を見直し、ハード・ソフトにわたる防災・減災対策、国土強靭化の取組を推進しています。そして、行政による「公助」はもとより、私たち国民一人一人が、「自らの命は自らが守る」意識を持って災害に備える「自助」や、地域コミュニティ、学校、企業、ボランティアなどが助け合う「共助」を強くすることが、災害に強い国づくりのため益々重要になっています。

政府では、国民の皆様に、災害リスクや災害時にとるべき行動を知っていただくよう、ハザードマップや避難行動、避難情報の理解を促進する取組や、地域で助け合う「地区防災計画」の策定を支援する取組を進めています。さらにコロナ禍の現在、避難所での3密対策、分散避難の推進、「コロナ禍の中でも災害時に危険な場所にいる人は避難する」ことの周知徹底など、災害と感染症の複合リスクへの対応も進めています。国民の皆様には、日常から、家族や地域の方々と一緒に災害に備えていただくとともに、災害時には、様々な主体が連携して対応できるよう準備をしていただきたいと思います。

本日の大会では、行政、企業、各種団体、学術界など防災に関わる118(※)もの団体が参加し、それぞれの取組や経験などを発表いただきます。また、どこからでも参加できるオンラインならではメリットもあります。本日の大会で、きっと防災をめぐる新たな出会いや、新たなつながりが生まれることでしょう。

最後に、皆様には、本日の大会を通じて、防災について学び、経験を共有し、連携を深めていただきますとともに、皆様が深められた防災の意識を、今度はまわりの方にも広げていただくことで、わが国の防災対応力が一層強化されますことを願いまして、私からの挨拶といたします。

※直前で1団体が配信を取り下げたため、最終出展団体数は117団体

10月3日(土)
オープニングセッション「ビデオメッセージ」にて

SS-01
広島・東京メインスタジオ
10/3(土)
10:00～11:00

オープニングセッション

主催：内閣府

防災担当大臣、防災推進国民会議議長の主催者挨拶、主会場地から広島県知事、広島市長のご挨拶をいただきました。その後、ハイレベル対談として、過去に広島で発生した土砂災害も教訓に、命を守る避難の大切さを訴えるため、不断の改善を進めているわが国の避難の取組について、東京大学田中特任教授、広島大学海堀教授、日本テレビ鈴江アナウンサー、コーディネーターに国士館大学山崎教授を迎え、本大会の火蓋を切る対談を行いました。

10:00～ 10:05	**開会宣言** 小此木　八郎　　内閣府特命担当大臣（防災）
10:05～ 10:10	**主催挨拶** 大塚　　義治　　防災推進国民会議議長 防災推進協議会会長（日本赤十字社社長）
10:10～ 10:15	**開催都市挨拶** 湯﨑　　英彦　　広島県知事
10:15～ 10:20	松井　　一實　　広島市長

10:20～ 11:00	**ハイレベルディスカッション** 田中　　淳　　東京大学大学院 情報学環 特任教授 海堀　正博　　広島大学先進理工系科学研究科教授/防災・減災研究センター長 鈴江　奈々　　日本テレビ放送網株式会社編成局アナウンス部アナウンサー・防災士 山﨑　　登　　国士館大学防災・救急救助総合研究所 教授

SS-02
東京サブスタジオ
10/3(土)
11:00～12:30

防災教育交流会

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会

防災教育チャレンジプランの対象である防災教育の取り組み初心者等に対して、本大会のテーマである「頻発する大規模災害に備える～『みんなで減災』助け合いをひろげんさい～」を踏まえたセッションを行うことにより、防災教育についての知見、理解を深めてもらいました。また、本事業の参加主体である学校、NPO、学生団体、個人等が一堂に会し、セッションを行うことにより、今後の防災教育の普及推進に向けた検討課題の共有化を図りました。

■登壇者

林　　春男	国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
河田　恵昭	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター センター長
戸田　芳雄	学校安全教育研究所 代表/日本安全教育学会 理事長
益田　紗希子	特定非営利活動法人ミラクルウィッシュ 代表
齋藤　朝子	埼玉県立日高特別支援学校 小学部主事 防災アドバイザー
古賀　元博	南阿蘇村立南阿蘇中学校 防災主任、防災士
田中　良典	滋賀県立彦根工業高等学校 教諭
長屋　和宏	吾妻学園おやじの会
幾島　浩恵	上富田ふれあいルーム 講師

SS-03
広島・東京メインスタジオ
10/3(土)
11:00～12:30

ハイレベルセッション
災害の経験と地域防災力の強化～土砂災害の経験から～

主催：内閣府

広島は、平成26年、30年と立て続けに豪雨による大きな土砂災害に見舞われました。国・自治体では、これらを教訓とし、自助・共助の意識を高め、避難対策を活発に推進しています。そこで、広島市長、中国地方整備局長などの行政機関やマツダ、防災の専門家、地元住民など、様々な立場から広島の土砂災害の経験を踏まえ、住民の避難行動促進の課題と対策、地域の防災力を高めるための方策や組織の連携について意見交換を行いました。

■登壇者

松井　一洋	広島経済大学 名誉教授
村手　　聡	内閣府大臣官房審議官（防災担当）
小平　　卓	国土交通省中国地方整備局 局長
松井　一實	広島市長
勝田　博文	広島市消防局 消防局次長
植　　義則	広島県警察本部警備部危機管理課 危機管理課長
大竹　文雄	大阪大学大学院経済学研究科 教授
鍵屋　　一	跡見学園女子大学 教授 一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会代表理事
菖蒲田　清孝	マツダ株式会社 取締役 専務執行役員
西田　志都枝	広島市早稲田学区社会福祉協議会 同 自主防災連絡協議会 会長

SS-04
リモートライブ配信
10/3(土)
11:30～13:00

災害伝承ミュージアム・セッション vol.2 2020 with コロナ時代における課題と展望

主催：阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター

先に実施したアンケート調査の結果から、コロナ禍における災害伝承施設（防災啓発施設等を含む）の状況を俯瞰しました。また、全国の9団体から施設の紹介とともにコロナ禍における取組状況などを発表いただきました。このセッションを契機とし、施設間のつながりが一層深まり、より多くの施設と関係を広げていけることを期待しています。

■登壇者

佐藤　克美	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館　館長
中川　政治	東日本大震災メモリアル「南浜つなぐ館」　専務理事
野村　卓也	中越沖地震メモリアルまちから　チーフ防災コーディネーター
吉田　　剛	埼玉県防災学習センター“そなーえ”　副所長 兼 総務・渉外グループ長
木村　翔太	横浜市民防災センター　消防士長
外岡　達朗	静岡県地震防災センター
徳田　竜司	大阪市立阿倍野防災センター　大阪市消防局予防部地域担当課長
今井　隆介	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター事業部長
高岡　美菜	（熊本地震）震災遺構（旧東海大学阿蘇校舎1号館及び地表地震断層）熊本県知事公室付 参事
平林　英二（進行）	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター　企画ディレクター

SS-05
リモートライブ配信
10/3(土)
11:30～13:00

SIP「国家レジリエンス」の革新技術で変わるこれからの災害対応

主催：SIP国家レジリエンス（防災・減災）の強化

広島県は、土砂災害等危険箇所が約3万2千カ所と全国で最も多い県であり、平成26年8月豪雨、平成30年7月豪雨において、土砂災害による大きな被害が発生しました。広島県の災害対応の取組を紹介いただきながら、平成30年7月豪雨でも対応した研究者メンバーより、令和2年7月豪雨において活用された開発技術を紹介し、革新技術によって変わるこれからの災害対応の姿を探っていきました。

■登壇者

関　　克己	（公財）河川財団 理事長
佐藤　伸樹	広島県 危機管理監 危機管理課 課長
臼田　裕一郎	（国研）防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括
六川　修一	東京大学工学系研究科 教授、兼（国研）防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括
萩行　正嗣	株式会社ウェザーニューズ 主任研究員
清水　慎吾	（国研）防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括

SS-06
リモートライブ配信
10/3(土)
11:30～13:00

国際スタンダードにそった災害時における乳幼児の栄養支援とは

主催：NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会

4人のシンポジストが15分前後で以下のテーマについてお話されました。その後、お互いに質問しあう形で内閣府男女共同参画局から5月に出た防災・復興のガイドラインに書かれた災害時の乳幼児栄養・授乳支援について、多角的に論じました。
浅野幸子「内閣府ガイドラインの概要」 ／ 名西恵子「コロナ禍の授乳支援」 ／ 奥 起久子「国際スタンダードと災害時の母乳継続の利点」 ／ 本郷寛子「国際スタンダードとアセスメントシートについて」

■登壇者

浅野　幸子	減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表 早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
名西　恵子	東京大学医学部国際交流室講師　同大学院医学系研究科国際保健学専攻講師兼務　小児科医
奥　起久子	NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会 災害対策事業部
本郷　寛子	母と子の育児支援ネットワーク代表 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻修了（保健学博士）

SS-07
リモートライブ配信
10/3(土)
11:30～13:00

防災分野におけるリモートセンシングの最前線

主催：(一社)日本リモートセンシング学会

リモートセンシングの基礎、災害把握への衛星データ利用事例、災害を捉えた画像を紹介しました。リモートセンシングの最先端技術が災害把握に有用であることを示しました。

■登壇者

桑原　祐史	茨城大学 地球・地域環境共創機構/教授
作野　裕司	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 輸送・環境システムプログラム/准教授
小黒　剛成	広島工業大学 環境学部 地球環境学科/教授
田殿　武雄	宇宙航空研究開発機構（JAXA）/研究領域主幹
伊東　明彦	一般社団法人日本ドローンコンソーシアム/事務局長

SS-08
事前収録
10/3(土)
11:30～13:00

地域防災・学校防災とは

主催：YY防災ネット

防災減災とは地域防災・学校防災の取り組みが重要です。感染症対策で地域防災・学校防災でできることを四度の地震災害経験者として伝えました。

■登壇者

野端　　務	石川県白山市石同新町 自主防災会会長
吉野　　堯	石川県白山市石同新町自主防災会 顧問
松岡　俊介	YY防災ネット ジュニア防災リーダー
吉田　亮一	YY防災ネット 代表

SS-09
事前収録
10/3(土)
11:30～13:00

災害と先端技術　-そこにAI(愛)はありますか-

主催：(一社)DroneAI技術研究機構

「より多くの命をいかに守るか」、それが私たちの挑戦です。特にお年寄りやお子様、そしてフィジカルチャレンジをされている方への逃げるを助ける先端技術について話しました。

1 現代版ノアの方舟　／　2 ありそうでなかった不思議な避難梯子　／　3 避難所AI(人工知能技術)

■登壇者

田口　政行	一般社団法人DroneAI技術研究機構 研究者/防災研究者(教育)
藤重　　裕	一般社団法人DroneAI技術研究機構 理事長

SS-10
RCCラジオ第2スタジオ
10/3(土)
13:00～14:15

広島市防災セミナー 語り継ぐ防災～教訓を活かす～第一部

主催：広島市、RCCラジオ共催

「災害伝承と防災教育 ～大切な命を守るために～」をテーマに、東京大学の片田敏孝教授を迎え、トークセッションを開催しました。広島市内の災害伝承に関する取組や、防災に関する学校教育の例を、地域の方々にご紹介していただきながら、気象予報士の岸真弓さんやアナウンサーの本名正憲さんが全体コーディネートしました。トークセッションの様子は、ラジオでもライブ配信しました。

■登壇者

片田　敏孝	東京大学大学院情報学環　特任教授 日本災害情報学会　会長
松井　　憲	復興交流館モンドラゴン/事務局長 広島市地域防災リーダー
杉田　精司	河内地区自主防災会連合会　会長
山口　芳和	落合小学校/教諭・広島市地域防災リーダー
本名　正憲	株式会社中国放送/アナウンサー
岸　　真弓	株式会社中国放送/気象予報士・防災士

SS-11
事前収録
10/3(土)
13:30～15:00

複合災害への備えー withコロナ時代を生きる

主催：防災学術連携体・日本学術会議

新型コロナウィルスの感染拡大は日本全国、全世界に及んでいます。感染症への対策は続けねばならず、この間に生じる地震や気候変動激化による豪雨災害にも備えねばなりません。「withコロナの時代」に生きる私たちは、今後このような自然災害が複合して生じる災害にどのように備えていくべきでしょうか。医療、気象、水害や震災などの分野の専門家が集まり、知恵を結集して議論するとともに、一般市民への展開を図りました。

■登壇者

和田　　章	東京工業大学名誉教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体運営幹事
大友　康裕	東京医科歯科大学大学院 救急医学領域長、救急災害医学分野教授、 防災学術連携体代表幹事
中村　　尚	東京大学先端科学技術研究センター教授　Ph.D.　日本学術会議会員
小松　利光	九州大学名誉教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体幹事、 日本工学会副会長
平田　　直	日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 参与(兼)首都圏レジリエンス研究推進センター長
米田　雅子	日本学術会議会員・防災減災学術連携委員長、防災学術連携体代表幹事、 慶應義塾大学特任教授
森本　章倫	早稲田大学教授、日本都市計画学会副会長、防災学術連携体副代表幹事
田村　和夫	日本学術会議連携会員、建築都市耐震研究所代表

SS-12
広島メインスタジオ
10/3(土)
13:30～15:00

「ひとり」を「独り」にしない復興支援のカタチ

主催：広島県災害復興支援士業連絡会

復興支援は、被災者一人一人のニーズを拾い、解決していくことだけではなく、被災者の方のコミュニティを取り戻し、社会の中の「独り」ではなく「ひとり」として生活できるように支援することが重要です。今回のセッションでは、限界まで一人一人に寄り添い続けている各分野のプロフェッショナルの方々をお招きし、「ひとり」を「独り」にしない復興は、どのような団体がどのように連携すれば実現できるかを話し合いました。

■登壇者

松原　裕樹	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター/専務理事・事務局長
吉野　篤史	社会福祉法人 広島県社会福祉協議会/地域福祉課長 兼 広島県地域支え合いセンター長
津久井　進	兵庫県弁護士会/日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長
明城　徹也	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)/事務局長
澤田　雅浩	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科/准教授
古川　智	技術士/広島県災害復興支援士業連絡会会員、 公益社団法人 日本技術士会 中国本部 防災委員会 副委員長、 中電技術コンサルタント株式会社 企画本部事業企画部 担当部長
今田　健太郎	広島弁護士会/広島県災害復興支援士業連絡会会長
工藤　舞子	広島弁護士会/広島県災害復興士業連絡会事務局

SS-13
リモートライブ配信
10/3(土)
13:30～15:00

みんな元気になるトイレ協議会発足記念シンポジウム

主催：みんな元気になるトイレ 協議会

必ず起きると言われる国難級災害、首都直下地震では700万人、南海トラフ地震では950万人になるとも言われています。全国の1,741市区町村が一台ずつトイレトレーラーが、被災地に全国から速やかに集結するネットワークを最大機能させるための協議会が発足しました。

■登壇者

目黒　公郎	工学者 東京大学生産技術研究所教授、 都市基盤安全工学国際研究センター長
鍵屋　一	跡見学園女子大学 教授 、 一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会代表理事
国崎　信江	株式会社 危機管理教育研究所 代表
石川　淳哉	ソーシャル・グッド・プロデューサー 一般社団法人助けあいジャパン 代表理事 株式会社ドリームデザイン 代表取締役
小長井　義正	静岡県富士市長

SS-14
リモートライブ配信
10/3(土)
13:30～15:00

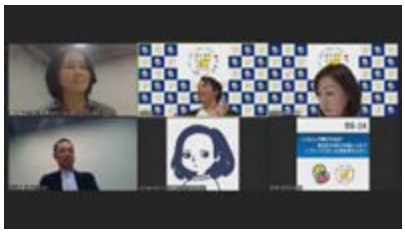
「いざという時どうなる？あなたの食と栄養」vol.3 ～フェーズフリーな食を考えよう～

主催：(公財) 味の素ファンデーション

【食・栄養】は誰でも参加できる防災の入り口です。セッションでは、発災時に起きる食・栄養の様々な課題や最新の取り組みを知って頂き、参加者全員が主体者として、そこから自助・互助・共助・公助それぞれのレベルで出来ることを一緒に考え、行動に繋げます。

■登壇者

佐藤　唯行	一般社団法人フェーズフリー協会 代表理事
掛川　哲司	料理人
須賀　智子	株式会社料理通信社
齋藤　由里子	公益財団法人 味の素ファンデーション　被災地復興応援事業統括マネージャー



SS-15
リモートライブ配信
10/3(土)
13:30～15:00

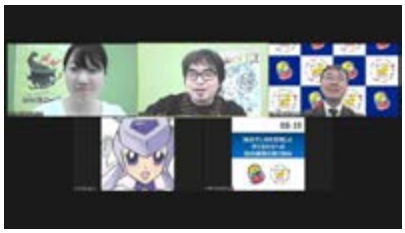
防災マンガを活用した子どもたちへの防災啓発の取り組み

主催：(株)不知火プロ

JA(農協)グループである家の光協会は子ども雑誌「ちゃぐりん」を毎月発行し、その中で2017年から防災漫画「ゆれくる遊撃隊のレッツ防災術」の連載を続けています。子どもたちに向けて漫画で楽しく防災啓発する際の工夫や、子どもたちの健康と安全のための取り組みについて、制作や編集の担当者たちが実例を紹介しました。

■登壇者

上薗　幸一	株式会社不知火プロ
近井　朋人	一般社団法人 家の光協会



SS-16
事前収録
10/3(土)
13:30～15:00

今後の豪雨災害の“ソナエ”のために私たちが踏み出す新たな第一歩

主催：(一社)日本損害保険協会

災害情報・ボランティア・広島市の取組みなどをテーマとし、過去の広島の水害にまつわる場所での取材も交え、私たちが明日から新たな第一歩を踏み出すために必要な“ソナエ”を考えてました。

■登壇者

松井　一洋	広島経済大学 名誉教授
関谷　直也	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 准教授
浦野　　愛	レスキューストックヤード 常務理事
北島　利喜	広島市危機管理室災害予防課 主事

SS-17
事前収録
10/3(土)
13:30～15:00

災害に強いココロを養う/レジリエンス

主催：(一社)災害防止研究所

1 災害時のメンタルケアの必要性【5分】 ／
2 アサーティブトレーニング【40分】 約20名に、アンケート調査を実施。希望者4～5名に、性格分析を実施。
3 日常生活におけるレジリエンス強化の意義【15分】
トレーニングの有効性 ／ メンタルケアの効果(スポーツメンタル・トレーナー) ／ Q&A

■登壇者

井上　幸珠	メンタルトレーニング研究所 一般社団法人 ability アビリティ 代表理事
吉田　明生	一般社団法人災害防止研究所 代表理事
福島　秀和	プロ総合格闘家、フィジカル・パーソナルトレーナー、 メンタルトレーニング講師、ヨガ・インストラクター

出展団体の事情により
当日のセッション配信は中止

SS-18
東京サブスタジオ
10/3(土)
14:30～15:30

広島市防災セミナー 語り継ぐ防災～教訓を活かす～第二部

主催：広島市、RCCラジオ共催

第一部にもご登壇いただいた東京大学大学院の片田敏孝教授に、「災害の教訓を伝えるということ～災害伝承と防災教育の視点から～」をテーマに、御講演をいただきました。

■登壇者

片田　敏孝	東京大学大学院情報学環　特任教授 日本災害情報学会　会長

SS-19
広島・東京メインスタジオ
10/3(土)
15:30～17:00

数々の災害体験をのりこえて

主催：(公財)日本消防協会

広島県では、広島市をはじめ県内各地でこれまでも大規模な水害などの経験から、防災対策に積極的に取り組んでおられます。さらに、近年はこれまでにない局地的な集中豪雨などがあり、避難行動などまで含めて一層充実した対策を実施しておられます。これらに対する対応等について発表して頂くとともに、今後の課題等についてご協議頂き、防災・減災対策の一層の充実に寄与するべく、実施しました。

■登壇者

秋本　敏文	公益財団法人日本消防協会会長
玖島　鐘二	広島市役所/危機管理室災害予防課課長
荻澤　　滋	総務省消防庁国民保護・防災部長
三宅　　操	広島県危機管理監みんなで減災推進課長
室﨑　益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授

SS-20
事前収録
10/3(土)
15:30～17:00

持続可能な防災教育の創造に向けて

主催:防災教育学会

防災分野と教育分野から、防災教育の実践者と研究者をパネリストとして招き、具体的な実践をもとに、先進的な実践を可能にしている要因、全体に劇的に広がっていかない原因などを話し合いました。防災教育を持続可能にするアイデアを発信するところまで議論を深めました。

■登壇者

中溝　茂雄	神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科・教授
舩木　伸江	神戸学院大学現代社会学部社会防災学科・准教授
森永　速男	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・教授
曽川　剛志	西宮市立夙川小学校・教諭 兵庫教育大学博士課程

（コーディネーター）

諏訪　清二	防災学習アドバイザー・コラボレーター

SS-21
リモートライブ配信
10/3(土)
15:30～17:00

相乗型豪雨災害から命を守るために

主催:広島大学防災・減災研究センター

2018年7月の豪雨災害の崩壊・土石流や土砂洪水氾濫の発生状況と要因(長谷川祐治准教授)、発災時・発災後に見られた道路や交通などのインフラの混乱メカニズムの分析(藤原章正教授)、実効性のある避難のあり方の模索(坂田桐子教授)、withコロナ時代における避難所運営に向けて(大毛宏喜教授)等の広島大学防災・減災研究センターの取組を紹介し、地域住民などと今後の防災について討議しました。

■登壇者

海堀　正博	広島大学先進理工系科学研究科教授/防災・減災研究センター長
藤原　章正	広島大学副学長/先進理工系科学研究科教授
大毛　宏喜	広島大学病院副病院長/感染症科教授
坂田　桐子	広島大学大学院人間社会科学研究科教授
長谷川　祐治	広島大学先進理工系科学研究科准教授
山口　正記	福山市総務局総務部危機管理防災課長
杉原　均	福山市山手学区町内会連合会会長 福山市山手学区自主防災協議会会長
神尾　博志	東広島市総務部危機管理課長
牧野　美三夫	東広島市八本松住民自治協議会防災委員会委員長

SS-22
事前収録
10/3(土)
15:30～17:00

魂を込めた地区防災計画づくりの実例 ～最も大切なプロセスを辿る～

主催：(独)都市再生機構

UR賃貸住宅において、居住者によって構成される自治会や自主防災会が主体となり、地区防災計画の策定を実施している地域があります。今回は、策定に取り組まれた2つの事例について、地区防災計画の策定におけるプロセスを紐解いていくことで、策定当時の様子や苦労したこと、策定のポイントやコツなどを、策定支援に携わったUR職員と百年防災社葛西さんの3名によるトークセッションを通じてご紹介しました。

■登壇者

葛西　優香	株式会社百年防災社取締役
山口　和人	UR都市機構東日本賃貸住宅本部千葉エリア経営部 団地マネージャー
柴田　　岳	UR都市機構東日本賃貸住宅本部神奈川エリア経営部 ストック活用計画課

SS-23
リモートライブ配信
10/3(土)
15:30～17:00

防災分野におけるドローン利活用の最前線

主催：(一社)日本ドローンコンソーシアム

防災分野におけるドローンの利活用の実績を紹介すると共に、行政における防災訓練の状況や災害時利用に関わる将来ビジョン・計画を紹介しました。

■登壇者

酒井　直樹	防災科学技術研究所先端的研究施設利活用センター 先端的研究施設利活用センター副センター長
鳥潟　與明	東光鉄工株式会社UAV事業部 シニアマネージャー
岡部　和夫	スカイリモート 代表
須田　信也	株式会社WorldLink&Company 代表取締役
伊東　明彦	一般社団法人日本ドローンコンソーシアム/事務局長

SS-24
事前収録
10/3(土)
15:30～17:00

豪雨災害と医療連携

主催：(公社)日本医師会

地域医療の担い手、豪雨災害時の医療指揮経験者や防災専門家の参加を得て、近年多発化・被害激甚化が進む豪雨災害における医療連携を協議しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえて感染対策も論じました。

■登壇者

西野　繁樹	広島県医師会常任理事
髙杉　啓一郎	広島県呉市医師会理事
山田　和彦	熊本県人吉市医師会副会長
丹羽　浩之	広島市危機管理室専門監
櫻井　滋	日本環境感染学会「災害時感染制御検討委員会」委員長 岩手医科大学附属病院感染制御部長
中川　俊男	公益社団法人 日本医師会 会長
猪口　雄二	公益社団法人 日本医師会 副会長
長島　公之	公益社団法人 日本医師会 常任理事

SS-25
リモートライブ配信
10/3(土)
15:30～17:00

コロナ禍での多様な被災者支援主体による連携(三者連携)～支援を届ける×感染リスクを高めない～

主催：NPO法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

コロナ禍での初めての災害となった、令和2年7月豪雨について「必要な支援を届けること」と「感染リスクを高めないこと」をどうやって両立するのか。また、全国の三者連携の取組みを紹介し、いざという時に機能する連携のあり方を考えました。

■登壇者

樋口　務	特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク (KVOAD)/代表理事
坂口　輝昭	日本青年会議所建設部会 第54代部会長
小川　耕平	社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長
市川　琢己	内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)付 参事官補佐
田中　雄一郎	朝日新聞大阪本社 論説委員室 論説副主幹
篠原　辰二	一般社団法人Wellbe Design/理事長
瀬川　加織	特定非営利活動法人いわて連携復興センター/地域コーディネーター (復興庁CDN事業統括・防災担当)
石原　達也	特定非営利活動法人岡山NPOセンター/代表理事
明城　徹也	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)/事務局長

SS-26
広島・東京メインスタジオ
10/3(土)
17:30～18:00

クロージングセッション

主催：内閣府

大会の締めくくりとして、防災推進国民会議副議長の挨拶の後、広島大学海堀教授より総評と次回のぼうさいこくたいへの期待をお話しいただきました。次に、来年度の開催地の発表と会場の地域代表者より、来年の抱負をお話しいただき、終わりに防災担当副大臣より主催者挨拶を行いました。

17:30～ 17:35	**閉会挨拶** 秋本　敏文　防災推進国民会議副議長（公益財団法人日本消防協会会長）
17:35～ 17:40	**総評と次回大会への期待** 海堀　正博　広島大学先進理工系科学研究科教授/防災・減災研究センター長
17:40～ 17:50	**次回大会会場の発表と会場県の紹介** 宇田川　智弘　一般社団法人日本損害保険協会 理事 業務企画部長 防災推進協議会運営委員会委員長 佐々木　淳　岩手県ふるさと振興部長
17:50～ 18:00	**閉会挨拶** 赤澤　亮正　内閣府　防災担当副大臣

特別企画
事前収録
10/3(土)
特設ページにて公開

頻発する豪雨、切迫する巨大地震にどう備えるか ～広島県知事 × 三重県知事トップ対談～

特別企画

広島県は平成26年や30年の豪雨災害等で、三重県は平成23年紀伊半島大水害等で共に大きな被害を受けました。また広島県は、まさ土による土砂災害リスクを抱え、三重県ではリアス式海岸による津波災害を含む南海トラフ地震等のリスクが高まっています。災害への備えを重視する両県知事とコーディネーターに名古屋大学福和教授を迎え、両県知事が、災害から得た教訓、現在の防災の取組、防災への想いを語るトップ対談となりました。

■登壇者

湯﨑　英彦　　広島県知事

鈴木　英敬　　三重県知事

福和　伸夫　　名古屋大学減災連携研究センター教授

特別企画
事前収録
10/3(土)
特設ページにて公開

内閣府×環境省 「気候変動と防災」

特別企画

近年、豪雨や台風などの災害が頻発化、激甚化しており、今後も気候変動の影響により災害リスクはさらに高まるおそれもあります。気候変動が引き起こす気象災害を理解し、今後を考えるため、京都大学中北教授から「気候変動予測と適応に向けた展望」についてお話いただくとともに、今年6月に内閣府と環境省が発表した「気候変動×防災」戦略に関する共同メッセージの内容をお伝えしました。

ワークショップ詳細

ワークショップ

要事前申し込み

WEB会議システムを使ったオンラインワークショップです。
意見交換やワークショップなどを実施します。

参加申し込み方法

① 特設ページ開設後、ホームページの予約申し込みフォームから予約します
▶ ② 出展団体から予約確定連絡が届きます
▶ ③ 出展団体からワークショップ用URLが送付されます
▶ ④ ワークショップ開始！

開催時間　①11:00～12:30　②13:30～15:00　③15:30～17:00

WS-01
10/3(土)
開催時間：②③

内閣府 TEAM防災ジャパン

いまだからこそ、オンラインでつながろう

昨年の名古屋や今年の広島など、ぼうさいこくたいに集った人たちが、日ごろからの防災・減災の事例や悩み・課題を共有し、交流や学び合いの中から、具体的な取り組みのより一層の深化を促す議論を行いました。

WS-02
10/3(土)
開催時間：①②

日本赤十字社

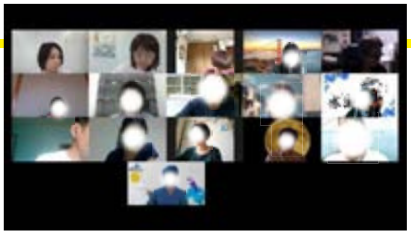
赤十字防災セミナー「災害への備え」特別編
-感染症から身を守るために避難生活で気を付ける事-

日本赤十字社では赤十字防災セミナーを全国で展開しており、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、同セミナーに感染症対策の要素を盛り込んだカリキュラムを作成したことから、一般向けに初めて公開しました。

WS-03
10/3(土)
開催時間：①③

ペット防災サポート協会

あなたの命を守るペット防災・減災を一緒に考えてみませんか？



飼い主の責任や普段からしておく「しつけ」の重要性、災害時に必要な物の準備などをお伝えしました。また、実際に避難所で起きたペットのトラブル問題の動画を見て頂き、グループワークセッションを行い「共助」にも気付いて頂きました。

WS-04
10/3(土)
開催時間：②③

三菱地所レジデンス（株）

みんなde備える～「そなえるドリル」で考えてみよう！

弊社の「防災倶楽部」にて作成している「そなえるドリル」を使用し、災害時に自分だったらどのように行動するかを考えることにより、防災・減災に対する意識を自分事化してもらいました。

WS-05
10/3(土)
開催時間:①②

日本ジオパークネットワーク

大地の成り立ちから知る防災のヒント

全国に加盟地域があり、市町村では246の自治体が加盟するネットワークです。
このネットワークを活用し、防災減災の普及を展開しており、全国での活動内容を紹介することで、広く防災についての活動や知識の普及啓発を図りました。

WS-06
10/3(土)
開催時間:②

(株)白獅子

VRの技術で、災害から人類を守ろう

岡山大学と岡山市消防局との「VRの技術で火災による死傷者をなくす」ための研究(行動データ蓄積→心理学的加点から分析)とシステム開発、展示を行いました。
「子供を災害から守れ!子供用防災VR」概要やシステム説明、デモ展示を行いました。

WS-07
10/3(土)
開催時間:①

(公社)日本地震学会

何でも聞いてみよう、中国地方の地震活動のこれまでとこれから＝地震学会住民セミナー

・日本地震学会長 あいさつ
・「地震とは何か」 小原一成 公益社団法人日本地震学会会長(東大地震研究所教授)
・「中国地方の地震活動について」 奥村晃史 広島大学教授

WS-08
10/3(土)
開催時間:①②③

(一社)ひろしま防災減災支援協会

体験×企画×対策「鯉こいキャラバン！」から防災・減災を取り組みませんか？

広島は度々土砂災害に襲われ多くの犠牲者が出ています。そのような体験から市民の防災意識を高める活動として行っているのが「鯉こいキャラバン!」です。
この度は「鯉こいキャラバン!」をテーマに4種類のワークショップを開催しました。

WS-09
10/3(土)
開催時間:①②③

防災WEST

大雨防災ワークショップ（経験したことのない大雨　その時どうする？）

参加者が架空の街に住み、そこに大雨が降ってくるという想定で、事態が悪化していくシナリオです。参加者はワークを通してどのタイミングで避難するのかどうか？
また、なぜそうするのかを考えていただきました。

WS-10

10/3(土)
開催時間:②

母と子の育児支援ネットワーク

災害時における授乳アセスメント(聞き取り)を体験しよう

授乳中の母子が避難してきたらどうしますか? 授乳アセスメントシートを使うことで、母乳を飲ませている女性が安心して継続でき乳児用ミルクが必要な場合は安全に使うための支援ができるようになることを目指します。

WS-11

10/3(土)
開催時間:①

広島市江波山気象館【(公財)広島市文化財団】

気象・減災・防災の普及活動について情報共有を図るワークショップ

全国で、減災・防災に関する普及活動が行われている中、日頃活動に取り組まれている方に参加いただき、その実例やノウハウ・問題点を共有できるようなワークショップを開催。合わせて、江波山気象館での原理模型等を利用した事例もご紹介しました。

プレゼン詳細

プレゼン

出展団体の取り組みを写真・動画で紹介します。

●担当者と直接話ができる面談を行えるプレゼンもあります。面談をご希望の場合は、以下の方法で事前予約をお願いします。（定員に達したプレゼンは事前予約ができない場合があります。）

面談予約方法

① 特設ページ開設後、ホームページの予約申し込みフォームから予約します

② 開始30分前までに「meet in」面談用URLがメール連絡で届きます

③ 予定時間の5分前までに面談用URLから「meet in」入室ください

④ プレゼン面談開始！

PR-01 岩手県

東日本大震災津波の教訓を踏まえた防災活動と復興の歩み

東日本大震災の教訓を踏まえて取り組んでいる防災活動や、これまでの復興の歩みについて、写真や動画により紹介します。そのほか、これまで全国からいただいた復興支援に対する感謝を発信するリーフレットの掲出や、昨年開館した「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」の紹介も含めながら、震災の記憶と教訓の伝承を行います。

PR-02 海田町

ぼうさいかいた

【出展内容】
・平成30年7月豪雨の記録　・ハザードマップ（土砂災害,津波・洪水,高潮浸水）
・防災カメラ画像　・町気象観測情報（POTEKA）

PR-03 大学共同利用法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

歴史文化の災害対策 ―「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の紹介―

国立歴史民俗博物館は、地域の歴史文化を象徴する多様な資料を様々な危機から守り、後世に伝える取り組みとして、「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」を推進し、大学や博物館等が地域住民と連携して進展する各地の資料保存活動と連携し、歴史文化の災害対策を実践しています。

PR-04 （一社）全国建設業協会

「つくる!なおす!まもる!地域建設業の取り組み」

近年激甚化している台風や地震などの自然災害や鳥インフルエンザ・CSF（豚コレラ）などに対する防災・減災への取り組みは喫緊の課題となっており、建設産業は「地域危機管理産業」として、日ごろから地域の安全・安心を守るという使命感・責任感をもって活動しています。

※●はオンライン面談実施

PR-05● （株）ゼンリン

まちを知って身を守ろう～地図×防災～

台風などの水害が近年多発しております。ご自身で避難の正しい判断が求められ、また避難先の見直しが必要な状況となっております。予め避難場所やルートを地図に記載し整理し準備しておくと、いざという時に安全に速やかに避難ができます。地域住民の方や自治体様へ参考となる事例をご紹介しております。

PR-06● 竹内工業（株）

救助用品を使った300キロの持ち上げ方

300キロの重量物の持ち上げ方を救助用品別にご紹介します。
普段はなかなか目にすることがないジャッキもいざという時には大きな力を発揮してくれます。
また、それぞれの救助用品（バール・STOレスキュージャッキ・自動車用ジャッキ・油圧ジャッキ）の強み・弱みを実際に使用しながら説明していきます。

PR-07● （独）都市再生機構

事前防災への取組～津波防災まちづくりや防災公園の整備について～

URは、徳島県美波町と津波防災まちづくり推進協定を締結し、津波浸水想定区域にある公共施設等の移転先となる高台整備に関する技術的支援等を行っております。また、大阪府茨木市岩倉町地区では、大規模工場跡地の土地利用転換を契機に、防災機能の強化を図ることを目的とした防災公園街区整備事業により、防災拠点と市街地を一体的に整備しました。

PR-08● （一社）72時間サバイバル教育協会

子どもが主体的に減災を担う72時間サバイバル教育

72時間サバイバル講習のご紹介／自ら考えて行動する人づくりの基盤となる講習とは
72時間サバイバルマスター制度のご紹介／72時間サバイバル指導者制度のご紹介／
コラボ事例発表（千葉商科大学、神戸市立自然の家、小学校、ホテルなど）

PR-09● 日東工業（株）

防災製品の日常使いって???

身の回りの防災製品、いざという時に使えますか？防災製品の日常使いについて考えるきっかけや日東工業の防災活動の取り組みをご紹介します。こどもから大人まで幅広くご覧いただけます!

※●はオンライン面談実施

PR-10　（一社）日本建設業連合会

建設会社の防災活動

・当会の紹介
・建設会社の大規模災害等の復旧事業の紹介
・冊子・パンフレット等の公開
〇目的:災害時における建設業の役割を知ってもらうため

PR-11●　（一社）日本照明工業会

エリア防災照明（屋内・屋外非常用照明器具）のご提案

“災害時に真っ暗闇にならないようにあかりを確保できます。”
住宅屋内から街路・公園・避難所までをカバーする非常時のあかり（照明）をご提案いたします。当日は弊会アンバサダー“パックン”が紹介する動画でご提案をいたします。また、会場にはジオラマを用意し災害発生時のあかりの効果をご覧いただくことも検討しています。

PR-12　NPO法人 日本防災士会

地域防災力の向上（地区防災計画作成）地域防災力とボランティア活動

■防災士制度の普及活動、防災士の活動への支援、情報提供
〇展示物：防災士の活動事例写真パネル（発災前の事前活動、発災時の被災地支援活動、ボランティア活動等）〇配布資料：日本防災士機構、日本防災士会、防災士研修センター各パンフレット　防災士養成研修開催とご案内等　〇その他：イメージ映像の放映

PR-13●　パナソニック ライティングデバイス（株）

防災対策用 タングステン耐切創手袋

パナソニックが製造した災害時に役立つタングステンを使用した耐切創手袋のご紹介です。危険な状況下での作業時にしっかりと手を保護します。この耐切創手袋はダイヤモンドの次に固い鉱物のタングステンを使用しており、この強度を活かし撚り線にして作った手袋です。用途に合わせ耐切創レベル別にご用意しました。

PR-14●　広島市防災士ネットワーク

防災まちづくりは「わがまち防災マップ」から～防災・減災は絆づくり～

「広島市防災士ネットワーク」は平成26年8.20広島市豪雨土砂災害を機に広島市近隣の防災士が集まった団体です。月1度の研修会や防災訓練への参加などで防災意識や防災力向上に取り組んでいます。また広島市がこの災害を教訓にして、防災まちづくり事業を展開ており、その一環の「わがまち防災マップ作成支援」へも積極的に参加しております。

※●はオンライン面談実施

PR-15　広島大学防災・減災研究センター

相乗型豪雨災害から命を守るために必要なこと

2018年7月の豪雨災害の崩壊・土石流や土砂洪水氾濫の発生状況と要因、発災時・発災後に見られた道路や交通などのインフラの混乱メカニズム、実効性のある避難のあり方、withコロナ時代における避難所運営に向けて等、災害の発生状況～調査分析、防災・減災に向けた提言など、大学の防災・減災研究センターとして行っている防災のための取組を紹介します。

PR-16●　広島防災リーダーネットワーク会議

地域で呼びかけ、早めの避難～自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくり～

平成30年7月発生した西日本豪雨災害は大きな被害が発生しました。これを機に広島防災リーダーネットワーク会議においては、早めの避難を促すため住民の防災意識の高揚と防災行動力の向上を目指しています。広島県が令和元年度に自主防災組織による避難を呼びかける体制づくりに取り組み、その事業へアドバイザーとして参加し、マニュアル作成に協力しました。

PR-17●　防災ママかきつばた

知って備えて子どもを守る!おやこ防災活動紹介

オンラインで活動紹介を行います。少人数での紹介を行いますので、質疑応答などご自由にしていただけます。特に乳幼児～小学生親子、発達障がいや食物アレルギーを抱えるお子さん、外国人のお子さんへの防災啓発をしている方、これからしたい方もおすすめです。オンラインで地域問わず講座も行えますので、まずはお気軽にお話ができたらと思います。

PR-18●　ミライノベーションプロジェクト

暮らしを楽しく、便利に安全にするミライの街づくり

ものづくりの民間企業が連携して進める防災の取組を紹介するとともに、参加企業が連携して開発した、身近な社会インフラを活用して地域の危険箇所の状況を地域住民が安全に把握するための開発事例を紹介します。広島市の企業が中心となって開発を進めた「冠水センサ付き車止め」等の動作原理を説明します。

PR-19●　(株)ヤザワコーポレーション

IoT技術を駆使した次世代型防災ボックスのご紹介

災害時の支援物資のほか、IoT技術を駆使した緊急呼び出しボタンを搭載し、被災場所の特定や支援物資の追加補充、災害情報を容易に取得できるなどの機能を兼ね備えた複合型の防災ボックスを出展したします。

※●はオンライン面談実施

PR-20● よんなな防災会

防災ファンを増やして全国に防災の輪を!

【目的】 よんなな防災会を周知することで一人でも多くの方にメンバーの一員となっていただき、防災のネットワークを強化する
【内容】 よんなな防災会の概要及び活動紹介(会に所属することもメリットを併せて紹介)

PR-21 イオン(株)

地域を守り、くらしを守る

イオンは、災害や有事発生時において、グループ企業約300社が連携して被災地の早期の復旧・復興に向けた取り組みを行い、社会インフラの役割を果たすことで地域のお客さまのくらしを守っています。今回は、令和元年房総半島台風、東日本台風での営業再開や被災地支援の取り組みを映像で紹介します。

PR-22● Welltool(株)

災害時の多言語情報・グローバルコミュニケーションツール"Welltool"

災害時に、日本人・外国人に災害・避難所情報を多言語ですばやく伝達することが出来る多言語防災・災害システム【Welltool】のご紹介です。避難所にてQRコードを読み取るだけで、いつもの自分の言葉で情報が取得できます。言語選択・アプリは不要で、誰でも簡単に使える多言語グローバルコミュニケーションシステムです。

PR-23● エヴォーブテクノロジー(株)

避難所でのウイルス感染症対策に!

ウイルス感染症対策の基本は「手洗い」です。どこでも移動可能で、すぐに手洗いができる「てあらいふ」を紹介します。災害時の避難所では屋内に多くの方が生活する為、人と人がすれ違う、対面しない動線を確保するなど感染症対策は非常に重要です。

PR-24 (株)NTTドコモ中国支社

ドコモの災害対策への取り組み紹介

ドコモの災害対策への取り組み紹介

※●はオンライン面談実施

PR-25● エピスタ コーポレーション /(株)プリート

全身拭ける多機能ウエットティッシュ(敏感肌用化粧品)&便器のいらない自立型携帯トイレ

各種のデータを保持し感染予防のできる敏感肌用化粧品「エピスタプロプルやさしいウエットティッシュ」。乳幼児ケアから口腔ケアと全身拭け、油汚れやニオイまで衛生ケアが行えます。ノンアルコールで敏感肌の方も安心。使う方を選ばない多機能多目的商品です。また誰でも簡単に安心トイレが作れる新発想の「エピスタレスキュー自立型携帯和式トイレ」。

PR-26● 機能ガラス普及推進協議会

窓を防災安全ガラスにして災害への備えを。

「防災安全ガラス」を出展致します。防災安全ガラスとは2枚の板ガラスの間に合成樹脂の中間膜を挟み熱と圧力で圧着した合わせガラスのことです。メッセージや画像や映像で理解を深めて頂き、昨今の台風や地震対策として、ご自宅の窓ガラスにはもちろん、災害時に避難所となる小中学校にもその必要性を感じて頂きたいと思います。

PR-27● (一財)自治体国際化協会 (クレア CLAIR)

災害時の外国人支援 ～避難所等で使える多言語ツールの紹介～

日本の災害事情や防災知識が知らない外国人住民や訪日外国人客等が増加傾向にある中、近年多発する地震や台風等の災害により、外国人も被害者となる場面も増え、災害時の多言語情報提供が話題となっている。多言語表示シート、ピクトグラムの使い方説明を含む災害時多言語支援啓発動画の上映します。

PR-28● 大丸鐵興(株)

飲み水だけでは不十分。生活用水も確保しませんか?

みずがめ君の製品紹介展示を(ポスター、設置事例写真など)、"災害時の水の備え"について、みずがめ君のイラストや設置写真を用いて、その重要性と自助意識の向上を目的とする内容です。災害時に断水してしまった場合に必要な水の量や、盲点となる生活用水の重要性などを分かりやすく展示します。

PR-29 WPPグループ Japan Pet Press

災害とペット ー命から読み解く災害への備えー

避難所におけるペットの在り方、災害時にペットに必要なことをテーマにパネルトーク
エリザベスオリバー:日本初動物愛護団体の設立者
日本での活動を認められ英国エリザベス女王様より勲章授与者

※●はオンライン面談実施

PR-30● 帝人フロンティア(株)

総合防災のプラットフォーム「まるごと防災」の提案です。

災害時に想定される被害のミニマイズを目指し、平常時からの備えと、発災後の備えを、時系列に想定し提案をします。自助共助公助の補完を目指し、マスク、医療用ガウン、除菌剤から陰圧テントまでウィルス対策を加え、室内安全・BCP・備蓄・水防の総合防災のプラットフォーム「感染対策WITHまるごと防災」を提案します。

PR-31 NPO法人 都市環境標識協会

全国統一型避難誘導標識

全世界の中でも多様な天災が発生する我が国において、まして遠方からの来訪者や異言語国の人々は路頭に迷う結果になりまして、夜間の避難では皆目探すことは不可能となります。当NPOでは、すでに平成13年からこの様な現象が発生すると警告し、三重県四日市市と協働で照明付避難誘導標識を設置しました。最近では、東京都中小企業振興公社の助成を得て、新方式の夜間照明標識を完成させ、普及活動を行うに至りました。

PR-32● 西日本電信電話(株)広島支店

災害時におけるNTT西日本の提供する通信手段の紹介

NTT西日本の災害対策への取組みの中から、もしもの時に活用できる通信手段について紹介します。災害時に限定して利用可能な災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)を始め、避難所に開設される特設公衆電話および特設公衆Wi-Fiの他、サービスの早期復旧や災害時に活躍する機器等もあわせて紹介します。

PR-33● (公社)日本薬剤師会

薬剤師会 モバイルファーマシー

モバイルファーマシーはキャンピングカーを改造した、薬局機能を搭載した災害対策医薬品供給車輌であり、電力や水の供給の途絶えた被災地の医療救護所等で自立的に調剤業務と医薬品の供給を行うことができます。プレゼンテーションにより、一般来場者・参加者の方々に災害発生時に被災地で活動するモバイルファーマシーをご覧いただく機会としたいと考えております。

PR-34● 梅花堂紙業(株)

避難所でのアメニティーを改善します

避難所でのプライバシー保護や、居住性、ストレスの解消を改善できる製品をご提案させて頂きます。　これまでに無い、段ボール製の簡易式ベッド／避難所での女性と子供のプライバシーと安全を確保する「シェルター」／簡易式使い捨てトイレ／平時に避難所で問題になっている、備蓄スペースを無駄に使わない簡易式ベッドや簡易椅子のご提案

※●はオンライン面談実施

PR-35● 母と子の育児支援ネットワーク

災害時の乳児栄養・授乳支援

IFEコアグループ作成の国際ガイドラインや、内閣府「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」で紹介されているリーフレットがダウンロードできる。授乳アセスメントシート、液体ミルクを安心して使うためのチェックリストやコップ授乳、WHO「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」遵守に関する情報も提供する。

PR-36● （一社）福祉防災コミュニティ協会

みんな元気になる福祉避難所

全国各地で、様々な自然災害等が発生しています。災害時、社会福祉施設や事業者は、施設の入所者・利用者や職員の命を守ることはもちろんのこと、常日頃から行っている利用者への支援を続けるという責務を担わなければなりません。災害等に備えて、常日頃から行われている利用者への支援が途切れないよう、あらかじめ準備しておくことが重要です。

PR-37● 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

「福島から発信する防災教育」

1 防災リーダー育成プログラムによる中・高校生を対象とした防災教育

福島県内の中・高校生を対象に実施している防災教育（防災対応キャンプ、避難所の模擬運営などについて紹介します。

2 防災教育教材「さすけなぶる」を活用した避難所運営研修

東日本大震災での避難所運営の教訓をもとに作成した防災教育教材「さすけなぶる」による避難所運営研修及び普及啓発活動について紹介します。

PR-38● （株）フジタ

テント付き災害用簡易ベッド

避難所や企業等で備蓄して活用いただける災害用簡易ベッドを展示します。組立式のベッドにテントが一体となっていますので、咳やくしゃみ等による飛沫を周囲に拡散させにくく、プライバシーも確保することができます。収納はコンパクト、組立時には工具を必要としません。2台を組合せることで2段ベッドとして使用できます。

PR-39● ヤンマーエネルギーシステム（株）

避難所に安心のライフラインを!減災ソリューション

弊社は、災害時に停電した避難所（体育館、野外テント等）のライフラインとなる空調・熱電供給システムを開発しました。少数人で簡単に接続や運転が可能で、平時には熱中症対策として空間空調に活用できます。作られる電気は照明やスマホ充電、熱は温水シャワー等に使用できます。ヤンマーが持つ災害対策商品も併せて紹介します。

※●はオンライン面談実施

PR-40● 江崎グリコ株式会社

液体ミルクのご紹介

江崎グリコは液体ミルク”アイクレオ 赤ちゃんミルク”を乳児向け災害対策としてご利用いただけるようその取扱い方中心をご紹介いたします。ぜひご気軽にお立ち寄りください。

PR-41● （一社）おいしい防災塾

怖くない防災を子供達に。お菓子を使った防災講座。なぜお菓子が防災なのか？

怖くない防災を伝えていかなくては、子供達の命は守れない。その為にお菓子を使った防災講座をしています。それは母親だからこその理念です。知らず知らずうちの楽しみながら防災の意識を啓発。この思いを伝え、一人でも多くの子供達の命を救いたいと思っています。このような防災の形もあるのだという事を伝え、お菓子でバック型（今回はポシェット作り）の紹介をします。

PR-42● クラーク（株）

ペットも家族、一緒に避難 まもるんテント
（ペットも一緒に避難テント・ちびねこテント・仮設診療テント）

まもるんテントシリーズ「多頭飼用災害避難ハウス」（防災製品等推奨品に認定されました）
ペットたちとの避難生活を安心安全にするための工夫を紹介します。災害発生時の緊急避難用、同伴避難者のための収容用、在宅避難者の簡易住居用としてもお使いいただけます。簡易診療所用もご紹介します。一人とペット用の小型サイズも販売予定です。

PR-43● こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）

こくみん共済 coop が実施する防災・減災イベント

「ぼうさいカフェ」をはじめ、こくみん共済 coop が全国各地で開催する防災・減災イベントを写真で紹介します。動画は各地のイベントで子ども向けに講演を行う「ナダレンジャー」の実験動画で、こくみん共済 coop HPでも公開しています。
https://www.zenrosai.coop/stories/bousai

PR-44● 日本労働組合総連合会（連合）

連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～

連合が取り組んできた災害支援ボランティアの軌跡と、被災地の復興・再生や防災・減災に向けた政策の取り組みを紹介。
〇連合の災害支援ボランティアの様子　〇被災地での雇用問題に対する活動
〇被災者の求めるものを法律化・制度化につなげる取り組み

※●はオンライン面談実施

PR-45● 日本セイフティー(株)

避難所の衛生管理に役立つ自動ラップ式トイレ!!

自動ラップ式「ラップポントレッカー」の実機を展示し実際に動作を行います。いかに衛生的に排泄を行い感染症の予防ができるかをご説明させて頂きます。災害現場で活動したパネル展示(東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨・北海道胆振東部地震など)のご説明をさせて頂きます。

PR-46 NPO法人 日本防災用品技術研究協会

緊急避難用“介助運搬車”(手押し車)試乗展示会

写真での介助運搬車の3つの用途例・介助運搬車の使用例・上越市総合防災訓練・2019名古屋ぼうさいこくたい等参加事例を多数用意しています。少子高齢社会が進み人手不足の地位域自治体において、現場の町内会等の実際の避難時の避難用具の一つとして考えていただき、コミュティー・地域づくりの共助を楽に行うためは、どうするかを提案します。

PR-47● (株)ハタヤリミテッド

「公助」・「自助」・「共助」に対しての『備え』

今回のオンライン展示会では、除菌照明シリーズをご紹介させて頂きます。本製品は銀イオン・光触媒の力で除菌・消臭・防カビ効果が得られる照明です。備蓄防災品としてご使用の場合は避難所でのウィルス対策として備蓄防災以外の場合は様々な場所・用途でご活用して頂けます。大型備蓄品のみではなく、ご家庭でも備えることができる小型照明等も取り揃えております。

PR-48 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター

みえ防災・減災センター及びみえ防災・減災アーカイブの紹介

三重県における地域防災力向上のために当センターが実施しているさまざまな取り組みをご紹介します。昭和19年東南海地震や昭和34年伊勢湾台風など県内被災者の災害体験談、地震津波の碑及び防災紙芝居などを「みえ防災・減災アーカイブ」で紹介しています。アーカイブコンテンツを紹介することで、災害に対してどのように備え、対応するかを各自で考えて頂きます。

PR-49● (株)i・ライフソリューションズ

災害時でも安心して飲める天然水と非常食

実際に災害が起こった時でもウォーターサーバーが有効に使えるという事で、電源を入れない形でサーバーを使用できるように展示します。日頃からのローリングストックの重要性を、保存水では必要なお水の量を展示(1日一人3L)とIZAMESHI(非常食)を用いてディスプレイします。いざというときの備えを、日ごろから意識を高めるということを伝える説明を行います。

※●はオンライン面談実施

PR-50● （株）カワハラ技研

災害×感染症対策に最適 “備蓄型・組立式・個室トイレ『ほぼ紙トイレ』”

『ほぼ紙トイレ』は災害時のトイレ問題に直面した被災者の声を受けて開発した製品です。備蓄時はタンクとボックスで1セット。50名で約1週間（1,600回）使用できます。軽量・工具不要で組立20分。正六角柱のゆとりある空間に洋式便器、鍵付き個室でプライバシーを確保。屋根はトップライト、室内LED照明付きで昼夜明るく女性に優しい安心安全仕様。

PR-51● （一社）災害防止研究所

「備え」は防災グッズから

防災グッズ大賞において、表彰した賞品（10月9日表彰予定を含む）等約100点を紹介し、防災グッズの楽しさ、便利さ、面白さを感じていただき、かつ取り扱い等を知る（疑似体験する）ことにより、被災時の状況を想定させ、防災意識を普及する。

PR-52● （株）スギタ

被災時　早期発見＆体温確保　避難着　全身反射ポンチョ

線状降水帯などゲリラ豪雨などによる洪水などの避難時に、着用して頂ければ、万が一遭難した際、暗闇でサーチライトなどに反射し、早期発見が可能になります。早期発見が可能になれば、要救護者の生存率が上がるだけでなく、捜索隊の危険度も格段に下がります。遮熱効果の高い生地を使い、遭難時、夜間の体温低下を防ぎ、低体温への対策も可能です。

PR-53● （株）タカミヤ

浸水対策製品「タイガーダム」の紹介

今回はWebでの製品公開となりますので、実際の製品組み立て方法等を紹介する動画を見ながら、お話しをさせていただきます。具体的な水害懸念場所や浸水対策検討箇所等でお困りごとがありましたら、当日詳細をお伺いし、ご提案させていただきます。

PR-54● トーヨーエナジー（株）

油吸着分解材による漏油対策の改善

官公庁・企業（工場）向けに油吸着分解材「スノム」を展示します。油吸着分解材を活用することにより、流出油の回収作業を効率化して環境汚染の防止に役立ちます。
・油を中に閉じ込めて保持する。繰り返しの回収作業が不要。／・撥水機能により、油のみを吸着する／・吸着した油を含有バクテリアが水と二酸化炭素に生分解する

※●はオンライン面談実施

PR-55● 鹿児島市

火山防災トップシティ かごしま市

日常的に噴火を繰り返す桜島の活動と60万人市民が桜島と共生する鹿児島市の世界トップレベルと称される火山防災対策をポスターやリーフレット、映像等を用いて紹介します。
・大正噴火で起きたことや本市の避難計画等の火山防災対策を紹介するポスター等の掲出
・桜島火山ハザードマップの掲出　・映像放映(大正噴火の様子、火山防災意識啓発映像など)

PR-56 (一社)危機管理・労働災害防止機構

安全だけど安心できないを考える

新潟県の高田平野における大規模地震として考えられる高田平野東縁断層帯の実情及びF41海底地震による津波について安全講演会や減災ミーティングを通じて共助・自助努力が重要なことを説明してきました。まとめでは、「リスクに備える」「減災のまちづくり」「地区防災計画の推進」「自治体の責任と役割」を述べました。

PR-57 熊本県

地震や豪雨に負けない熊本

熊本地震からの復旧・復興のさなか、今年7月、豪雨災害が熊本を襲いました。今回、地震からの創造的復興の様子や、令和2年7月豪雨被災地の様子をドローンにより空撮した映像を紹介します。被災地の「今」を感じていただき、災害への備えを新たにしていただければと思います。

PR-58● 国立国会図書館

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)を紹介するポスターを掲示し、パンフレットを配布する。ひなぎくは、東日本大震災の記録を国全体で収集・保存・公開を進めるためのポータルサイトである。2020年3月末時点で52のアーカイブと連携を実施し、検索できるコンテンツは、約435万点に及ぶ。

PR-59● 東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門

地震津波リスク評価に関する研究成果および防災減災に関する教育・啓発 -産学連携を通じて-

当研究部門での研究活動や防災教育を通じて得られた成果・知見を展示し、最先端の災害研究成果や近年の災害事例の概要・課題・教訓などを学んでいただきます。その上で、当研究部門と東京海上日動との産学連携の成果として、「防災クリアファイル」「防災ハンカチ」「減災ハンカチ」「防災・減災スタンプ」を紹介します。

※●はオンライン面談実施

PR-60● 日東工業×生方製作所

楽しく学ぼう♪おうちの地震対策

「通電火災とはどのように発生するのか」「通電火災を防ぐためにはなにができるのか」など、大地震発生直後の適切な行動について、動画コンテンツを通して楽しく学んでいただく機会を提供します。お子様連れのご家族をはじめ、お年寄りの方々にも、楽しみながら「減災」の知識を学んで頂こうと考えております。

PR-61 国土交通省 中国地方整備局

TEC-FORCEの取組について

国土交通省TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)は、平成20年4月に創設され、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施しています。自治体への支援内容や近年、全国で発生した自然災害に対する取組状況等について紹介いたします。

PR-62● (株)コミュニティネット

”屋内で浮いて助かる”要支援者向け救命用具「担架ボートPUKA」

“屋内で浮いて助かる”要支援者向け救命用具「担架ボートPUKA」の現物を展示するとともに、パネル等を活用し津波の教訓や水害の際の高齢者・障害者(ex.要介護者)等を視野の避難措置について専門員が解説します。また、動画DVDを常時放映し、津波や水害の「担架ボートPUKA」の使い方等を解説します。

PR-63 名古屋市

東海豪雨から20年 ～ナゴヤの治水対策の今～

今年は、名古屋市に甚大な被害をもたらした東海豪雨(平成12年)から20年の節目であることから、主に自治体向けに東海豪雨など近年激化する豪雨災害から得た教訓を啓発し、災害記憶の風化を防止するとともに、本市の治水対策の取組みを発信し、他自治体等との知見やノウハウの共有などを行います。

PR-64 梅林学区自主防災会連合会/梅林学区復興まちづくり協議会

2014年8月20日 広島豪雨災害からの復興まちづくり

2014年8月20日発災 広島豪雨災害からの復興状況の説明
・復興まちづくりの歩み説明／・2018年1月、広島市長へ復興まちづくりプラン(48項目)提言した内容・進行状況説明／・2019年2月に提案した、前年の広島市長への復興まちづくりプラン提言の項目中、2案の構想(「復興交流拠点施設 整備構想」「梅林さくら防災公園 整備構想」)

※●はオンライン面談実施

PR-65 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝える災害ミュージアム

当センターでは、臨場感あふれる映像などにより地震の恐ろしさを感じるとともに、震災の様々な教訓を学ぶことができます。また、語り部から体験談を聞くことにより、命の大切さや家族の絆、地域での助け合いの大切さなど、多くの被災者が感じた気持ちを知ることができます。このほか、簡単な実験により建物の耐震化の重要性なども訴えています。

PR-66● （公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館

東日本大震災・原子力災害伝承館

当館の設立理念や機能をお伝えする他、災害発生当時の状況や廃炉を含めた復興の進捗状況について展示パネル等での紹介に加え、視覚的イメージの把握のため、ウォークスルー映像による紹介等を行う予定です。当館は研究機関や大学のフィールドワーク、或いは民間企業や学校の研修や教育旅行の場など、多様な主体による様々な活用方法を視野に入れております。

PR-67● リコージャパン（株）

ICTを活用した発災後初動期における情報伝達

有事の際でも「かんたん」「手間いらず」で使える災害対策ソリューション（クロノロ/トリアージ）をご紹介します。具体的には、刻々と変化する災害状況を電子黒板に入力し避難所と病院を衛星通信で接続してリアルタイムで詳細情報を正確に共有できるビジュアル情報衛星通信システムです。

PR-68● 名古屋学芸大学

名古屋学芸大学 学生の学び

本学では、東日本大震災の被災地で活動を行う度に活動記録パネルを作成し、報告会を開催している。ぼうさいこくたい2020では、2019年度の本学の復興支援活動のパネル展示、及び、スライドショーを用いた個別報告を学生から行う。被災地域での活動を通し、学生の自由な発想や学びを伝えたい。

PR-69● 名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク

防災ソングで学校教育&3.11忘れない神社ワイン

子ども時代に覚えた九九はほぼ大人になっても忘れない、それと同じで防災の大事な言葉・意味を歌で覚え、大人になっても忘れない・・・を主旨に歌を製作、ブースでCDをお聴き頂き、教育委員会の協力で学校防災授業として授業の取り組みを紹介。また、3.11東日本大震災を忘れない、ヨーロッパの人々の温かい心を紹介します。

※●はオンライン面談実施

PR-70● （公社）日本技術士会防災支援委員会

科学技術で大規模災害の被害を軽減

技術士および公益社団法人日本技術士会の紹介、日本技術士会の防災支援活動を紹介するポスターおよび事前措置や避難所改善に科学技術を活用することを推奨するポスターを展示する。併せて、突然の大災害に備える方法を伝えるパンフレット、親子で考える防災Q&Aなどの WEB配布を行う。

PR-71 防災教育学会

防災教育学会がめざす持続可能な防災教育の創造

防災教育学会を知ってもらい、防災教育の実践に役立つ情報を持って帰ってもらえるような展示・紹介を行います。具体的には、防災教育の基本的な考え方、先進事例、防災教育の授業で活用できるワークブックやゲーム、資料などを紹介します。さらに、防災教育の専門家が常駐し、防災教育を実施するにあたっての様々な疑問、悩みにお答えします。

PR-72● 国際復興支援プラットフォーム（IRP）

「Build Back Better（より良い復興）」に関する経験と教訓を発信

12分野にわたる復興の優良事例や知見などをとりまとめた「分野別復興ガイダンスノート」や、広報紙である「IRP Herald」の紹介、また国内外から著名な復興の専門家等を招聘して、各国の復興の優良事例等を発信する「国際復興フォーラム」や、国際的なイベント（防災グローバル・プラットフォーム会合、アジア防災閣僚級会合）における活動などを紹介します。

PR-73 坂町

坂町における災害対応と今後の復興に向けて

本町は、平成30年7月豪雨により甚大な被害に見舞われました。これまで全国から多大なるご支援をいただきながら復旧・復興へ取り組みを行ってまいりました。本プレゼンでは被災当時の本町の被害状況、発災直後の災害対応、今日までの復旧・復興に向けた取り組み、併せて被災者等に寄り添った坂町地域支え合いセンターの取り組み等を紹介します。

PR-74 南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議

南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進めよう

「南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議」の構成県（静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県）は、ほぼすべての県域が「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定され、地震対策に特に力を入れています。今回の展示では、そうした取組みの一部をご紹介しています。

※●はオンライン面談実施

PR-75● （一社）日本非常食推進機構

SDGsに寄与する防災備蓄品の有効活用

総務省東北管区行政評価局の防災備蓄食料活用促進に関する調査（2019年3月28日報告）によると、中央官庁及び地方自治体で63.8%が一部または全てを廃棄しているとある。防災備蓄食料を廃棄せず有効的活用を目的とする。当大会では当団体が実施する広域的な防災備蓄食料の活用事例（提供側・受取活用側）を紹介し、防災備蓄食料の有効活用推進を図る。

PR-76● アールシーソリューション（株）

未来にそなえる新しい防災アプリ「PREP」

緊急地震速報アプリ「ゆれくるコール」が、今夏に「PREP（プレップ）」に生まれ変わります。「行動を促すサービス」へコンセプトを一新し、皆さまの「事前にそなえる」をサポートする新機能を搭載する予定です。事前のそなえと災害発生のお知らせにより自助の力を高め、新たに追加するグループ間の安否確認機能が共助につながります。

PR-77● （一財）移動無線センター

知ってほしい！ 災害時の通信手段にベストな無線『MCAアドバンス』

知ってほしい！『MCAアドバンス』無線サービス
見て欲しい！『MCAアドバンス』スマホ型無線機

PR-78● （株）国際電気通信基礎技術研究所（ATR）

通信途絶時でも使える可搬型ローカル通信システム（LACS）

インターネットや電話が使えない環境でも利用可能な可搬型のローカル通信システムLACS（Locally Accessible Cloud System）を展示、デモンストレーションします。LACSは、大規模災害時に発生しうる通信途絶環境において、災害対策本部や避難所などで急増するローカルな通信需要に即応します。

PR-79● 国立研究開発法人情報通信研究機構

災害に強い情報通信技術の構築に向けて

災害に強いICTプラットフォームを実現するため、広範囲に分散配置されたネットワーク設備が自律的に協調動作するメッシュネットワーク技術の研究や、災害時に発生する膨大はSNS情報の中から災害関連情報をリアルタイムに収集し、分析する技術によって、より適切な情報を提供して、災害対応を支援するリアルタイム社会知解析システムの研究開発を紹介する。

※●はオンライン面談実施

PR-80　総務省中国総合通信局

災害時における情報通信の確保と支援

西日本豪雨で倉敷市真備支所に配置され、庁舎、ボランティアセンター等へ電源を供給した「災害対策用移動電源車」、被災地における連絡手段確保のため貸出した「災害対策用移動通信機器(簡易無線機、MCA用無線機、衛星携帯電話、ICTユニット)」及び熊野町、坂町で避難所等の住民へFM放送で災害支援や生活情報を提供した「臨時災害放送局用設備」の紹介を行います。

PR-81　国立研究開発法人 防災科学技術研究所

防災科研の取り組み

防災科研は、あらゆる種類の自然災害を対象に、予測・予防・対応・回復のすべての段階について総合的な研究開発を進め、「生きる、を支える科学技術」をアイデンティティとして掲げ人々の命と暮らしを支えていきます。これまで取り組んできた研究や観測網の整備などの研究所全体の取り組みに加え、平成30年7月豪雨時の災害対応など、防災科研の活動について紹介します。

PR-82　防災専門図書館［(公社)全国市有物件災害共済会］

防災・災害のことで「困った!」なら、防災専門図書館へ行ってみよう!

防災専門図書館は、学生・一般の方や企業・自治体・研究者の方まで、どなたでも利用できる図書館です。そんな図書館の館内や資料、特に広島の災害・戦災に関連した蔵書を紹介します。また、防災教育に使えるオリジナルコンテンツとして、ことわざをベースにした「防災いろはかるた」と「防災いろはクイズ」を紹介!ぜひ親子でチャレンジしてみませんか♪

PR-83●　(一社)日本防災プラットフォーム(JBP)

産官学の連携で防災ビジネスのイノベーションを推進!

《産官学連携》国内外の主要防災関係省庁/機関とのネットワーク
《民間主体》約100社の会員企業/団体が業界を超えて所属。防災ビジネスの拡大・加速を推進。
・防災技術をもつ企業の皆様【会員募集中!】
　貴社の防災ビジネスに、JBPのネットワークをご活用ください!

PR-84●　(一社)浄化槽システム協会

災害に強い浄化槽システム

浄化槽の解説動画、マンホールトイレ、パネル写真、災害時の協力協定等を展示し、浄化槽のもつ浄化機能の解説、単独処理浄化槽と合併処理浄化槽との違い、減災・防災に寄与する浄化槽、応急仮設住宅で活躍する浄化槽等の啓発を行う。

※●はオンライン面談実施

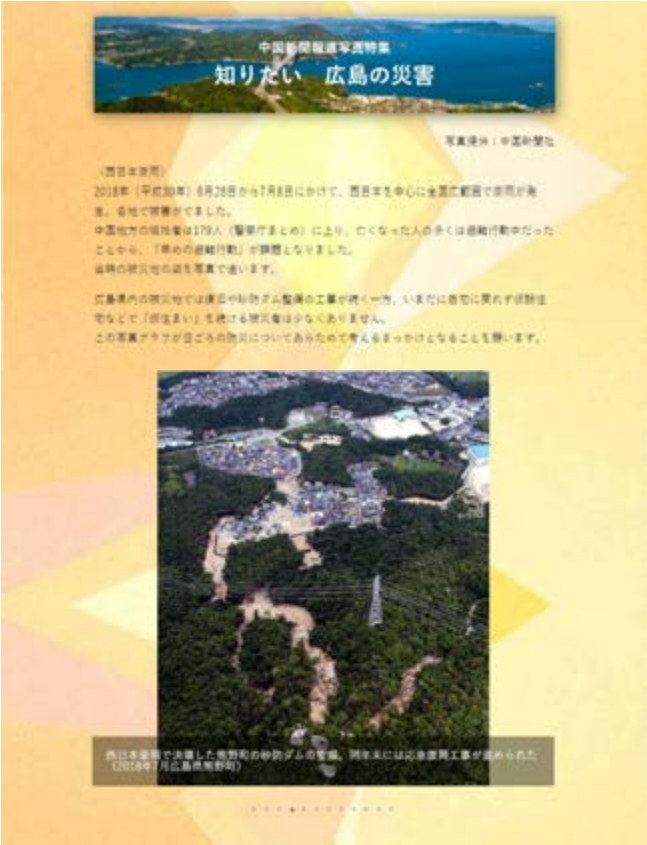
その他展開

「みんなで防災・減災に取り組もう　防災推進国民会議メンバーからのメッセージ」として、特設ページ内に防災推進国民会議メンバー一覧と、ビデオメッセージ・文章メッセージを掲載しました。

今回、広島開催ということで広島国際会議場での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広島国際会議場での現地開催から完全オンラインでの開催への変更となりました。“広島開催”を感じてもらえるよう、特設ページ内に「広島発メッセージ」として、広島の今を伝える特別コンテンツを掲載しました。

広島発メッセージ

■中国新聞報道写真特集「知りたい　広島の災害」



■広島県 みんなで減災推進大使からの応援メッセージ

■呉市立呉高等学校吹奏楽部からの応援メッセージ（動画）

■広島県立湯来南高等学校和太鼓部からの応援メッセージ（動画）

制作物

●名称 ： 防災推進国民大会2020告知チラシ
●仕様 ： A4サイズ 両面
●印刷 ： 40,000部

●名称 ： 防災推進国民大会2020告知ポスター
●仕様 ： A1サイズ
●印刷 ： 800部

表面・ポスター

裏面

制作物〈パンフレット〉

●名称 ： パンフレット(PDF)
●仕様 ： A4サイズ、16ページ

表紙

P-1

P-2

P-3

P-4

P-5

P-6

P-7

P-8

P-9

P-10

P-11

P-12

P-13

P-14

裏表紙

■TOPページ

■どこへ行く？

■お知らせ

■広島発メッセージ

■主催者あいさつ

■セッションTOPページ

■セッション講演紹介ページ
（例:SS-01　オープニングセッション）

■セッション アーカイブページ
（終了後より随時公開）

■ワークショップTOPページ

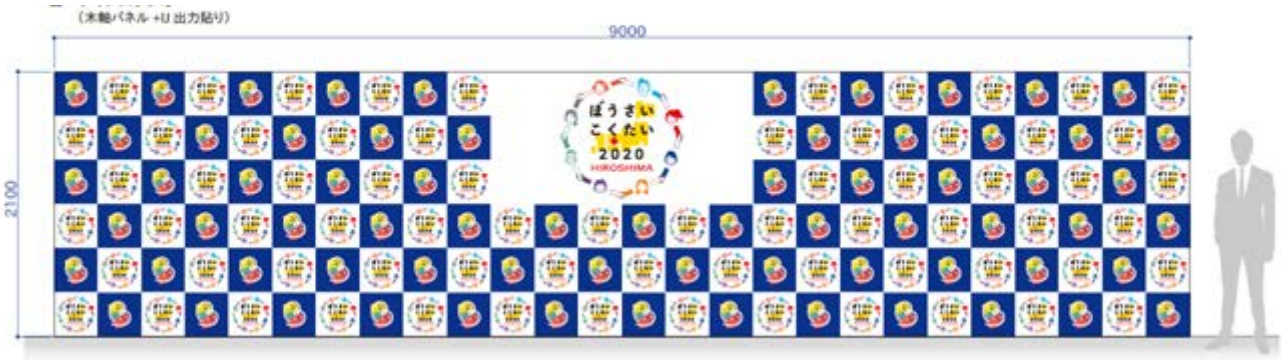
■ワークショップ　参加団体紹介ページ
（例:WS-01　内閣府TEAM防災ジャパン）

■プレゼンTOPページ

■プレゼン　出展団体紹介ページ

（例：PR-01　岩手県）

■広島会場メインスタジオ　バックパネル(W9000×H2100)



■東京会場メインスタジオ　バックパネル(W4500×H2100)

▲コロナ対策用出演者間ボード

■東京会場サブスタジオ　バックパネル(W7200×H2100)

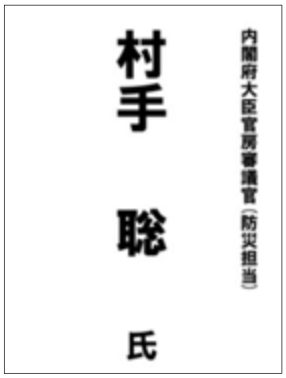
■セッション配信会場　各種サイン（A3）

■主催者RASS

■報道関係者用RASS

■運営関係者用RASS

■セッション前垂れ



（一例）

※A3サイズ出力にて、

東京・広島両配信会場へ準備・設置

広報施策

広島からの参加を取り込むため地元メディアを活用し、またオンライン開催の強みを生かし、
公式SNSやWEB広告も投下することで、全国から参加を呼びかけました。
長期訴求でありながら、大会1か月前からは集中的な施策展開を行い、例年以上に多媒体による広報展開を
実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
大会 ホームページ	4/7 公式HP ﾘﾆｭｰｱﾙ →	→	→	→	→	→	→	防災推進国民大会2020(ぼうさいこくたい2020)
SNS展開	Facebook Twitter 随時更新 →	→	→	→	→	→	→	
ポスター・ チラシ					8/25 関係各所へ 発送 →	→	→	
プレス リリース					● 8/28 報道発表①	● 9/18 報道発表②	● 10/2 報道発表③	
特設ページ						9/10 特設ページ 公開 →	→	
新聞掲載						中国新聞 朝刊にて 複数回掲載 (15d、5d) → ● 9/6 ちゅーピー こども新聞 ● 9/20 ちゅーピー こども新聞	→	
テレビ							● 10/1 TSS HOME ● 10/2 HTV	
ラジオ						RCCラジオ →	→	
WEB						FB広告 Google アワード広告 →	→	
その他						デジタル サイネージ (平和公園) → ミニストップ レジ前サイネージ (全国約2,000店舗) →	→	

広報施策〈大会ホームページ〉

大会情報のポータルメディアとして、
大会ホームページを設置しました。

出展団体向けの情報掲載や、
大会開催手法の変更などを発信し、
9月10日の特設ページ公開以降は、
上部に特設ページ誘導のアイコンを設置しました。

URL：http://bosai-kokutai.jp/

広報施策〈大会特設ページ〉

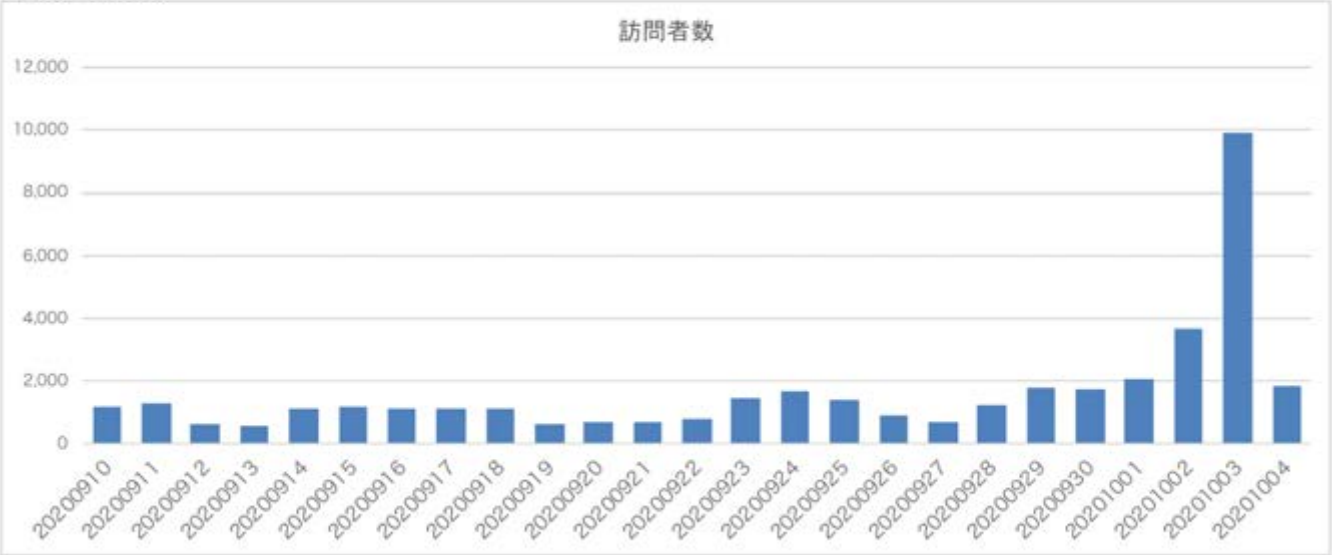
完全オンライン開催にともない、
公式ホームページとは別に特設ページを設置しました。

9/10(木)から公開し、
各出展団体の情報を掲載するとともに、
セッション配信プログラムの掲載や、ワークショップ・
プレゼンでのオンライン面談の参加募集を行いました。

URL:https://bosai-kokutai.com/

【ぼうさいこくたい特設ページ】 アクセス数（2020.9.10～2020.10.4）

■日別アクセス数



■日別アクセス数（9月10日～10月4日）

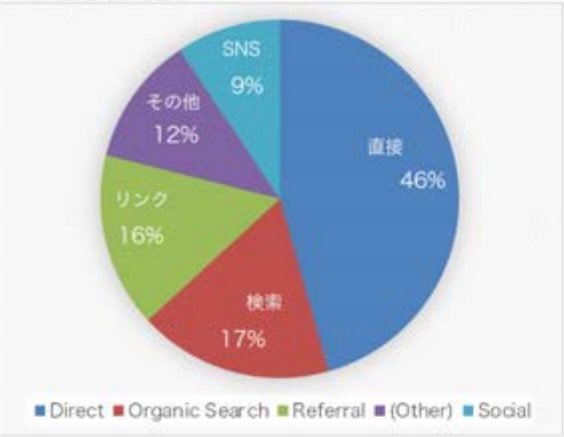
日付	ユーザー	セッション	ページビュー数
20200910	1,174	1,750	8,550
20200911	1,307	1,948	9,785
20200912	630	938	4,440
20200913	572	852	3,677
20200914	1,142	1,702	6,700
20200915	1,179	1,756	8,689
20200916	1,137	1,694	7,298
20200917	1,123	1,674	6,977
20200918	1,092	1,627	5,718
20200919	607	905	3,413
20200920	669	997	3,631
20200921	676	1,007	3,248
20200922	774	1,154	3,869
20200923	1,446	2,154	9,601
20200924	1,691	2,520	11,297
20200925	1,366	2,036	8,205
20200926	896	1,335	4,789
20200927	668	996	3,399
20200928	1,248	1,860	8,337
20200929	1,789	2,665	9,877
20200930	1,740	2,593	11,150
20201001	2,039	3,038	13,132
20201002	3,640	5,423	26,292
20201003	9,936	14,805	94,782
20201004	1,823	1,789	7,174
	40,364	59,218	284,030

ユーザー数：
何人のユーザーがサイトを閲覧したかを表しています。

セッション数：
検索や広告からWebサイトに入ってきて、離脱するまでの一連の流れが行われた回数のことを指します。

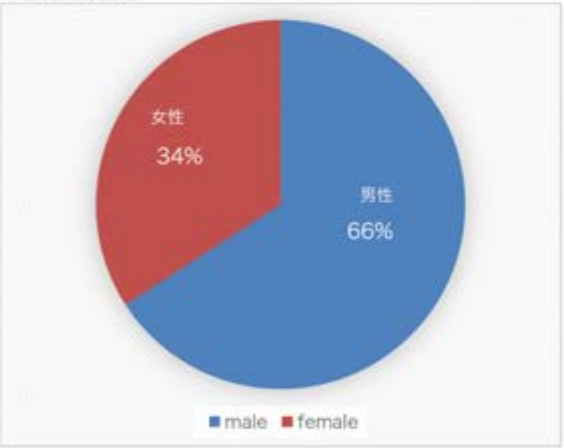
ページビュー数：
ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読み直した場合でも、PV数はカウントされます。

■流入経路別訪問者数

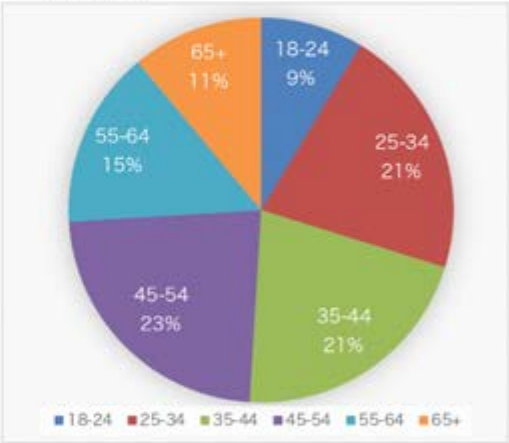


■ SNSからの訪問

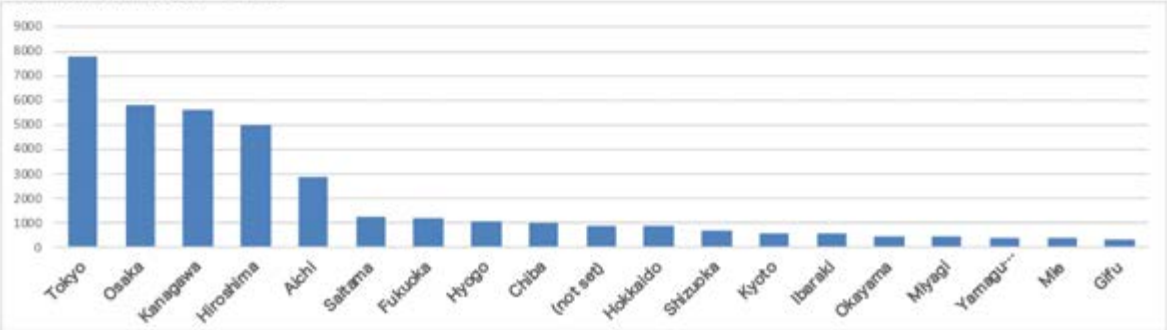
■性別訪問者数



■年齢別訪問者数



■都道府県別訪問者数（ベスト20）



■デバイス別

デバイス カテゴリ	ユーザー	セッション	ページビュー数
desktop	16,354	28,295	175,882
mobile	22,384	28,421	96,105
tablet	1,628	2,504	12,038
	40,366	59,220	284,025

■流入経路別アクセス数

チャネル グループ	ユーザー	セッション	ページビュー数
Direct	18381	29416	192269
Organic Search	7066	11845	33673
Referral	6361	6801	7135
(Other)	4701	5924	24951
Social	3788	5287	25988
	40,297	59,273	284,016

■SNSからの訪問

SNS	ユーザー
Facebook	67.0%
Twitter	31.5%
その他	1.5%

■性別

性別	ユーザー
male	66%
female	34%

■年齢別

年齢	ユーザー
18-24	9%
25-34	21%
35-44	21%
45-54	23%
55-64	15%
65+	11%

広報施策 〈特設ページアクセスデータ〉

ぼうさいこくたい2020 ［オンライン開催］ 各団体別 セッション アクセス数

		講演内容(出演者等)紹介ページ				ライブセッション
【セッション】		当日(10/3)		累計(9/10～10/4)		当日(10/3)
主催		訪問数	ページビュー数	訪問数	ページビュー数	視聴者数
SS-01	内閣府 オープニングセッション	506	635	1,451	1,765	1,212
SS-02	防災教育チャレンジプラン実行委員会	385	463	1,121	1,341	620
SS-03	内閣府 ハイレベルセッション	686	900	1,984	2,526	1,141
SS-04	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	344	424	1,042	1,244	393
SS-05	SIP国家レジリエンス(防災・減災)の強化	287	354	886	1,036	334
SS-06	NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	270	317	685	841	274
SS-07	(一社)日本リモートセンシング学会	197	236	507	567	145
SS-08	YY防災ネット	239	294	702	797	173
SS-09	(一社)DroneAI技術研究機構	150	173	420	493	71
SS-10	広島市、共催:RCCラジオ/第1部	319	386	695	826	700
SS-11	防災学術連携体・日本学術会議	617	791	1,818	2,229	757
SS-12	広島県災害復興支援士業連絡会	323	403	855	1,075	392
SS-13	みんな元気になるトイレ 協議会	268	314	777	905	423
SS-14	(公財) 味の素ファンデーション	355	463	981	1,231	357
SS-15	(株)不知火プロ	268	312	668	765	212
SS-16	(一社)日本損害保険協会	225	295	585	748	172
SS-17	(一社)災害防止研究所	252	269	540	589	---
SS-18	広島市、共催:RCCラジオ/第2部	216	248	472	542	453
SS-19	(公財)日本消防協会	310	367	767	881	412
SS-20	防災教育学会	363	435	907	1,061	277
SS-21	広島大学防災・減災研究センター	335	429	915	1,124	344
SS-22	(独)都市再生機構	216	236	511	572	146
SS-23	(一社)日本ドローンコンソーシアム	195	228	462	522	170
SS-24	(公社)日本医師会	536	657	1,987	2,558	377
SS-25	NPO法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	270	313	947	1,134	468
SS-26	内閣府 クロージングセッション	152	158	662	721	249
SSW-01	広島県知事 × 三重県知事トップ対談	197	239	546	647	586
SSW-03	内閣府×環境省「気候変動と防災」	264	296	591	710	354
セッション合計		8,745	10,635	24,484	29,450	11,212

※訪問数 ： Webページに、アクセス(閲覧)した数がカウントされます。

※ページビュー数 ： ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読み直した場合でも、ページビュー数はカウントされます。

※視聴者数 ： セッションを『視聴する』のアイコンをクリックした数がカウントされます。

ぼうさいこくたい2020［オンライン開催］各団体別 ワークショップ アクセス数 等

【ワークショップ】団体紹介ページ

主催		当日(10/3) ページ別訪問数	当日(10/3) ページビュー数	当日(10/3) WS参加者数	累計(9/10～10/4) ページ別訪問数	累計(9/10～10/4) ページビュー数
WS-01	内閣府主催 TEAM防災ジャパン	584	812	208	2,311	3,249
WS-02	日本赤十字社	366	487	161	1,914	2,732
WS-03	ペット防災サポート協会	199	275	32	968	1,294
WS-04	三菱地所レジデンス(株)	181	242	35	787	1,012
WS-05	日本ジオパークネットワーク	157	229	93	718	965
WS-06	(株)白獅子	89	129	19	324	419
WS-07	(公社)日本地震学会	102	125	30	690	845
WS-08	(一社)ひろしま防災減災支援協会	190	264	110	732	1,025
WS-09	防災WEST	189	247	22	908	1,196
WS-10	母と子の育児支援ネットワーク	184	235	25	767	1,023
WS-11	広島市江波山気象館［(公財)広島市文化財団］	106	139	5	486	606
ワークショップ合計		2,347	3,184	740	10,605	14,366

※訪問数　：Webページに、アクセス(閲覧)した数がカウントされます。

※ページビュー数　：ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読み直した場合でも、ページビュー数はカウントされます。

※WS参加者数　：出展団体からの事後報告に基づき記載しています。

ぼうさいこくたい2020［オンライン開催］各団体別 プレゼン アクセス数 等

【プレゼン】団体紹介ページ

主催		当日(10/3) ページ別訪問数	当日(10/3) ページビュー数	当日(10/3) オンライン面談参加者数	累計(9/10～10/4) ページ別訪問数	累計(9/10～10/4) ページビュー数
PR-01	岩手県	160	205	---	586	746
PR-02	海田町	122	146	---	501	657
PR-03	大学共同利用法人 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	48	59	---	222	261
PR-04	(一社)全国建設業協会	59	67	---	189	232
PR-05	(株)ゼンリン	227	300	5	718	886
PR-06	竹内工業(株)	73	84	0	267	312
PR-07	(独)都市再生機構	80	98	1	238	295
PR-08	(一社)72時間サバイバル教育協会	136	162	4	457	552
PR-09	日東工業(株)	84	96	0	354	410
PR-10	(一社)日本建設業連合会	65	75	---	194	232
PR-11	(一社)日本照明工業会	51	76	4	199	261
PR-12	NPO法人 日本防災士会	129	158	---	427	513
PR-13	パナソニック ライティングデバイス(株)	37	52	0	201	248
PR-14	広島市防災士ネットワーク	111	149	3	377	485
PR-15	広島大学防災・減災研究センター	97	116	---	397	506
PR-16	広島防災リーダーネットワーク会議	59	77	3	253	305
PR-17	防災ママかきつばた	88	101	8	327	399
PR-18	ミライノベーションプロジェクト	38	48	0	174	204
PR-19	(株)ヤザワコーポレーション	46	60	0	233	280
PR-20	よんなな防災会	80	99	3	284	353
PR-21	イオン(株)	81	92	---	275	312
PR-22	Welltool(株)	38	50	2	132	176
PR-23	エヴォーブテクノロジー(株)	48	53	1	178	208
PR-24	(株)NTTドコモ中国支社	65	83	---	186	228
PR-25	エピスタ コーポレーション /(株)プリート	24	25	0	104	121
PR-26	機能ガラス普及推進協議会	56	75	0	152	198
PR-27	(一財)自治体国際化協会 (クレア CLAIR)	47	50	3	164	190
PR-28	大丸鐵興(株)	45	53	0	150	178
PR-29	WPPグループ Japan Pet Press	56	63	---	196	232
PR-30	帝人フロンティア(株)	58	64	0	190	236
PR-31	NPO法人 都市環境標識協会	38	45	---	112	133
PR-32	西日本電信電話(株)広島支店	73	113	0	230	315
PR-33	(公社)日本薬剤師会	41	46	0	134	155

ぼうさいこくたい2020［オンライン開催］各団体別 プレゼン アクセス数 等

【プレゼン】団体紹介ページ

主催		当日(10/3) ページ別訪問数	当日(10/3) ページビュー数	当日(10/3) オンライン面談参加者数	累計(9/10~10/4) ページ別訪問数	累計(9/10~10/4) ページビュー数
PR-34	梅花堂紙業(株)	33	38	0	171	197
PR-35	母と子の育児支援ネットワーク	128	154	2	469	564
PR-36	(一社)福祉防災コミュニティ協会	69	89	3	250	300
PR-37	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	51	68	4	184	235
PR-38	(株)フジタ	82	96	1	232	268
PR-39	ヤンマーエネルギーシステム(株)	44	52	0	143	173
PR-40	江崎グリコ(株)	52	65	0	174	214
PR-41	(一社)おいしい防災塾	74	83	4	262	295
PR-42	クラーク(株)	43	47	0	161	182
PR-43	こくみん共済 coop (全国労働者共済生活協同組合連合会)	33	37	---	161	190
PR-44	日本労働組合総連合会(連合)	36	51	4	111	156
PR-45	日本セイフティー(株)	45	48	0	154	181
PR-46	NPO法人 日本防災用品技術研究協会	23	28	---	118	135
PR-47	(株)ハタヤリミテッド	38	46	0	140	164
PR-48	三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	57	66	---	182	215
PR-49	(株)i・ライフソリューションズ	34	39	0	112	125
PR-50	(株) カワハラ技研	36	43	0	149	179
PR-51	(一社)災害防止研究所	71	86	1	242	282
PR-52	(株)スギタ	34	45	1	133	165
PR-53	(株)タカミヤ	33	40	2	96	114
PR-54	トーヨーエナジー(株)	24	37	1	64	88
PR-55	鹿児島市	41	73	2	137	188
PR-56	(一社)危機管理・労働災害防止機構	38	50	---	122	143
PR-57	熊本県	44	53	---	182	219
PR-58	国立国会図書館	45	55	2	146	179
PR-59	東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門	53	70	0	197	263
PR-60	日東工業×生方製作所	34	39	0	144	178
PR-61	国土交通省 中国地方整備局	57	64	---	168	199
PR-62	(株)コミュニティネット	31	50	0	89	118
PR-63	名古屋市	41	46	---	213	248
PR-64	梅林学区自主防災会連合会 / 梅林学区復興まちづくり協議会	47	55	---	132	154
PR-65	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	57	66	---	167	190
PR-66	(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館	40	51	3	113	138

ぼうさいこくたい2020［オンライン開催］各団体別 プレゼン アクセス数 等

【プレゼン】団体紹介ページ

主催		当日(10/3) ページ別訪問数	当日(10/3) ページビュー数	当日(10/3) オンライン面談参加者数	累計(9/10～10/4) ページ別訪問数	累計(9/10～10/4) ページビュー数
PR-67	リコージャパン(株)	55	67	0	209	264
PR-68	名古屋学芸大学	35	41	0	124	157
PR-69	名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク	144	229	0	257	382
PR-70	(公社)日本技術士会防災支援委員会	84	107	2	330	383
PR-71	防災教育学会	62	71	---	205	251
PR-72	国際復興支援プラットフォーム(IRP)	34	43	0	92	117
PR-73	坂町	74	89	---	277	332
PR-74	南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議	61	70	---	219	263
PR-75	(一社)日本非常食推進機構	48	54	0	129	147
PR-76	アールシーソリューション(株)	95	110	0	327	389
PR-77	(一財)移動無線センター	60	88	0	269	242
PR-78	(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)	49	74	0	148	193
PR-79	国立研究開発法人情報通信研究機構	53	70	2	141	176
PR-80	総務省中国総合通信局	50	66	---	216	272
PR-81	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	73	87	---	278	244
PR-82	防災専門図書館［(公社)全国市有物件災害共済会］	52	63	---	213	247
PR-83	(一社)日本防災プラットフォーム(JBP)	46	60	0	180	213
PR-84	(一社)浄化槽システム協会	53	83	2	166	211
プレゼン合計		5,156	6,442	73	18,099	21,941

※訪問数　：Webページに、アクセス(閲覧)した数がカウントされます。

※ページビュー数　：ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読み直した場合でも、ページビュー数はカウントされます。

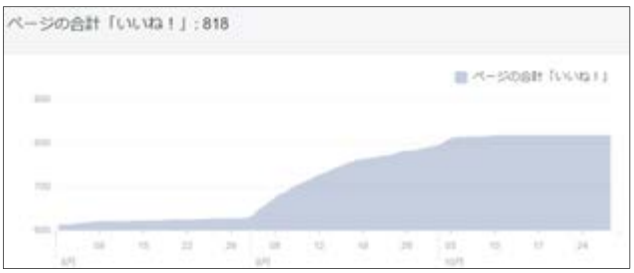
※オンライン面談者数　：出展団体からの事後報告に基づき記載しています。

●オンラインぼうさいこくたい月別アクセス数（2020年9月～2020年12月）

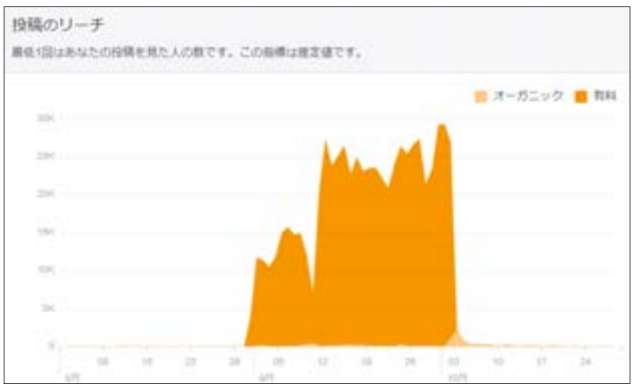
月	ユーザー	セッション	ページビュー数
2020年9月	31,214	41,531	158,399
2020年10月	21,900	36,758	181,253
2020年11月	2,792	3,877	10,949
2020年12月	1,852	2,493	6,853
計	57,758	84,659	357,454

広報施策〈Facebook〉

●URL ：　https://www.facebook.com/bousaikokutai/
●フォロワー数 ：　904名
●投稿記事数 ：　29件
●いいね数:　818



ページの合計「いいね！」数　818



9/10～10/28の49日間で、**計555,870名**のリーチを獲得しました。うち、Facebook広告からのリーチ数は**547,119名**でした。
（リーチ数：最低1回は投稿を見た人の数　※推定値）

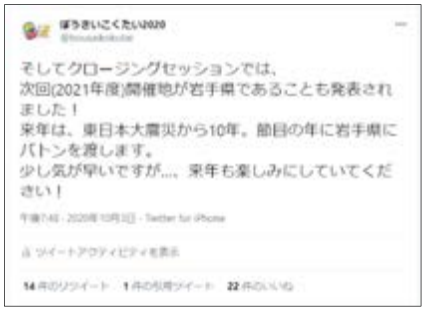
推定リーチの一番高かった投稿（オーガニック3,245）

広報施策〈Twitter〉

●URL ：　https://www.twitter.com/bousaikokutai
●フォロー数 ：　298名
●フォロワー数 ：767名

〈トップツイート　ベスト3〉

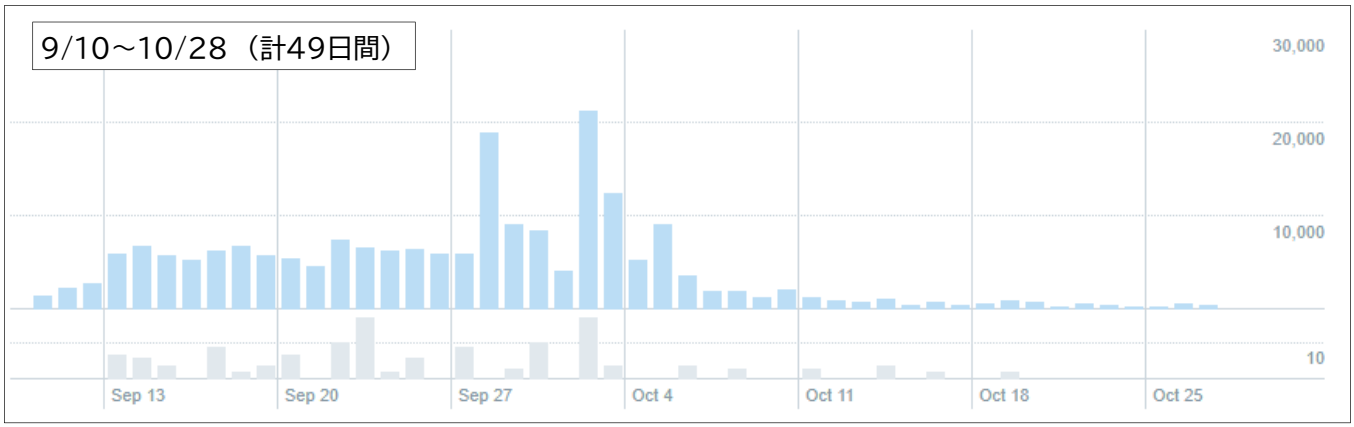
インプレッション	11,920
エンゲージメント総数	123
詳細のクリック数	50
いいね	24
リンクのクリック数	23
プロフィールのクリック数	17
リツイート	9



インプレッション	10,505
エンゲージメント総数	140
詳細のクリック数	76
プロフィールのクリック数	26
いいね	22
リツイート	15
返信	1

インプレッション	10,257
エンゲージメント総数	249
メディアのエンゲージメント数	103
詳細のクリック数	77
プロフィールのクリック数	30
いいね	24
リツイート	12
リンクのクリック数	2
返信	1

特設ページ公開後の49日間で、ツイートによって**211,143件の**インプレッションを獲得しました。
（インプレッション ： ユーザーがtwitterでツイートを見た回数）



インプレッション	211,143
エンゲージメント	3,219
いいね	587

リツイート	282
返信	15
ツイート数	135

広報施策〈チラシ・ポスター配布先〉

No.	送付先	チラシ計	ポスター計
1	防災推進協議会	3,450	138
2	防災推進国民会議	2,000	80
3	指定公共機関	5,000	0
4	NPO法人JPF(43団体加盟)	50	2
5	国土地理院	50	1
6	国土地理院	50	2
7	国土地理院	50	0
8	国土地理院	50	0
9	気象庁	50	2
10	気象庁(広島気象台)	50	2
11	消防庁	50	2
12	消防博物館	50	2
13	国土交通省　中国地方整備局	100	10
14	都道府県防災担当(広島県除く)	2,300	92
15	内閣府	3900	119
16	広島県	3,100	45
17	広島市役所(危機管理室)	4,820	68
18	広島市防災士ネットワーク	5,000	0
19	日本防災士会広島県支部	2,180	3
20	ぼうさいこくたい運営事務局	2,000	8
21	出展団体	5,700	224
合計		40,000	800

広報施策〈報道結果：テレビ〉

広島県ご協力にて、以下のテレビ番組以内で「ぼうさいこくたい2020」の告知を行った。

●TSSテレビ新広島（TSS）　10月1日（木）ひろしま満点ママ!!　情報スパイス
●広島ホームテレビ（HOME）　10月1日（木）情報LAND（9:55～10:00）
●広島テレビ放送（HTV）　10月2日（金）テレビ派 2部

〈TSS〉

〈HOME〉

〈HTV〉

〈報道関係〉

●広島HOMEテレビ（テレビ朝日系列）　10月3日　17時40分～（ANNスーパーJチャンネル内）
●広島テレビ放送（日本テレビ放送系列）　10月3日　17時22分～（news Saturday内）

〈HOME〉

〈HTV〉

〈RCCラジオ〉

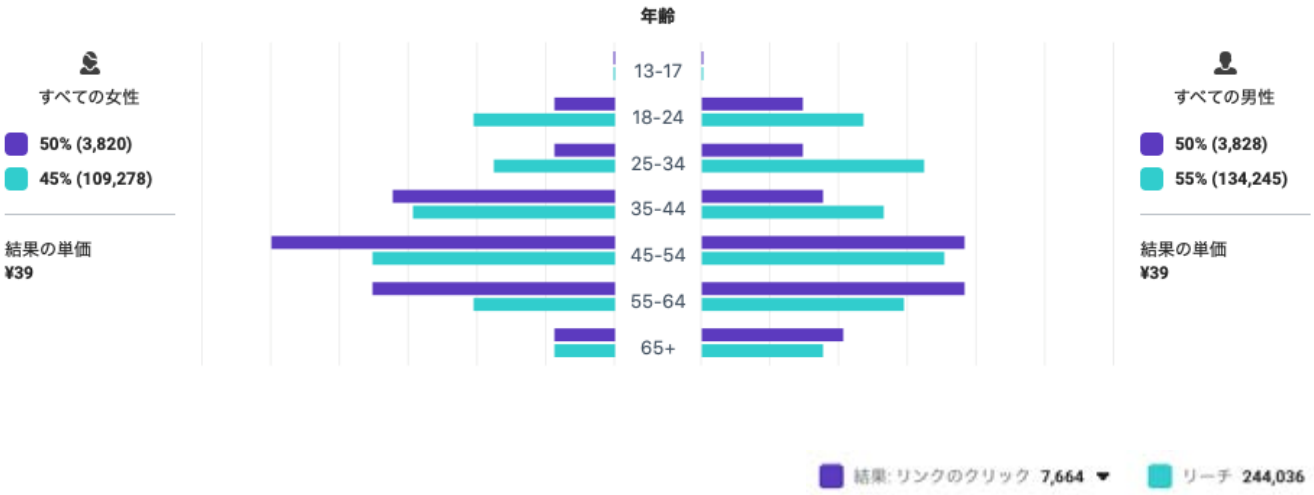
●2020年9月16日(水) 8:30頃　「本名正憲のおはようラジオ」内にて告知。内閣府ご担当者が生電話出演。
●2020年9月23日(水) 8:30頃　「本名正憲のおはようラジオ」内にて、原稿読みCMにて告知。
●2020年10月1日(木) 14:30頃　「おひるーな」内にて、原稿読みCMにて告知。
●2020年10月2日(金) 11:20頃　「平成ラヂオバラエティごぜん様さま」内にて、原稿読みCMにて告知。
●2020年10月3日(土) 10:25頃　「一文字弥太郎の週末ナチュラリスト」内にて、原稿読みCMにて告知。

〈Facebook広告〉

■掲出期間　2020年9月1日(火)～10月3日(土)

掲出期間	2020年9月1日～10月3日
キャンペーン名	オンラインぼうさいこくたい2020
ターゲット	エリア：全国
目的	ウェブサイトへの誘導
URL	https://bosai-kokutai.com

表示回数	リーチ	クリック数
772,591 回	244,036 人	7,664 回



〈Googleテキスト検索広告〉

■掲出期間　2020年9月1日(火)～10月3日(土)

利用媒体	Google広告
キャンペーン名	オンラインぼうさいこくたい2020
広告グループ	開催告知
タイプ	テキスト検索広告
デバイス	PC、スマホ、タブレット
地域	全国
料金形態	クリック課金

媒体	広告タイプ	表示回数	クリック数	クリック率	クリック単価
Google	テキスト検索	1,284,084回	6,754回	0.53%	53円

〈Yahoo! インフィード広告〉

■掲出期間　9月29日(火)～10月3日(土)

利用媒体	ヤフーYDN
提出期間	2020.9.29～10.3
キャンペーン名	ぼうさいこくたい
広告グループ	開催告知
タイプ	インフィード広告
デバイス	スマホ・タブレット
地域	全国

表示回数	1,426,930　回
クリック数	1,251　回
クリック率	0.10　%
平均クリック単価	130　円

●中国新聞朝刊通し版　全15段4C
9/10、16、19、26、10/3　計5回掲載

●中国新聞朝刊通し版　全5段4C
9/17、23、29、30、10/2　計5回掲載

●中国新聞SELECT　全5段4C
9/11、13、15、18、20、24、25、27、10/1
計9回掲載

●中国新聞朝刊通し版　突き出し4C
9/10、19、23、26、30、10/1、2、3　計8回掲載

●中国新聞　ちゅーピーこども新聞　記事下広告4C
9/6、20　計2回掲載

●中国新聞朝刊通し版　全5段4C　※事後広報
11/24　掲載

●中国新聞朝刊通し版　採録告知　10/27掲載

※大会終了後に、事後広報として掲載

●媒体名　：　中国新聞 記事掲載

●内　容　：　10月1日(木)　地域面

●媒体名　：　中国新聞 記事掲載

●内　容　：　10月4日(日)　一面

広報施策〈報道結果:新聞掲載〉

●媒体名 ： 中国新聞広島版 記事掲載
●内　容 ： 10月4日(日) 地域面

●媒体名 ： 中国新聞 記事掲載
●内　容 ： 10月4日(日) 社会面

●媒体名 ： 新潟日報
●内　容 ： 9月26日(土) くらしプラス内

●媒体名 ： 読売新聞朝刊
●内　容 ： 9月29日(火) 17面

防災や減災 ネットで学ぶ

内閣府などは10月3日、防災や減災について学ぶ「防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2020」をインターネット上で開く。「みんなで減災」をテーマに、識者らによる討論を動画で配信するほか、ウェブ会議システムを使ったセミナーが行われ、一般からも閲覧や参加ができる。

特設サイト（https://bosai-kokutai.com/）上で行う。防災に携わる自治体や企業、NPO、研究機関など約120団体が、活動やサービス内容を動画や画像で紹介し、質問などに応じるオンライン面談も実施する。

閲覧は事前登録が不要で、参加費も無料。セミナーへの参加やオンライン面談を希望する場合は、特設サイト上で事前登録が必要になる。

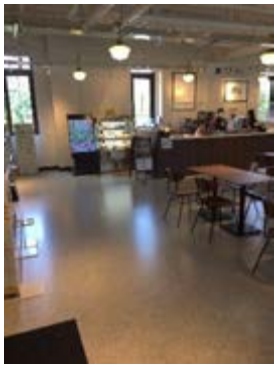
●媒体名 ： 上越タイムス 記事掲載
●内　容 ： 9月18日(金) 15面

10月3日「ぼうさいこくたい」
国内最大級 上越市から2団体 オンライン式
大気不安定 大雨に注意

●媒体名 ： 上越よみうり
●内　容 ： 10月1日(木) 一面

上越よみうり
上越の団体2年連続参加
ぼうさいこくたい2020
3日にオンライン開催
秋のスタートキャンペーン
10月13日スタート
グリーン・インドア・テニス・スクール

●媒体名 ： 広島市平和記念公園レストハウス内 デジタルサイネージ
●掲載期間 ： 2020年9月5日～10月3日 計30日間
●仕様 ： 50inch縦型サイネージモニター、開館時間8:30～18:00、1階・2階 計2台



●媒体名 ： イオン(総合スーパー)内 食品レジ前及び店頭デジタルサイネージ(幅1080×高さ1920)
●掲載期間 ： 2020年9月20日～10月3日 計14日間
●仕様 ： 約200店舗にて掲載

[レジ前の設置](対象…199店舗)

[主通路、出入口設置](対象…211店舗)

●媒体名 ： ミニストップ レジ前デジタルサイネージ
●掲載期間 ： 2020年9月5日～10月3日 計30日間
●仕様 ： 全国約2,000店舗にて掲載

広報施策〈報道結果：その他媒体〉

●広島市HP「防災情報サイト」

●広島市　防災セミナー告知チラシ

●広報ひろしま　市民と市政（9月15日号、3面）

TEAM防災ジャパン 「ぼうさいこくたい2020」プレイベント オンラインミーティングについて

1. イベント

TEAM防災ジャパン 「ぼうさいこくたい2020」プレイベント オンラインミーティング

主催 TEAM防災ジャパン(内閣府)

2. 開催日時

令和2年9月15日(火) 18:00～20:00

3. 目的

全国各地で活躍する多様な防災の担い手を育成・応援するための人材ネットワークであるTEAM防災ジャパンが、「ぼうさいこくたい2020」(10/3オンライン開催予定)にて地域の防災力向上に参考となる事例や課題などを参加者と共有するワークショップを開催。これに先立ち、関連する話題の提供や参加者とのディスカッションなどを行うことで、大会に向けた盛り上げや、効果的なワークショップへの導入の場となるよう、オンラインよるプレイベントを開催した。

4. 開催方法

オンラインによる開催(ZOOMを利用) 、ブレイクアウトルーム機能を活用して参加者でディスカッション

5. 次第

進行:内閣府

18:00～18:05 (5') 開会挨拶 内閣府 今井政務官

18:05～18:10 (5') ぼうさいこくたい2020のプログラム紹介 内閣府

18:10～18:15 (5') プレイベントの目的の共有について 中川アドバイザー

18:15～18:35 (20') 話題提供①『男女共同参画・子育てと防災』

減災と男女共同参画 研修推進センター 浅野 幸子 氏

18:35～18:55 (20') 話題提供②『地区防災計画について』

跡見学園女子大学 観光ｺﾐｭﾆﾃｨ学部 教授 鍵屋 一 氏

※話題提供①②では、講師による発表と、広島からの参加者とのディスカッションを行った。

18:55～19:00 (5') ブレイクアウトルームの説明

19:00～19:30 (30') ブレイクアウトルームでの議論

19:30～20:00 (30') 全体報告

20:00～20:02 (2') 閉会挨拶 内閣府

終了 ～～有志にてオンライン懇親会～～

6. 参加者と募集について

参加者は、「ぼうさいこくたい2020」および地域防災に興味のある方(オープン参加)。

募集は、TEAM防災ジャパンポータルサイト内の専用フォームにて事前申込みとした。

7. 告知について

TEAM防災ジャパンポータルサイトおよび内閣府防災のページにて告知。

9/3 プレスリリースとともに、ホームページ公開およびメンバーに対してメール配信。

運営体制

運営体制〈事務局運営体制図〉

主催
防災推進国民大会2020実行委員会
内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議

内閣府　政策統括官(防災担当)付
普及啓発・連携担当

事　務　局　体　制

事務局概要

■名称:ぼうさいこくたい2020運営事務局
■所在地:広島県広島市中区
■解放情報:電話、FAX、メールアドレス　info@bosai-kokutai.jp
■開設期間:受託後～令和3年3月31日まで(平日10:00～12:00、13:00～17:00)

委託事業者
中国新聞社
大会実施統括・管理／出展者対応／主催者との連絡・調整
大会統括コーディネーター／橘高　知樹
大会副統括コーディネーター／
松下　寿樹・佐野　隆幸・松本　百花

広報・情報発信
中国新聞社
周知・広報活動／
各種媒体管理／
プレス対応ほか

大会運営事務局・企画運営
(株)アシスト
担当:南原、伊達
運営事務局対応／出展者対応／
大会当日運営・進行

WEB・SNS管理
(株)ﾆｯｸﾈｰﾑ・ﾄﾞｯﾄｺﾑ
担当:上田
大会HP運用／SNS管理
特設サイト開設・管理ほか

クリエイティブ制作
(有)アド・オーガスト
担当:川上
ﾁﾗｼ・ﾎﾟｽﾀｰﾃﾞｻﾞｲﾝ／
各種媒体ﾃﾞｻﾞｲﾝ／ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄﾃﾞｻﾞｲﾝ

再委託先

音響・照明 映像・配信	**(株)コネクトライン　担当:伊藤** 各会場オペレーター手配、各種機材準備 セッティング、当日ライブ配信、 記録動画撮影・編集
施工管理 備品手配	**(株)フジヤ広島支店　担当:樋野** レイアウト・サインプラン作成／ 施工管理全般・備品手配など
スタッフ手配	**(株)アシスト　担当:中林** 各会場ディレクター手配、運営スタッフ手配

手話 通訳	**(一社)広島県ろうあ連盟**
会場	**広島国際会議場** レイアウト調整／ 会場使用備品調整
会場	**TKP溜池山王** ｶﾝﾌｧﾚﾝｽｾﾝﾀｰ レイアウト調整／ 会場使用備品調整

運営体制〈当日運営体制図〉

主催

防災推進国民大会2020 実行委員会

内閣府、
防災推進協議会、
防災推進国民会議

委託事業者

(株)中国新聞社

大会実施統括・管理／出展者対応／主催者との連絡・調整

大会統括ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
橘高　知樹
大会副統括ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
松下　寿樹・佐野　隆幸

松本　百花

運営事務局

(株)アシスト

施工・運営管理／進行 出展者対応／

全体統括ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ(広島)
南原　良哉
統括ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ(東京)
伊達　一徳

当日事務局対応:
山本　良枝

広島会場:広島国際会議場

ご担当/妹尾様
TEL:082-242-7777

東京会場:TKP溜池山王

ご担当/熊谷様、松本様
TEL:03-5572-7811

広島メインスタジオ(ライブ配信)

広島会場全体管理:アシスト南原
:コネクトライン神川

出演者受付対応:運営スタッフ2名

- 進行D:アシスト新野／進行AD:アシスト中村、アシスト井上
- 司会者:佐伯　／手話通訳:広島県ろうあ連盟　4名
- コネクトライン:音響オペレーター　1名　アシスタント　1名
- コネクトライン:映像オペレーター　1名　アシスタント　1名
- コネクトライン:カメラマン　2名　カメラスイッチャーマン　1名
- コネクトライン:配信オペレーター　1名　アシスタント　1名

広島リモート配信会場

全体管理:アシスト佐藤

- 進行D:アシスト佐藤　※リモート配信①②担当
- 進行D:アシスト金田　※リモート配信③④担当
- コネクトライン:配信オペレーター　4名　※各配信チャンネルごとに1名

事前収録配信会場

全体管理:アシスト面家

- 進行D:アシスト面家　※タイムキープ及び全体庶務兼務
- コネクトライン:配信オペレーター　1名　※配信2チャンネルを兼務

ライブ配信管理・録画(広島)

全体管理:コネクトライン伊藤

- 配信管理:NTTスマートコネクト　1名
- 記録録画、トラブル時対応など

東京メインスタジオ(ライブ配信)

東京会場全体管理:アシスト伊達
:コネクトライン寺岡

出演者受付対応:運営スタッフ2名

- 進行D:アシスト猪崎／進行AD:アシスト横田
- コネクトライン:音響オペレーター　1名　アシスタント　1名
- コネクトライン:映像オペレーター　1名　アシスタント　1名
- コネクトライン:カメラマン　1名　カメラスイッチャーマン　1名
- コネクトライン:配信オペレーター　1名　アシスタント　1名

東京サブスタジオ(ライブ配信)

全体管理:アシスト村田

- 進行D:アシスト村田／進行AD:アシスト西澤
- コネクトライン:音響オペレーター　1名
- コネクトライン:映像オペレーター　1名
- コネクトライン:カメラマン　1名　カメラスイッチャーマン　1名
- コネクトライン:配信オペレーター　1名

RCCスタジオ(ラジオ中継配信)

全体管理:アシスト川野

- 進行D:RCC森元様　／サポート運営:アシスト川野
- コネクトライン:配信オペレーター　1名　アシスタント　1名
- コネクトライン:カメラマン　1名

会場施工・造作(東京・広島)

(株)フジヤ　広島支店
担当:樋野

- 東京・広島スタジオのステージ施工／備品管理対応など

特設サイト管理・当日対応

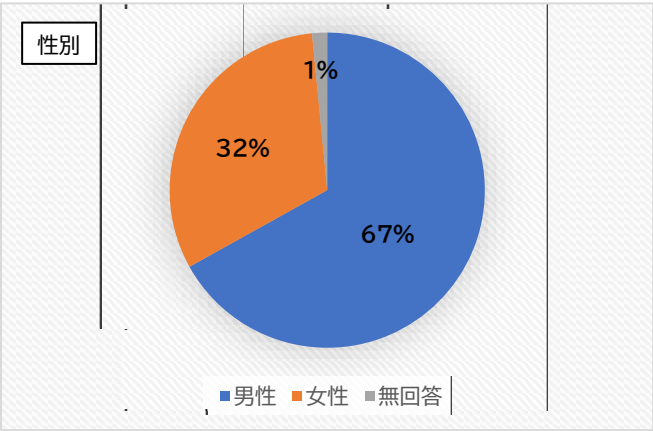
(株)ニックネーム・ドットコム
担当:上田

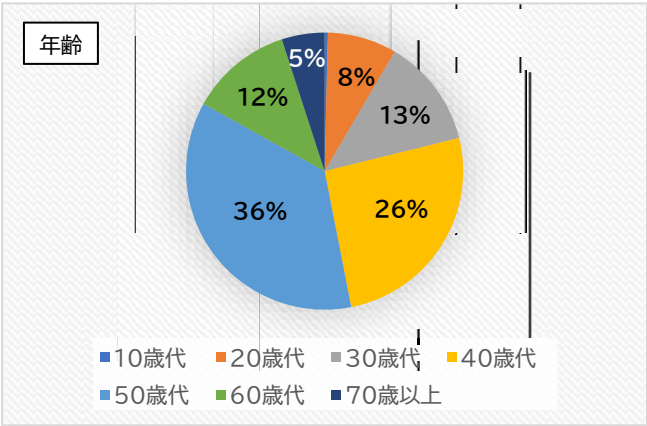
- 特設サイト管理、各種対応
- オンライン面談(Meetin)対応:Meetin　カスタマサポート

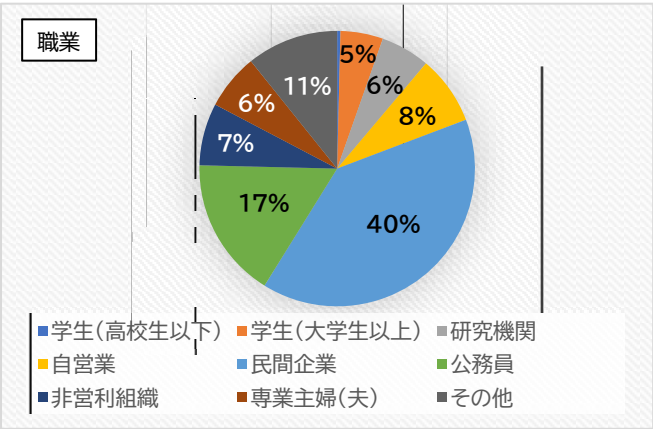
アンケート

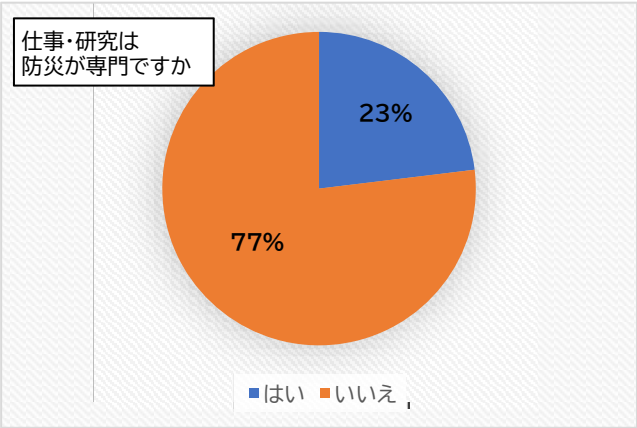
●回収方法 ： 特設ページ内にて、WEB上にて実施
●回収数 ： 260

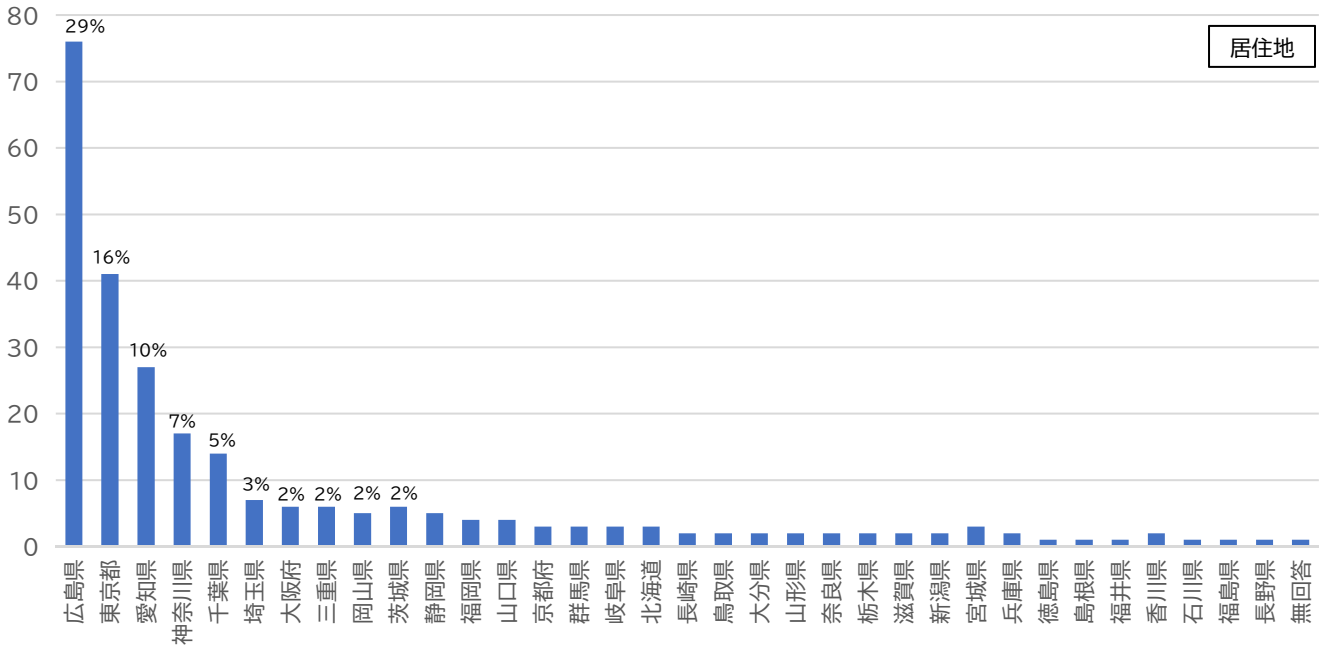
回答者属性



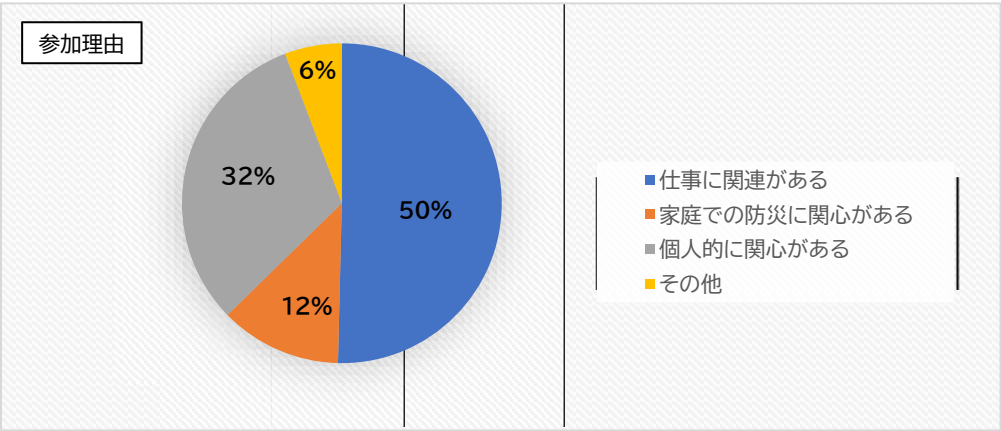




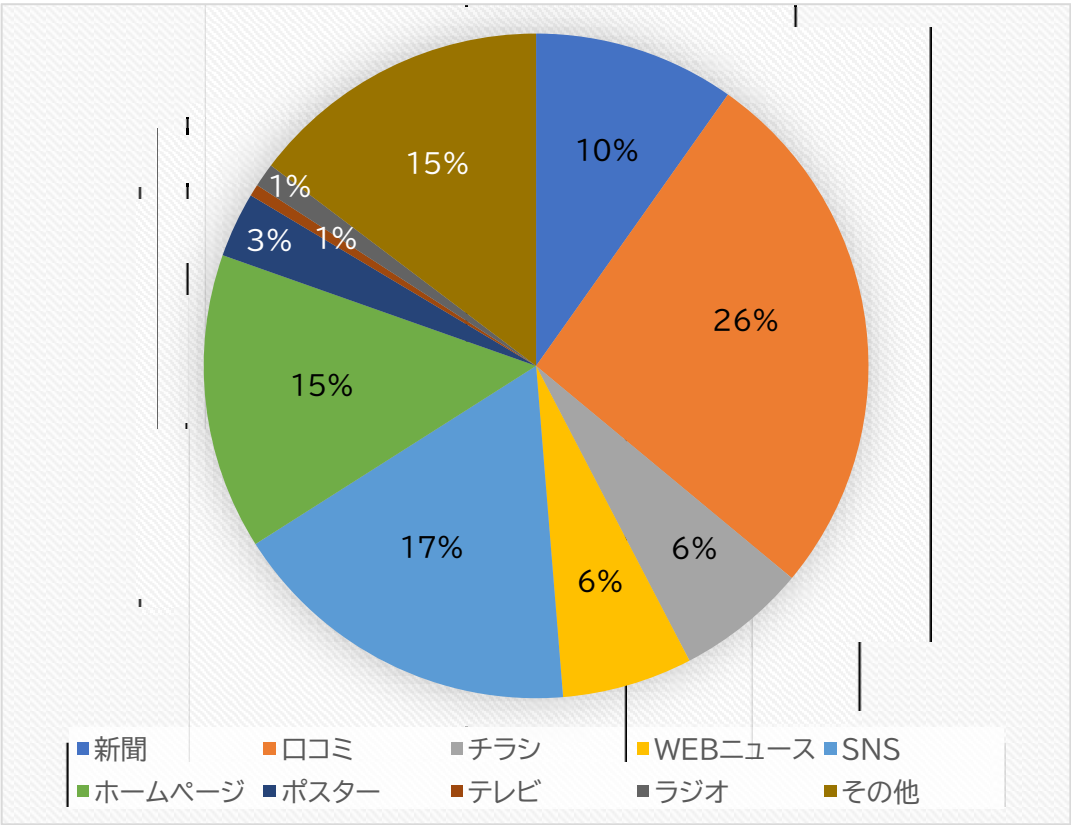




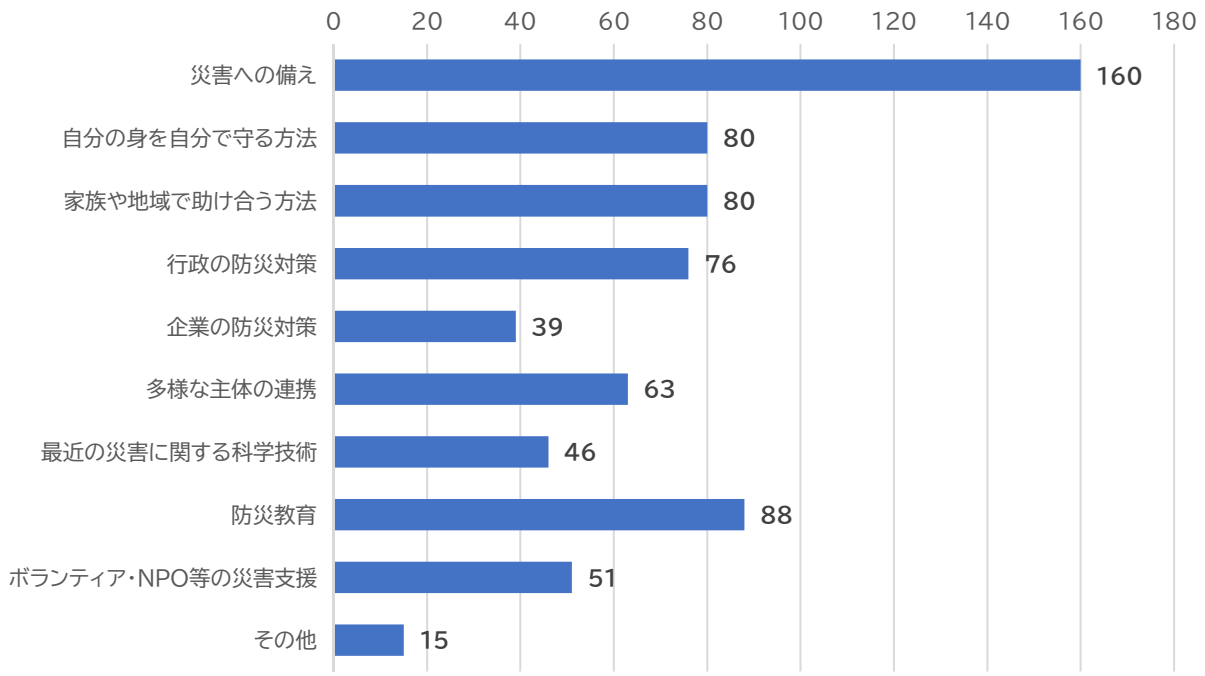
回答者属性



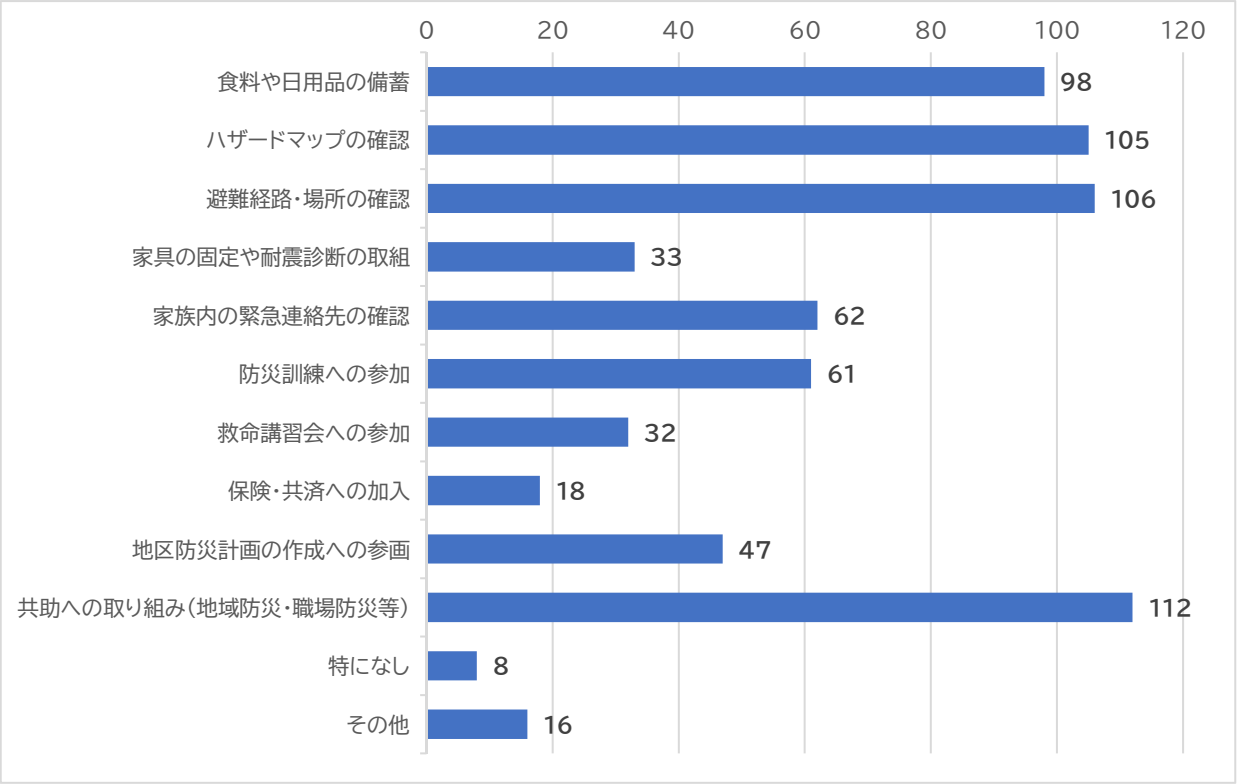
■ 問1. 今回の大会を何でお知りになりましたか。



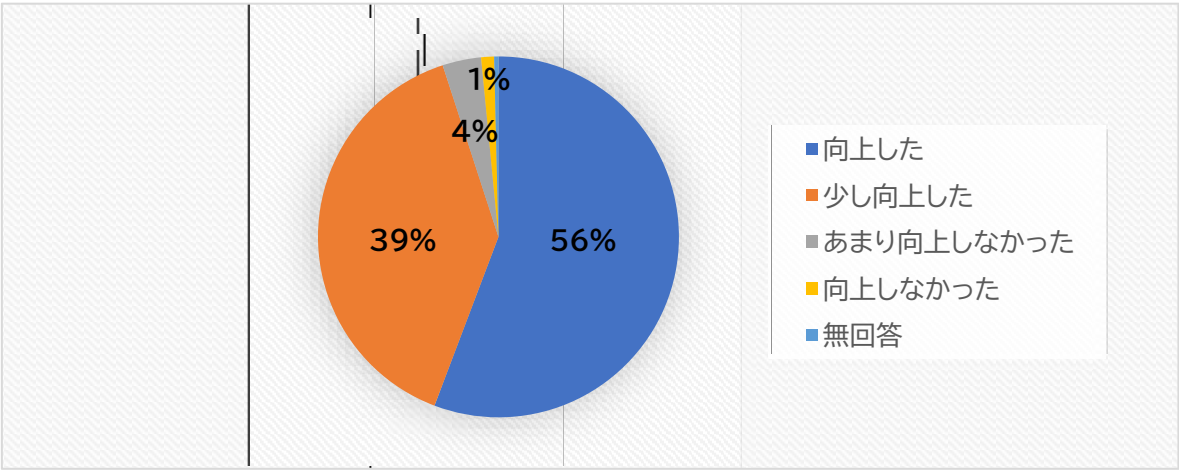
■ 問2. あなたがこの大会を通じて学びたかったことは何ですか。（複数回答可）



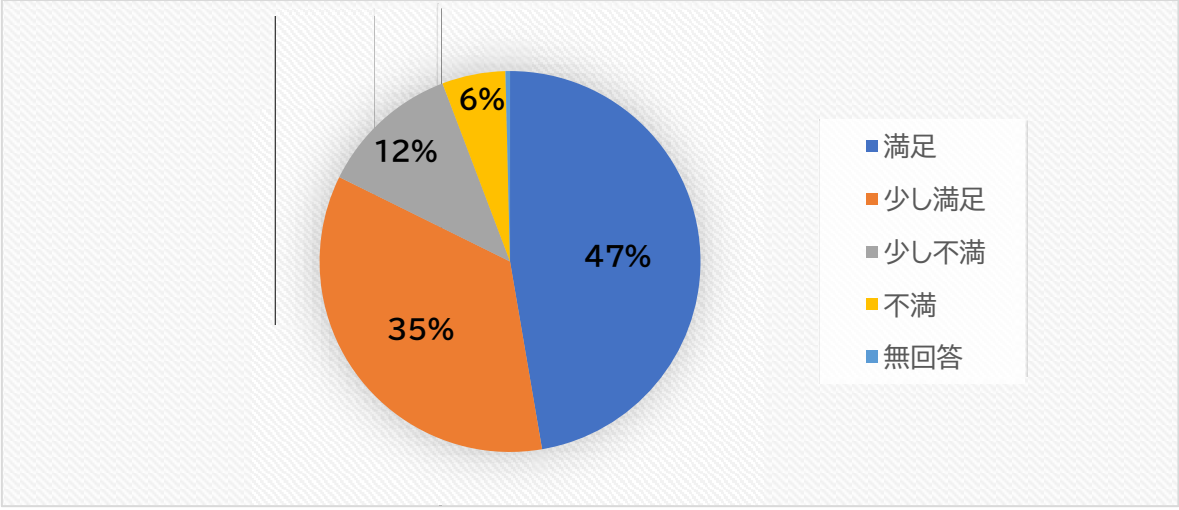
■ 問3. あなたが今回の大会を踏まえて今後実践したいことを教えてください。（複数回答可）



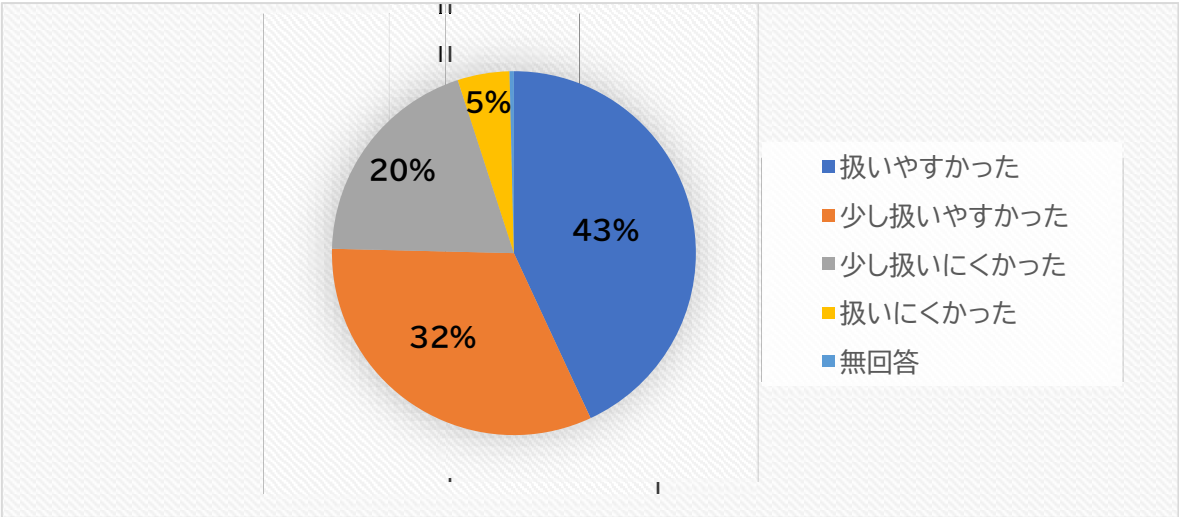
■ 問4. 大会に参加されてあなたの防災意識は向上しましたか。



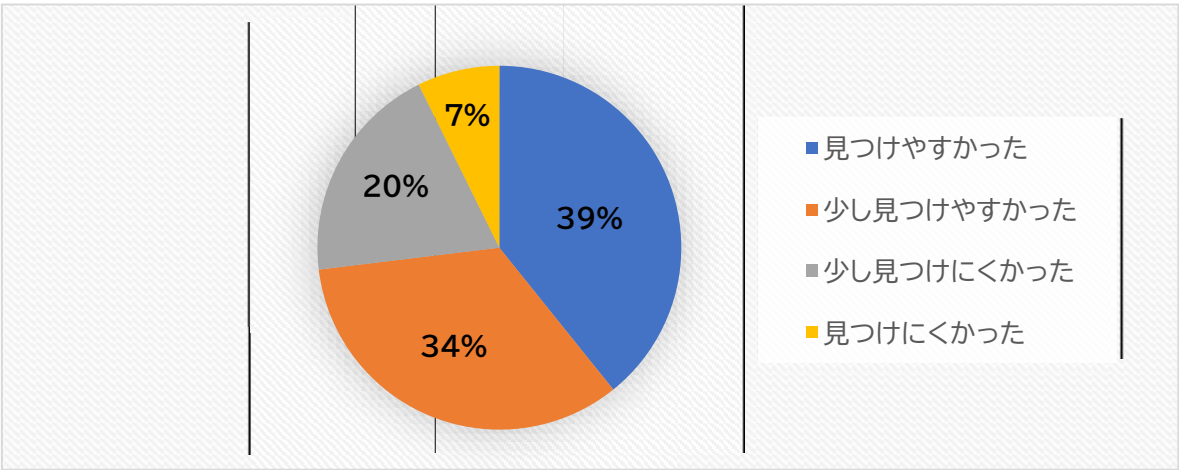
■ 問5. オンラインでの開催はいかがでしたか。



■ 問6. ぼうさいこくたいのページは扱いやすかったですか。



■ 問7. 関心のあるプログラムは見つけやすかったですか。



■ 問8. 今後の大会に期待するものがありましたらご記入ください。

男性	60歳代	開催地の災害歴や開催地の災害伝承者などを中心にしたらどうか。広島の災害を教訓にするため、災害にあった方や早期避難した方、復旧に努力した方などを多数取り上げほしかった。来年はぜひそうしてほしい。やはり開催県の人を中心に発信してほしい。防災ビジネスに関連する事項は別の催しに参加してもらいたい。
男性	30歳代	動画を後日公開することや、資料のダウンロードが可能になることなど、今まででは時間の都合で見られなかったものにアプローチがしやすく、良かったです。丸一日パソコンの前で見ているのは少し辛かったです。現在どのくらいの人が視聴しているかが分かったり、どんな人が見ているかが分かったり、コメント機能や拍手機能など参加者側の様子も分かると良いかなと思いました。
男性	60歳代	1日で多くのセッション、ワークショップ、プレゼンをするのではなく、数日間でやっていただくとより多く参加、見学ができると思います。
男性	50歳代	NTT西日本の取り組みが分かりやすく、紹介されていてよかった。
男性	60歳代	RCソルーリョンさんの、漫画を防災教育に活用するとりくみは、画期的と思われた。いま、日本漫画の力は、世界を制覇している。特に、アジア圏には、日本の漫画力が、強力に作用する。災害大国日本は、漫画を通じて、アジア諸国に、防災大国日本を示す良い事例である。今後、日本の防災力のアジアへの浸透を期待したい。
男性	40歳代	オンラインだからできる、全国の被災地からの情報をもっと取り上げてほしい。また、実際に災害を体験した人の苦労話を行政、住民、いろいろな立場から紹介してほしい。
女性	40歳代	オンラインで参加できる方法も模索してください。遠方でも学べる手段があってよかったです。
女性	50歳代	オンラインはありがたい。2日間ぐらいの開催期間があると、参加できるものが増える。
女性	20歳代	オンライン開催は続けてほしいです。
男性	40歳代	オンライン苦手。今大会の資料請求したいです。
女性	40歳代	オンライン作業に慣れていない方でもわかるように注意事項を大きく記載した資料を出したほうが良いと思います。

■ 問8. 今後の大会に期待するものがありましたらご記入ください。

女性	30歳代	コロナウイルスが収束した暁には、リアル開催を実施していただきたいです。今回は広島での開催でしたが、年に1度各県持ち回りでキャラバンができたら良いかと。ご検討いただけたら幸いです。
男性	60歳代	コロナが克服され、2日間に亘り参加できるようになってほしい。
男性	50歳代	コロナの状況にもよるが、可能ならばリアルが望ましいと思う。
男性	50歳代	コロナはあるが、可能ならばリアル開催が良いと思う。初めてのオンライン開催だったが、いろいろ工夫されていた。
男性	50歳代	オンラインという特性上、開催地に集合しなくても、多くの方が参加できるということは、より多くの専門家や団体等が集まれるということで、新型コロナウィルスが収束して以降も、たとえば、隔年で集合型とオンライン型を実施したり、あるいは、集合型とオンライン型を合わせて実施する等、あってもよいのではないかと思う。
女性	40歳代	セミナーはオンデマンドにして多くの参加を促す方法を今後は希望し、コロナが収束したらワークショップは再開してほしい。
女性	40歳代	ハイブリッド型の可能性もあるのではないかと思った。
女性	50歳代	ホームページでの紹介が遅い、毎年、行うことを決めているのであれば、「ぼうさいこくたい」のHPを通年立ち上げておいてほしい。
女性	50歳代	またオンラインでの配信を希望します。
女性	50歳代	またオンラインでワークショップをやってくれたらありがたいです。
男性	40歳代	もし,ニーズがあれば,宇宙災害のセッションなど御検討いただければ。
男性	60歳代	やはりリモートより、一同が介してやったほうが良いと思います。
男性	50歳代	リアルな開催に戻してほしい。セッションは、ウェブへのライブ配信は実施してもよいと思う。
男性	50歳代	リモートでつながった人たちをここを起点に、継続したワークショップを開催していただけると嬉しい。 （ペット防災サポート協会さん）
女性	40歳代	わかりやすく 楽しく伝えてください。
無回答	40歳代	一般の方が入りやすい内容、広報をお願いしたい。
女性	50歳代	引き続き、命を守る防災対策の内容、宜しくお願い致します。
女性	40歳代	遠くの地でも資料など閲覧できるようにコロナがおちついても、オンラインを活用しつつ開催して頂きたいです。
男性	60歳代	遠隔地から参加できるように、来年以降もオンライン配信を開催地でのイベントと並行して実現して欲しい。
男性	50歳代	我が国最高レベルの機関、関係者が一堂に会する機会として、今後も、全国を巡回する形で、充実した内容を維持しつつ開催してほしい。

■ 問8. 今後の大会に期待するものがありましたらご記入ください。

男性	60歳代	開催日だけの盛り上がりでなく、オンデマンドで聴講できたらと思う(すでにそうしてあるかもしれませんが)
男性	30歳代	感染症蔓延期における避難のあり方や避難対策、避難所運営、他自治体からの派遣支援の方法など、もう少しテーマを絞った実践的な実りあるものにしていただきたい。学者を集めて単に話させるのではなく、もう少しテーマを絞り、セッションの数を少なくしたほうが良いと感じた。
男性	60歳代	関係者だけで終わらないようにしてほしい。
女性	40歳代	関係者ということで、初めてこのような大会があることを知りました。もっと広報に力を入れて、国民に周知できれば良いと思います。
男性	40歳代	企業展示がもう少し増えるといいと思います。
女性	50歳代	個人が具体的にできる方法がなかったため、次に期待しております。
女性	50歳代	後日何らかの形で大勢の人が見れると良いと思います。
男性	60歳代	公助が期待できず、自助の限界が低いことは明白なので、共助をいかに発展させるかの良い提案が出てくれば。
男性	20歳代	広報の強化。もっと地域住民に知って欲しいです。
女性	50歳代	今回のオンラインは、とても良かったです。あとで、録画も見られるとのこと、現地に行かなくても参加できるのはありがたいです。
男性	50歳代	今回のオンライン開催に当初疑問を感じていましたが、かなりグレードが高く、よかったです。実際の開催も大事ですが、どこにいても見ることができるこうしたオンライン配信も併せてやっていただくと防災意識の向上に役立つと感じました。
男性	50歳代	今後もオンラインとリアルをTPOに併せて選択して、この取り組みを継続していただきたい。
女性	40歳代	今後もこのような形で開催していただけると、気軽に参加できるかと思います。また、ちょっと興味がある方が気軽に参加できるため、防災についての情報を今まで以上に広い範囲に拡散することができると思います。
女性	40歳代	今後も会場開催できるようになってもオンラインで参加できるようにしていただけると、遠方からでも参加しやすくなると思います。よろしくお願いします。
女性	50歳代	今後も配信も交えて開催していただければありがたいです。 聞きたい物が重なるので、アーカイブもよろしくお願いします。
男性	50歳代	災害事例から次世代へ繋げる営みに期待する。
男性	40歳代	次回は、現地で盛会でされることを心から期待していますが、あわせてオンラインでも視聴できたら幸いです。
男性	30歳代	次回以降もオンラインがあると参加しやすいです。
男性	50歳代	次回大会以降、Afterコロナの状況になっても、セミナーについては現地開催とオンライン開催を併用してほしい。他県での開催にも参加しやすいため。

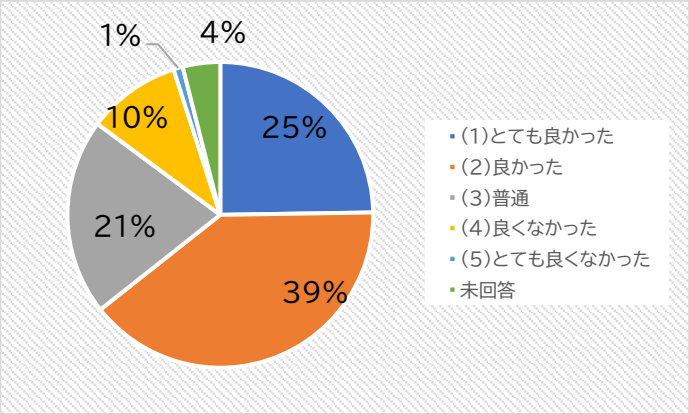
■ 問8. 今後の大会に期待するものがありましたらご記入ください。

男性	60歳代	自宅で参加できることは、経済的にも移動時間の短縮になりこれからも続けていただきたい。
女性	40歳代	実際体験できるものも良いですが、オンラインのものも取り入れていただけると嬉しいです!!
男性	60歳代	周知と説明が不充分なので改善を期待する。
女性	40歳代	重度の食物アレルギー(多品目、エピペン保有、アナフィラキシー歴あり)・他のアレルギー(アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎、鼻炎)等がある小学校低学年の子供がおります。防災・被災時のマイノリティ(災害弱者)として、SOSカードや薬の携帯、1週間分以上の食料・水やその他備蓄、学校や近隣地域との交流など、自らでできることを少しずつ行っております。しかし、そもそもアレルギーに関してご存じない方が多く、万一の際にも苦しみが伝わらない、命の危険性が伝わらないのではとの懸念が強くあります。このような災害対策の総合的な場で、ぜひ、アレルギーに関する防災の現状、懸念事項、工夫点などを取り上げていただけますと幸いです。なにとぞよろしくお願いいたします。
男性	40歳代	新聞で詳しく書いて欲しい。
男性	40歳代	前回までも感じていましたが、一方通行の内容が多く同期して行うコミュニケーションの内容としての価値を感じにくいです(非同期で十分。もっとも見やすかったURさんのセッションは録画したもので、これも同期して行う必要性を感じません)。今回、オンラインでの開催ができたことは、コロナの影響とは言え大きな一歩だったと思います。オンラインだからこそ、一日や二日という限定した同期のコミュニケーションにこだわりすぎず、非同期のコミュニケーションで情報を共有した上で参加者が、真の意味で参加できる同期ならではのコミュニケーションができる場を少しずつつくって欲しいです。(ワークショップやプレゼンは十分に参加できておりませんので、きっとそれが行われていたと期待したいです。私が参加したプレゼンは、残念ながらそうではありませんでした。セッションを非同期にして、ワークショップを増やして欲しい、と希望します)
女性	40歳代	足を運んで直接勉強できるのも身に付きやすいと思いますが、子育てしながらですと遠方には出向きにくいので、オンラインは非常にありがたいです。今後コロナが落ち着いても、オンラインも含めたプログラム作りを希望させて頂きます。
男性	50歳代	地域で連携する仕組みづくりの方法や実施団体等の情報を知りたいと思いました。
無回答	30歳代	当日、実際に何人くらいが参加しているのかリアルタイムで知ることができる方法が欲しいです。オンラインイベントが今後も続くのであれば、オンラインで出来る範囲でオフラインのイベントを模倣するようなものではなく、オンラインイベントならではの盛り上げを模索していただきたいです。
女性	40歳代	内容は良いと思うので、告知をもっとしたほうが良いと思う。周囲の人は誰もこのイベントを知らない。
女性	40歳代	日々防災について発信していて、熱心に携わっている方とそうでない方の温度差が激しいなといつも感じています。私の住む市では、予算の関係か、優先順位のせいか、防災についてものすごく熱心というわけではないようで、市民団体の方が一生懸命活動されている印象です。もっと行政側が市民に積極的に向かい合って、一緒に災害に強いまちづくりを行っていけるような、そんな学びを各地方自治体に働き掛けてくれるような大会にしてください。
男性	50歳代	防災のネットワークを広げられることに、期待します!
女性	20歳代	防災教育の取り組みをもっと知りたい。オンラインで歩いて回れないので、視覚的に取り組みがわかるものがあればよかった。例えばインスタみたいに写真だけを正方形に並べて、興味がある写真をクリックして紹介記事へたどり着ける仕組みがあると嬉しい。オンラインじゃなくても、あっていいと思う。
男性	50歳代	防災後進県での開催を望みます。ぼうさいこくたいの開催県はビフォーアフターで大きな変化がみられると思います。自然災害が少なく防災意識が低い地域にこそぜひ変化の機会を頂きたいと思います。
女性	50歳代	来年は通常の開催になれば良いなと思います。

●回収方法 ： 運営事務局より、メールにて回答依頼（11月6日〆切）
●回収数 ： 101

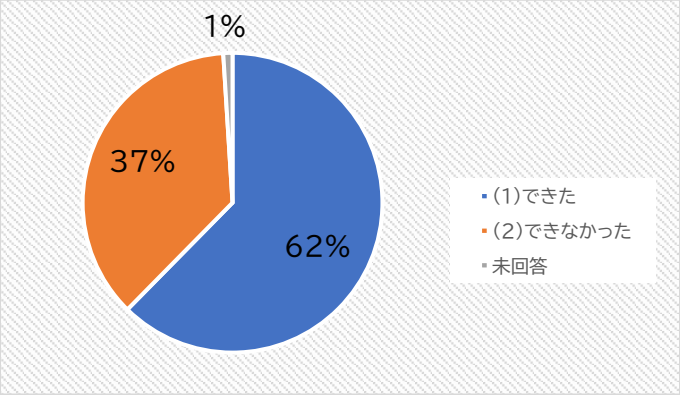
■ 1. 本大会に参加した感想に最も近いものを、次から1つ選んでください。

項目	回答数	割合
(1)とても良かった	25	24.8%
(2)良かった	40	39.6%
(3)普通	21	20.8%
(4)良くなかった	10	9.9%
(5)とても良くなかった	1	1.0%
未回答	4	4.0%
合計	101	100.0%



■ 2. 貴団体のメッセージを参加者へ伝えることはできましたか。その理由もご記入ください。

項目	回答数	割合
(1)できた	63	62.4%
(2)できなかった	37	36.6%
未回答	1	1.0%
合計	101	100.0%



(1)できた と答えた団体の理由（抜粋）

・研究者からの意見に留まらず、現場である自治体の方からの生の声により、災害対応に求められている事が明確になった為。
・目標としていた視聴者数を超え、アンケート結果からも好評だったと分かるため。
・各分野の専門家からわかりやすく説明があり、ディスカッションによりよりブレイクダウンした情報が伝達できたと思われます。
・想定範囲内の集客はできたし、良いコンテンツに仕上がった。参加者の満足度も大変高いものだった。
・アンケートで「満足」との回答が得られたことから。
・広島現地での収録映像も活用し、効果的に伝えられた。
・ワークショップ終了後に実施したアンケートにおいて、内容を理解したと回答された方が約98%であったため。
・弊社企業紹介や行っている研究の取り組み内容、制作コンテンツをzoomで視聴いただきながら説明することができたため。
・参加者自らの発表で、災害への備えを語ってもらった。
・参加者5人と少なかったが、濃密な情報共有ができた。
・これまでの復興の歩みを動画で発信できたため。
・多方面からの反響が良かったため。
・紹介動画は、会場で流すよりオンラインの方がじっくり見ていただける。

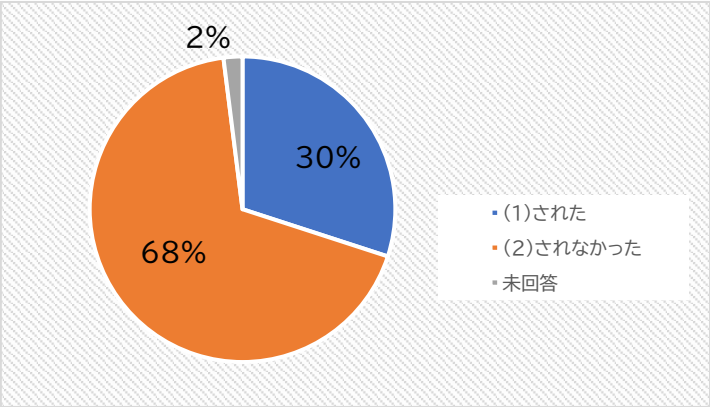
■ 2. 貴団体のメッセージを参加者へ伝えることはできましたか。その理由もご記入ください。

(2)できなかった　と答えた団体の理由(抜粋)

・オンライン面談で直接話せなかった。
・直接参加者と話していないため、伝わったか不明。
・PV数が伸びなかった。面談希望者も少なかった。
・多くの方に閲覧してもらえた事では評価できるが、直接お話できた人は少なかったため。
・実機を見せないとイメージがわかない。
・オンライン面談という受け身の面談対応では、メッセージを伝えきれなかった。
・サイト閲覧数が少なかったため。
・体験して分かっていただくことが一番と考えていますので、体験会ができなかった事が大変残念です。
・告知・露出が少なかったことが要因と思われます。
・訪問者とのコンタクトツールが不足。
・閲覧数でしか結果を計れず、伝わったという実感がない。

■ 3. 本大会期間、本大会を通じて、他の出展団体、協力団体等とつながりが新たに創出、又は強化されましたか。(1)と回答した場合、具体例もご記入ください。

項目	回答数	割合
(1)された	30	29.7%
(2)されなかった	69	68.3%
未回答	2	2.0%
合計	101	100.0%



具体例(抜粋)

・配信という形であるが、多くの防災関係者に視聴いただけたことは、これまでの対面形式より一層周囲のつながりが強化されたと感じる。
・震災関連施設との新たな繋がりができた。
・セッションで防災専門家と協力できた。平時からの協力の必要性を再認識した。
・セッションのお聞きいただいた大学の教授からアドバイスをいただいた。
・セッションに登壇いただいた方との情報共有ができた。
・他団体と出展内容や方法について情報共有をし、事務局間の繋がりができた。
・協力団体との繋がりが強化された。
・視聴くださった方の中から個別にご連絡をいただくことができ繋がりを持てた。
・参加者から、オンラインでの“大雨防災ワークショップ”の依頼を受けた。
・今後協働しようという話が2件出来た
・後からゆっくりと色々な団体を見る事が出来た。実大会ですと自分の団体が忙しくて、1日では他の団体を回る事ができません。
・企業間パートナーシップが結べた。
・面談した方が、実際に当館に来館してくださった。

■ 4. 本大会は初めてのオンライン開催でしたが、良かった点、改善すべき点について、それぞれご記入ください。
〈良かった点〉

●セッション（抜粋）

・会場には来られない地方の方の視聴、また、オンラインのため気軽に参加できるため例年（対面）より多くの人に参加いただけた。
・全国の視聴者の方にアクセスしていただく事ができ、研究を知っていただく大きな機会となった。
・開催準備期間を含め、新型コロナ感染防止対策となった。
・オンライン開催になったことで講師・スタッフの宿泊や移動が無くてもセッションできた。
・聴講者が、オンサイトのイベントと比較し、多かったこと。また、記録映像により後日、聴講できること。
・2021年2月までセッション内容がアーカイブで視聴できる。
・搬入や移動の時間やコストを削減することができ、資料作成などに時間を割くことができ、集中することができた。
・全国に発信でき、アーカイブ配信により当日見られなかった人が見ることができること。
・リアル開催だったら参加できなかった人が気軽に視聴してくれた、裾野が広がった
・大会全体が滞りなく開催され、防災の重要性を、着実に一般市民に伝えられた点
・コロナ対策としては非常に良かった。また、現地に来れない方が、動画で視聴できる点は良かったと思います。
・遠方からの参加を容易にした。
・HP自体もシンプルな構成で、とても見やすく感じた。
・短い準備期間しかない中で、他の大会では中止としてしまうところ、開催を実現させた意義はとても大きいと思う。
初めてのため準備に手間取る面はあったものの、出展準備の過程で様々な経験ができ、出展団体内で今後行う他の行事等へのノウハウにもなった。
・紙資料の準備が必要無く、登壇資料はWebサイトから閲覧できるようになっていた。

●ワークショップ（抜粋）

・全国各地から参加者を募ることができたため、弊社においてはスケールメリット、人的ネットワークを有効に活用でき、当日も想定を大きく上回る参加があった。
・全国からの参加者がいらして下さった。ZOOM ではグループワークもできました。遠くのスタッフも現地に来なくて参加できると思いました。
・密を避け、オンラインでも開催できることが実証された。全国からの参加が可能。
・オンライン開催のため場所と時間に縛られないメリットがありました。その反面、気になるブースに立ち寄るという行動ができなくなったデメリットもありました。zoomのため、共有された画面が自分のPCで閲覧できたので見やすかった。
・全国各地の方々と、防災について語ることが出来た。

●プレゼン（抜粋）

・コロナ禍においても積極的に取り組んでいる姿勢が評価された。
・オンライン開催という、新たな開催方式でも開催していただけた点。
・オンライン面談できた方には、集中できる環境での面談ができて、色々な情報交換ができました。
・会場にはなかなか足を運べない人がたくさん見て頂けたと思う。
・展示ブースの設営、遠距離出張等がなく工数、費用的な面は良かった。
・広島にいなくても、参加できた点は良かった。meetinも使いやすい機能であった。
・展示会場へ参加することができない方にも、情報を配信できた。
・他の出展団体の内容もじっくり見ることが出来た点。
・オンラインで普段つながりのない団体などとつながりが出来た。「meet in」も使いやすく、便利だった。
・オンライン面談の操作方法等、事前の説明会や問い合わせにも丁寧に対応してもらい、不安がなく本番を迎えることができた。
・全国から特設サイトにアクセス容易で，長期間サイトが残るため，製品を見てもらえる機会は通常の開催より増すと思う。
・後から色々な講演・団体を知ることができた。
・動画でプレゼンできるので、伝えやすいと思います。
・気軽にアクセスできる。
・時間関係なくサイト閲覧できる点、大勢の方に観て頂ける点、期日終了してからもサイト観れる点はオンラインでよかった。
今後は予算あるなら、リアルとオンラインと両方開催されるといいと感じました。
・簡易に展示アピールができる点、開催後もコンテンツにアクセスできる点が良い。
・トップ～出展者ページまでデザインが統一されており、見やすかった。
・WEB掲載期間が長期（約6か月）にわたるので、当日のみならず、アクセスが可能なところ。

■ 4. 本大会は初めてのオンライン開催でしたが、良かった点、改善すべき点について、それぞれご記入ください。
〈改善すべき点〉

●セッション（抜粋）

・視聴者の方々の反応が分からない為、一方通行的なセッションとなってしまった。ライブで質問を受けるなど仕組み構築が必要だと感じた。

・特設サイトが9月中オープンだったので、もう少し早くオープンしていただくと広報しやすかった。

・他の出展者と交流が出来なかったこと。オンサイトであれば会場に足を運ぶので、幾つかの出展ブースで意見交換させて頂いていたが、オンラインの場合、機会が減った。

・オンラインと、少数での会場イベントの両方で開催したらどうか。パソコンが無い人のために、サテライト会場のような場所を運営事務局で用意したらどうか。

・セッションの内容に対するリアルタイムでの生の反応が得られなかった。もう少し時間が長くできて、質疑応答などの時間がとれると、より理解が進んだと思われます。

・セレンディピティはないですね。やはりそこはリアルには勝てない。

・当日、チャットなどでリアルタイムに視聴者が参加出来る仕組みが欲しい。参加者が交流したり、ネットワーキングをする仕掛けが欲しい。

・事前、事後のマスコミへの周知やアピールがやや不十分だった点。同時間帯に実施した企画が多く、視聴者が分散してしまった点。

・アーカイブ化が即日または翌日ではなかったため、分散した視聴者が翌日等に閲覧するという機会を逸してしまった点。

・事前広報では、オンライン開催の利点である「全国どこからでも視聴可能」という点が考慮されておらず、広島の地元に限定した集客が主だった点。

・もっと多くの方に視聴をしてもらえるよう、事前のPR活動等（ポスター以外に全国紙でのPR等）を強化できないか。

・対面でしか伝わらないことがあるのではないか。遠隔でのワークショップの難しさもある。コロナ禍が収まれば、もう一度対面をメインとして、遠隔は遠方からの参加者への補助的なシステムとした方がいい。

・提出資料に記載した内容が、HP上にどのように反映されるのかが不明確であったため、記載した内容がHP上のどの箇所に反映されるのか、より詳細にマニュアル等に記載して頂ければありがたい。

・Webサイト内で、開催地の色がもっと出ても良いと思う。

・オンラインセッションだけだと名刺交換等が参加者とはないので、開催後の個別やりとりに発展しにくい。発表資料に問い合わせ先を入れるなどが必要。

・参加者からリアクションをもらう等していないので、生配信のメリットを活かせなかった（録画と変わらない）。現状の視聴人数だけでも解ると一体感がでたかもしれない。また、参加者の属性が解らない。

・オンライン登壇のみだと基本的に確保している時間がその時間だけなので、他のセッションなどに参加がしにくい。違うセッションの登壇者同士の交流が少ない。

●ワークショップ（抜粋）

・オンライン化することで、出展内容に「開催地らしさ」を打ち出すためのさらなる工夫が必要になるものと感じられた。

・オンラインの場合、他の団体の取り組みなどを見たり聞いたりすることがなかなかできなかった。

・オンライン開催のため、事前予約しないと話を聞けない部分もあったため、もっと自由に参加できる仕組みがあればと思いました。

・オンラインで開催と変更なったのが遅すぎたのではないか？準備に苦労しました。また市民はもちろん開催地の防災関係の行政職員ですら、ぼうさいこくたい2020HIROSHIMA の開催を知らない人が多かった。もっと広報して知ってもらう必要があるのではないか。また、アーカイブで確認できるが、セッションや他のワークショップの時間が重なる部分が多くあり、もう少し時間をずらしてもらいたい。

・ワークショップもプレゼンも管理ページにたどり着くまでの作業が複雑でほかの人に仕事を割り振るのが難しかった。土曜日開催は医療関係者の参加が難しかったので、日曜日のほうが参加しやすかったかもしれない。

・ぼうさいこくたい出展者同士の交流。広報の方法とイベントターゲットのあいまいさ。認知不足。

■ 4. 本大会は初めてのオンライン開催でしたが、良かった点、改善すべき点について、それぞれご記入ください。
〈改善すべき点〉

●プレゼン（抜粋）

・オンライン商談の際は、受ける側が面談を受け付けたい相手や内容などが明記できると良い。

・参加が限られていた点があるため、より幅広く参加できればより良くなると思われる。

・各団体の概要を見るためにかなり深い階層までアクセスする必要があり、一望して見比べられるような工夫が必要と感じました。

・広島が開催予定地でありましたが、あまり『広島感』がなかったように感じました。

・1日ではなく数日間にしてほしい。特にオンライン展示会だと集客力が落ちるため、他のオンライン展示会と同様複数日開催が必要。また、SNSのプロモ―ション手法の強化が必要（例：運営団体と出展団体との一体感・ツイートリツイート等の連携戦術）

・特設サイト訪問者のプロファイルが取れるようにしてほしい。

・他のオンライン展示会だと、無料ID登録でわかるようになっているので、そういう仕組みを取り入れてもらった方が良いと思う。

・Meetinについては、世間的に認知度が高いオンライン面談システムではないため、利用者が慣れるまでオンライン面談が実施できない。最終的には電話メールでの対応になってしまった方もいる。

・出展団体同士のコミュニケーションが取れるように、別途zoom等で場と時間を設けてほしかった。

・事前のPR、集客活動不足。初めてのオンライン展示会と言う事もあり、自分達もなかなか運営のイメージが出来なかったので事前に上手く顧客へ伝えられなかった。

・オンライン面談に関して、1 時間に 4 人までというのが少ない気がします。1 対 1 と 1 対複数の両方ができるといいと思う。

・Zoomのほうがよかった。ミートインは慣れていない方も多く、さらには当日つながりが悪く、それだけでタイムロスしてしまうのは本当に本当に残念でした。

専用サイトにアクセスされた企業（個人）の情報収集ができなかったことと、ブース訪問者へのコンタクト手段がなかった。

・初めての方は、「セッション・ワークショップ・プレゼン」が何か分からない、メーカーが何を出展しているか分からない、HPの見方が分からない等の声が聞かれました。

・横のつながり、コミュニケーションの不足を補う工夫が必要と感じました。

・VRを活用して各社の催しに訪問できるような仕掛けがあれば、オンラインでも現地開催に近い催しの提供ができたのではないかと思う。もう少し気軽に面談内容を視聴できる環境があってもよかったと思う。

・広報の方法が少ないかと。HPからプレゼンまでのルートがわかりにくかった。車両展示などは、展示ブース全体をマップ表示して、そこに展示物を配置、オブジェクトをクリックしたら、各ブースの詳細画面にいけるようにすると、現地参加のような感じでいろいろ見れたのではないかと思いました。

・オンライン面談に登録された2/3の方とmeet inが使えず、急遽、携帯電話やzoomで連絡を取って面談を行いました。

実体験ができないのが残念でした。

・ぼうさいこくたい自身のネームバリューが低く、サイトも日程限定のため訪問者が少なかった。

・Meetin自体の利便性は認めるが、新しい・一般に利用されていないツールを利用すること自体にそのような煩雑さが発生する機関があることを理解し、次回以降があるのならZOOM等のメジャーなツールを使用させてほしい。

・残念ながら、オンライン面談の申込数は0でした。昨年度のブース出展（名古屋）では、2日間で350名に来場いただきましたが、事前登録が必要なオンライン面談は、それに代わるものではなかった、ということです。

・ぼうさいこくたい自体が、やはり対面してこそのものだと思うので、それでも開催出来たことは素晴らしいとは思いますが、やはり残念ながらデメリットしか感じられません。

・動画ですが、当日ではなく数日前から流されていてもよかったのかと思いました。何か理由があったのでしょうか？

・2日間の活動期間が1日に短縮されたこと。リアルな体験を学生に自由にさせることが出来ず、学びの幅が実開催のように広がりをみせることが出来なかった。

・出展者同士の情報交換等、横のつながりを作る機会を設けても良いのではないか。

・トップページ来訪時にID登録、IDで各ページに来訪者実績が見られるがのぞましい。そのIDを利用して、オンライン面談予約時に情報が展開されるなど。

・大会開催時のリアルタイムでの反響の実感が得られなかったのは残念だった。オンライン打合せも実現できなかった。

・「隣のブースを見る」や「似たような出展者を見る」などの来場者の周遊推進のファンクションがあるとよい。

■ 5. 本大会へご出展なさっての感想、ご意見、ご提案等を自由にお書きください。

・収集したアンケートでは、オンライン会で行うことに関して高評価でした。コロナ禍で対面での開催が厳しい中、対面とオンラインをハイブリットした形での開催の準備にご尽力いただき、事務局の皆様には感謝しております。

・WHOの「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」の尊重の大切さを伝えている同じイベントの中で、「国際規準」の適用範囲である液体ミルクを製造販売している企業が参加し、製品をプレゼン動画でPRし、一般消費者と直接面談していたことは、参加者に矛盾したメッセージを与えて混乱を与えたのではないかと心配しています。内閣府男女共同参画局のガイドラインでも紹介されている「国際規準」を遵守したイベントづくりを望みます。

・想像していたより、多くの方に聴講して頂いたようで良かったです。

・大変よかったです。ありがとうございました。防災教育として親子で手軽にスマホを見て学び、家族や友達を交えて話しをすることができたという意見をいただけたこと。いままで防災に関心のなかった方が、見てくださったこと。特にお年寄りやこどもやフィジカルチャレンジの方をテーマにしましたので、ご自身のご家族に置き換えて考えていただくことができたということ。また、そんな技術があるのかという団体や自治体さまからのご意見をいただくことができたことが嬉しく感じます。

・感染症対策をとらなければいけない中で、多くの人に本市のセミナーを視聴していただくことができた。アーカイブ配信は、来年度以降も継続してほしい。

・WEBでつながったことにより、多くの方に観ていただくことができました。来年以降、会場開催になったとしても、オンライン併用をしてほしいです。

・リアル開催からオンライン開催への変更、事務局の皆様は本当に大変だったと思います。
やりとげて下さり、本当に有難うございました。

・セッションは参加者が把握できず、終了後にこちらから案内を出す術がない（SNS等でアンケートを呼びかけた）。多くの人に聞いてもらうには有効だと思うので、改善をお願いしたい。

・次大会は現地開催の前提かと思われますが、今大会を踏まえ「敢えてリアルではなくオンラインで出展したい」という団体も出てくるものと想定されます。こうしたニーズをあらかじめ想定したうえで、企画検討をしておく必要があると考えます。

・現地会場でのセッションと違い観覧者がいないので、視聴者に意図が伝わったかが分かりにくい。しかし、オンライン配信により来場できない方が視聴できることは非常に良かったと思います。

・出展内容によって、今後もオンラインやハイブリッドでの開催にしてもよいのではないか。

・急遽オンラインでの対応お疲れ様でした。予想以上の参加者があり驚いています。

・途中で開催形態が現地開催からオンラインとなり、出展内容を変更するといった追加準備は生じたが、結果的には、想定を超える多くの方にワークショップに参加いただき、参加者が弊社を知り、理解を深めていただく機会を得られたため、非常に充実した出展となった。事前にメールアドレスなどの情報も把握できていたので、事後アンケートもスムーズに実施でき、今後に繋がる回答を多数いただけた。

・難しい問題であるペット同行避難や同伴避難を全国の方々と考えていけるきっかけを頂き感謝しております。ペットの飼い主が防災に対して意識が変わり、災害時に助け合える繋がりを見つけ、人の命、ペットの命が救える社会になるのではないかと感じます 。

・例年全国の拠点施設が参加することは旅費など名面で難しかったが、今回オンラインであったことから、北海道から九州まで全国各地からの参加発表が可能であった。

・オンラインで開催という事で、初めての試みでしたが、多くの人の協力と参加でワークショップを開催ができました。 また、多くの人が参加していただき意見交流ができ有意義な時間を過ごすことができました。しかし、準備期間が短く苦労しました。全国どこからでも参加できるというのは良い事なので、現地とオンラインでのハイブリッドという形にできないかと思います。

・オンラインによって、全国から全世界に防災意識の高揚活動が出来ると感じました。

・多方面から良い反響をいただいた。今後も積極的に取り組んでいきたい。

・当団体は公的機関のため該当しませんが、一般企業に対して展示即売会としての活用を積極的に認めるなどすると、一層の盛会が期待できるのではないかと思いました。

■ 5. 本大会へご出展なさっての感想、ご意見、ご提案等を自由にお書きください。

・コロナ禍で様々なイベントが中止となっている中、オンラインでも開催いただき感謝いたします。

・今年の展示会は、オンライン展示会という難しい課題もあり、情報交換できるような機会が少なく、特に一般の方（個人）との接触ができず、弊社が訴えたかった住民一人ひとり、または自主防災組織の方との交流ができませんでした。

・オンラインだったため、会場へは来られない方も見に来ており、「ぼうさいこくたい」というイベントの広がりを感じました。直接会場へ出展した場合は、他のブースへ足を運び、出展者の方とお話することが出来たため横の繋がりが出来ましたが、オンラインですとなかなか横の繋がりを広げるのが難しかったです。

・1日だけだと取りこぼしが多いと感じた。

・もっと出展団体のメリットもあればなおいいと思います。例えば、出展団体のみ全講演会のアーカイブが閲覧できるなど。

・実機での展示を計画していましたが、WEB開催となり実機でのデモを通じて訴求する製品のPRは難しいと感じた。

・オンラインのため、来場者数とサイトアクセス数を同じ指標で評価するべきか疑問である。また、ニーズや興味が明確にサイト訪問とオンライン面談の実績に現れる。

・宣伝効果はあったと思いますが、自治体でも開催自体ご存じない方が居られましたので各市町村別にも宣伝を広げるとよろしいかと思います。自治体から住民の方に周知されると防災・減災の認識が広がると考えています。

・次回は、オンラインではない、通常開催を希望します。

・ぼうさいこくたいへの出展は2回目ですが、今回はオンライン面談を通して今まで繋がりのなかった関係者との交流ができたと思います。

・親子で楽しみながら、防災を学ぶことが大変嬉しく感じました。弊社のFacebookサイトから、アクセスいただきました

・オンライン出展が初めてだったので、Meetinの使用方法も含め、よい経験となった。

・オンライン開催への決定がもう少し早ければよかったのではないかと思う。

・展示会は実際に対面しないとなかなか来場に結びつかないと感じた。（土曜日にWEBで事前予約をして1対1で商談、というのはハードルが高いのではと感じた）

・検索を大分類にまとめたり、WEB上の仮想展示コーナーなどを作ったり、類似するもの、レコメンド等のリンクを張るなど来場者が見つけやすく、ついでに他のページも見に行きやすいモノにしてほしい。

・NHK等の放送各社・全国紙等にPRをしていただきたい。また、都道府県・市町村の防災担当各所でも全く知られていない為に都道府県・市町村のHP等への記載もありません。その為に防災担当者でも知らない人ほとんどでした。この様な防災担当者の最新の防災知識の勉強の場としても利用していただきたい。

・オンラインによる出展というものが初めてで不慣れであったこともあるが、昨年度会場で出展対応した職員によると、やはり対面に勝るものはないのではないかという感想であった。ただし、特設サイトにより、本来直接会場に足を運ぶことができなかったであろう方々にもPRできた部分もあると思うため、来年度以降、従来通りの開催形式となっても、ライブ配信やPR動画の閲覧、資料DLなどができる特設サイトを開設した方がよいのではないかと思う。

・来年こそは本来の形式に戻ることを願わずにはいられません。

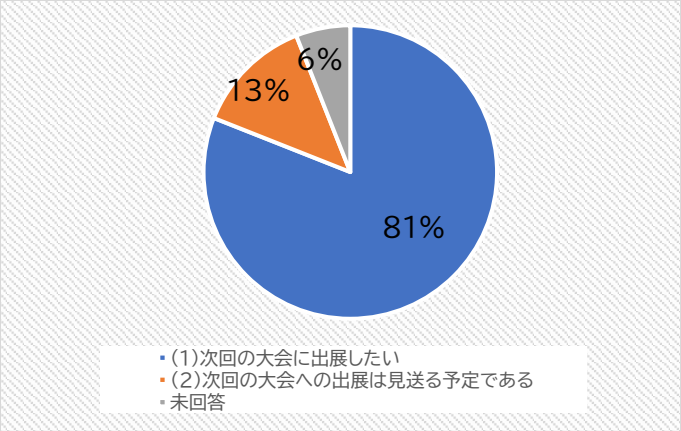
・現地開催だと、積極的に参加者に団体の活動を紹介することができるが、オンラインの場合、興味のある参加者しか団体のウェブサイトを閲覧しないため、PR効果が少ないと感じた。

・急遽、オンライン開催になったにも関わらず、各出展団体がそれぞれ工夫され、PRに努めておられた。

・集計によると、子どもの参加がなかったようです。親と一緒に見たのかもしれませんが、防災教育の観点からすると残念でした。

■ 7. 次回大会は令和3年11月6･7日に岩手県で開催予定です。次回大会に出展したいですか。

項目	回答数	割合
(1)次回の大会に出展したい	81	81.0%
(2)次回の大会への出展は見送る予定である	13	13.0%
未回答	6	6.0%
合計	100	100.0%



■ 8. 次回以降の防災推進国民大会に期待することや改善すべき事項がありましたら、自由にお書きください。

・視聴者と登壇者で意見交換ができるチャット機能があるとより議論が活発化したと感じる。

・来年度もコロナの状況によるとは思うが、通年どおりの現地開催となってもセッションやセミナーについては、Online配信も並行して行うようにして欲しい。

・横のつながりがもっとほしいですね。参加者限定の情報交換サイトがあっても面白いかと思いました。

・新型コロナウイルス感染症の流行状況にもよるが、オンラインと会場の両方で実施し、アーカイブ配信を継続すべきである。

・説明資料が膨大で，理解するのが大変でした。運営側の負担が増えるので恐縮ですが，各出展形式ごとに完結した説明資料があれば，出展者の負担が減りありがたいです。

・学校教育での防災教育を一度メインテーマで取り上げていただき、防災専門家と教育専門家のシンポジウムを展開して欲しい。

・オンライン開催時における効果的な集客方法について、引き続き検討する必要があると思われます。

・開催地に集客ができるような仕組みで開催いただきたい。

・提出書類の煩雑さを改善願いたい。

・オンラインではなく直接の開催で参加者へ直接防災製品を見せながらメッセージを伝えれることを期待します。

・出展団体同士がもっとつながれる仕組みをつくってほしい。一般市民に知ってもらうというよりは、既存の防災団体同士が交流し、学びそれぞれの団体で活かしながら、それぞれの団体が一般市民に伝えていくと思います。また、市民活動団体と企業ブースと完全に分けていただけますとより良いかと思います。今も分かれているかもしれませんが、企業ブースからは出展料をいただき、会場費や参加してくださった方への特典等に回せますし、分けている方があいさつ回りもしやすく、市民活動団体と企業と連携もよりとりやすくなるかと思います。

・開催時期として梅雨時期や台風シーズンを外すなど考慮いただけると幸いです。
（災害が発生すると復旧対応が優先となるため）

・全体的に配信コンテンツが専門的すぎるように感じた。幅広い年齢層向けコンテンツ(子供向けコンテンツや一般向け(初心者向け)のコンテンツ等)をもう少し盛り込んでもよかったのではないかと思う。

・次回は岩手県において開催が実現できることを期待しています。より多くの方が現地に赴き、岩手県の復興状況とあわせて津波伝承館などを見学することに意味があると思います。また、例年の開催方法にはないオンライン出展のメリットもあったと思いますので、ぜひ今後の開催に反映され、防災推進国民大会の益々の発展につながることを期待します。

・国民大会と言われても、関係者の中でもまだまだ知らない方多く、認知をどう今後していくか？が問題かと。開催地ではそれなりにその年はいいですが、終われば風化。被災地と同じ感覚をうけます。他の国体のようにどの都市に行っても知っているぼうさいこくたいになる事が防災の裾野を広げる事に。

・特設サイトはとてもきれいで見やすいものでした。手間と費用がかかるが、現地開催の際にも今回のような充実した団体紹介ページを設けていただけるとありがたい。

記録写真

セッション配信会場(広島メインスタジオ)

セッション配信会場(RCCラジオスタジオ)

セッション配信会場(リモート・事前収録配信会場)

セッション配信会場(東京メインスタジオ)

セッション配信会場(東京サブスタジオ)

セッション配信会場(広島会場／受付)

セッション配信会場(東京会場／受付)

セッション配信会場(朝礼の様子)

オンライン面談の様子：(株)ゼンリン

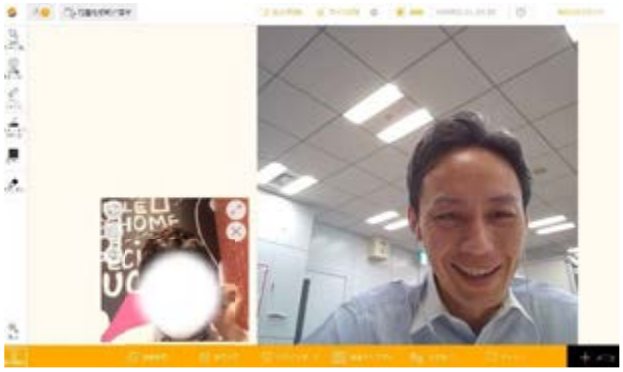
オンライン面談の様子：(独)都市再生機構

オンライン面談の様子：(一社)72時間サバイバル教育協会

オンライン面談の様子：広島防災リーダーネットワーク会議

オンライン面談の様子：
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

オンライン面談の様子：(株)フジタ



オンライン面談の様子：(株)タカミヤ

オンライン面談の様子：(一社)浄化槽システム協会

内閣府